

福祉に関するアンケート調査
結果報告書

令和2年3月

大網白里市

目 次

第1章 調査の概要等

1	調査の目的	1
2	調査の実施概要	1
3	対象者別配布数と回収結果	1
4	この報告書の見方	1

第2章 調査結果

1	回答者の属性について	2
2	性別・年齢・家族等について	3
3	障がいの状況等について	9
4	健康・医療について	18
5	日常生活及び介助の状況について	23
6	住まい・生活について	28
7	就学・就業について	31
8	外出について	39
9	障がい福祉サービスの利用について	43
10	福祉や生活に関する相談・情報入手について	50
11	緊急時・災害時の対応について	54
12	障がい者の権利擁護・理解促進について	63

第3章 自由意見

1	身体障がい者	67
2	知的障がい者	71
3	精神障がい者	73

資料編

調査票	75
-----	----

第1章 調査の概要等

1 調査の目的

このアンケート調査は、令和3年度を初年度とする「第3次大網白里市障がい者計画」・「第6期大網白里市障がい福祉計画」・「第2期大網白里市障がい児福祉計画」を策定するに当たり、市内に在住する障がいのある方の日常生活の状況や、障がい福祉サービス等の利用状況、今後の要望・意見等を把握し、本市における効果的な障がい者施策を構築するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査の実施概要

- (1) 調査対象 市内に住所がある「身体障がい者手帳」、「療育手帳」又は「精神障がい者保健福祉手帳」の交付をされている方のうち、本市が手帳の交付状況を把握している方から無作為に抽出
- (2) 対象者数 1,150人
- (3) 実施方法 郵送による配布・回収
- (4) 実施時期 令和元年12月1日から12月20日まで

3 対象者別配布数と回収結果

- (1) 有効回収数 547票
- (2) 有効回収率 47.6%

区 分	配 布 数	有効回収数	有効回収率
身体障がい者手帳をお持ちの方	800	398	49.8%
療育手帳をお持ちの方	180	91	50.6%
精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方	170	58	34.1%
合 計	1,150	547	47.6%

4 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示します。
- (2) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して少数第1位まで示しています。したがって、全ての選択肢の比率を合計しても100%にならない場合があります。また、比率が0%又は100%の場合は、表記を省略している場合があります。
- (3) 単数回答の設問に対し複数の回答があった場合において、回答内容に矛盾がなければ全ての回答を有効としたものがあるため、選択肢の比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 複数回答の設問においても、nを基数として比率を算出しているため、全ての選択肢の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (5) 選択肢の文言が長い場合は、本文や図表中では、文言を省略した表現を用いている場合があります。

第2章 調査結果

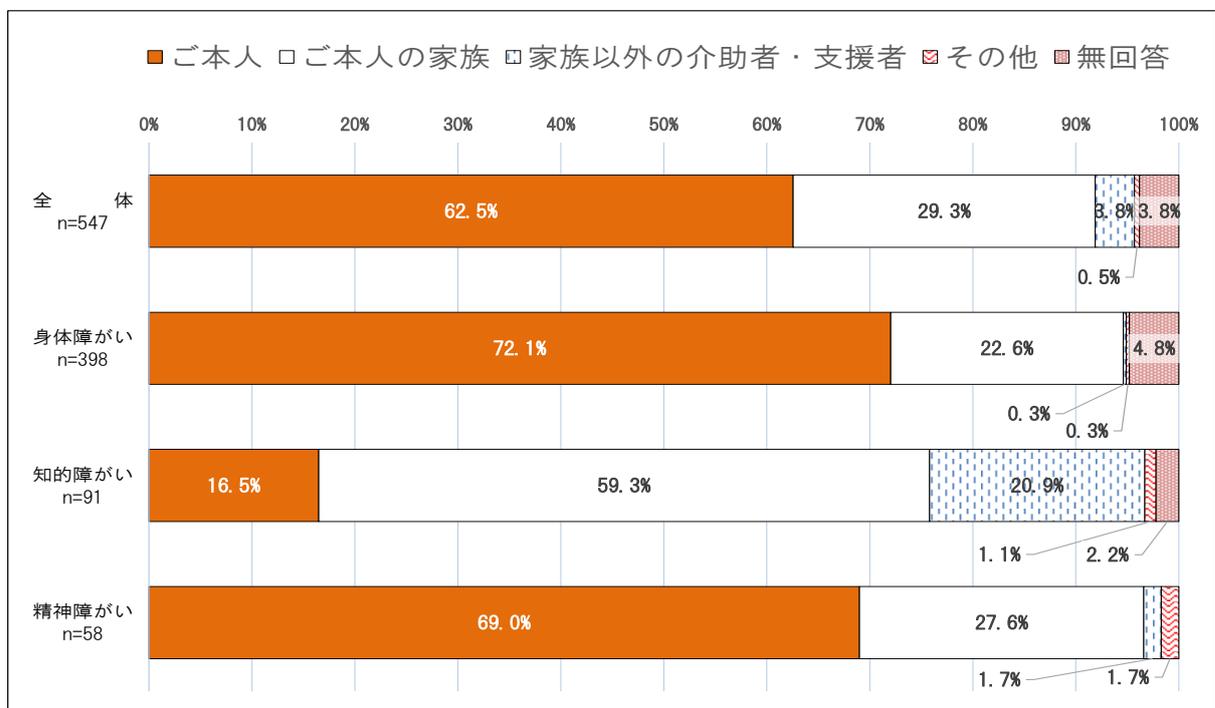
1 回答者の属性について

(1) アンケートの回答者

問1 ご記入される方はどなたですか。あなた（宛名のご本人）からみた続柄でお答えください。（単数回答）

「アンケートの回答者」については、全体では「ご本人」が62.5%、「ご本人の家族」が29.3%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「ご本人の家族」が59.3%で最も高く、その他の障がいでは「ご本人」が最も高くなっています。



単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	ご本人	ご本人の家族	家族以外の介助者・支援者	その他	無回答
全体	547	342	160	21	3	21
	100.0%	62.5%	29.3%	3.8%	0.5%	3.8%
身体障がい	398	287	90	1	1	19
	100.0%	72.1%	22.6%	0.3%	0.3%	4.8%
知的障がい	91	15	54	19	1	2
	100.0%	16.5%	59.3%	20.9%	1.1%	2.2%
精神障がい	58	40	16	1	1	0
	100.0%	69.0%	27.6%	1.7%	1.7%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

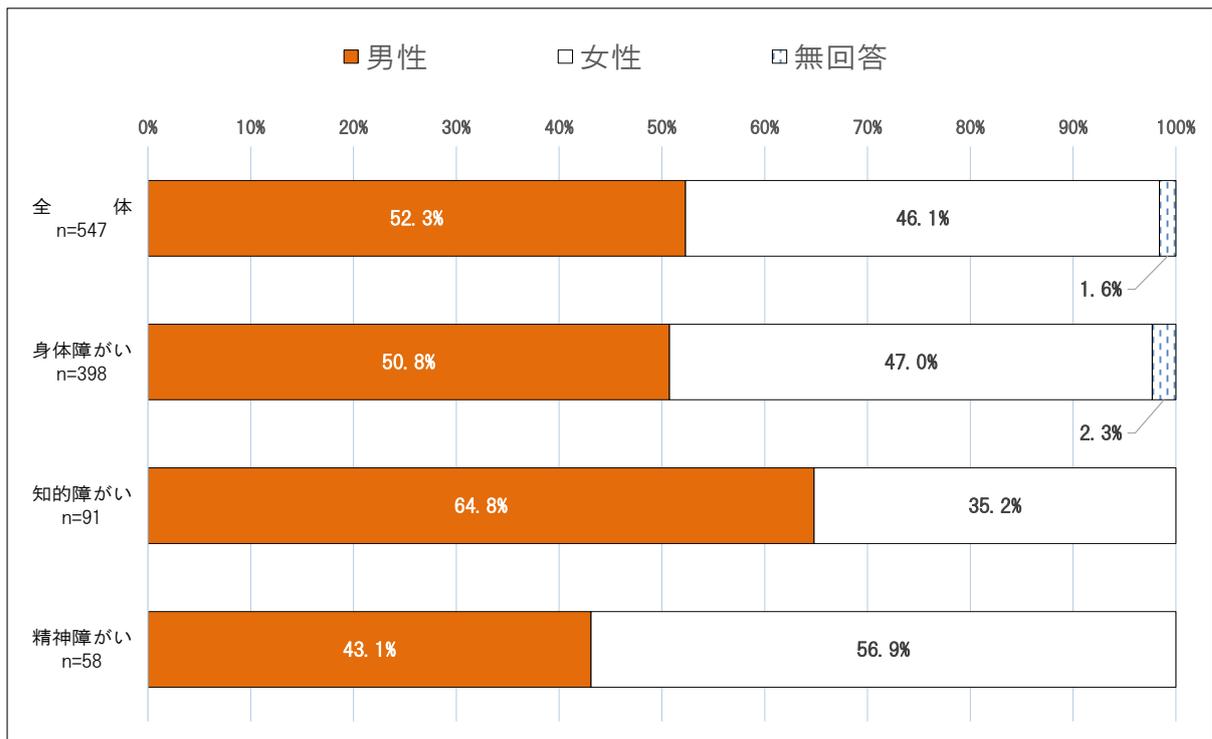
2 性別・年齢・家族等について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

「性別」については、全体では「男性」が52.3%、「女性」が46.1%と、男性の割合が高くなっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「男性」の割合が64.8%と「女性」に比べ高くなっている一方、精神障がいでは「女性」の割合が56.9%と「男性」に比べ高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	男性	女性	無回答
全体	547	286	252	9
	100.0%	52.3%	46.1%	1.6%
身体障がい	398	202	187	9
	100.0%	50.8%	47.0%	2.3%
知的障がい	91	59	32	0
	100.0%	64.8%	35.2%	0.0%
精神障がい	58	25	33	0
	100.0%	43.1%	56.9%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

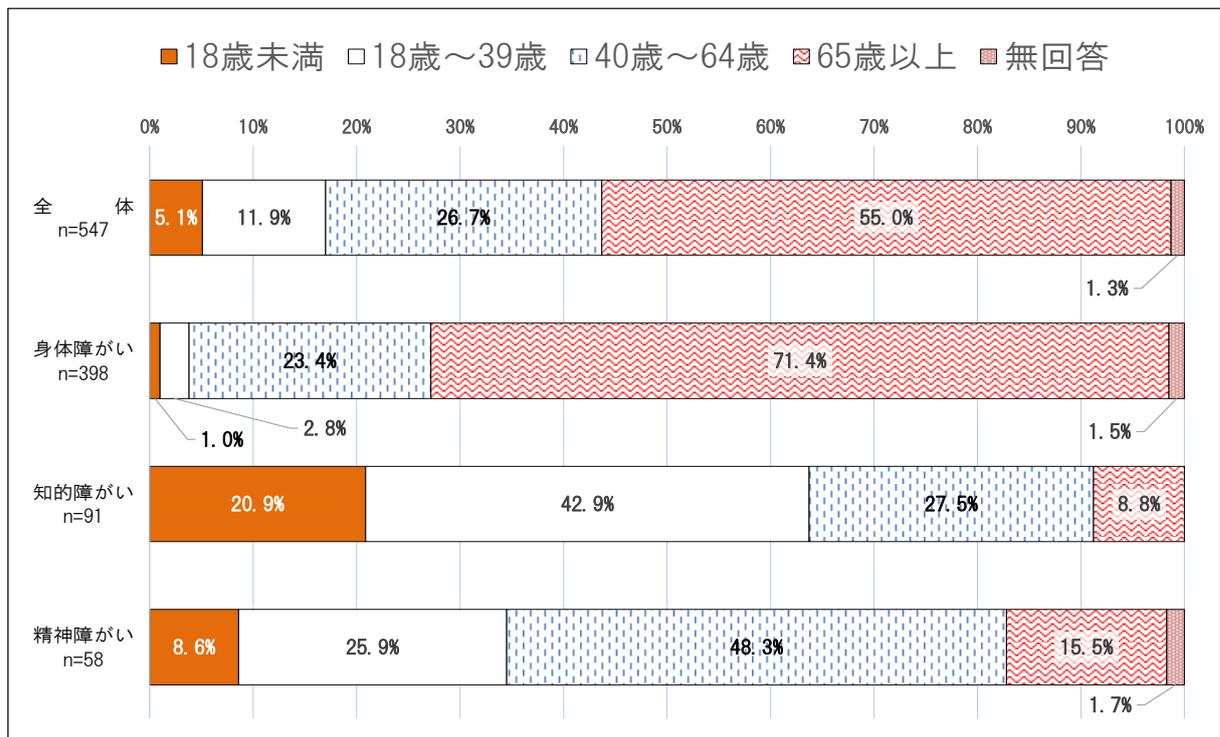
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお答えください。(単数回答)

「年齢」については、全体では「65歳以上」が55.0%と半数以上を占めており、次点で「40歳～64歳」が26.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは65歳以上が71.4%であるのに対し、知的障がいでは65歳未満が91.2%となっており、18歳から39歳までの方に、知的障がいのある方が多いことがうかがえます。

また、精神障がいについても65歳未満が82.8%となっており、「身体障がい」と「知的障がい及び精神障がい」の年齢構成に違いがあることがうかがえます。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	無回答
全体	547	28	65	146	301	7
	100.0%	5.1%	11.9%	26.7%	55.0%	1.3%
身体障がい	398	4	11	93	284	6
	100.0%	1.0%	2.8%	23.4%	71.4%	1.5%
知的障がい	91	19	39	25	8	0
	100.0%	20.9%	42.9%	27.5%	8.8%	0.0%
精神障がい	58	5	15	28	9	1
	100.0%	8.6%	25.9%	48.3%	15.5%	1.7%

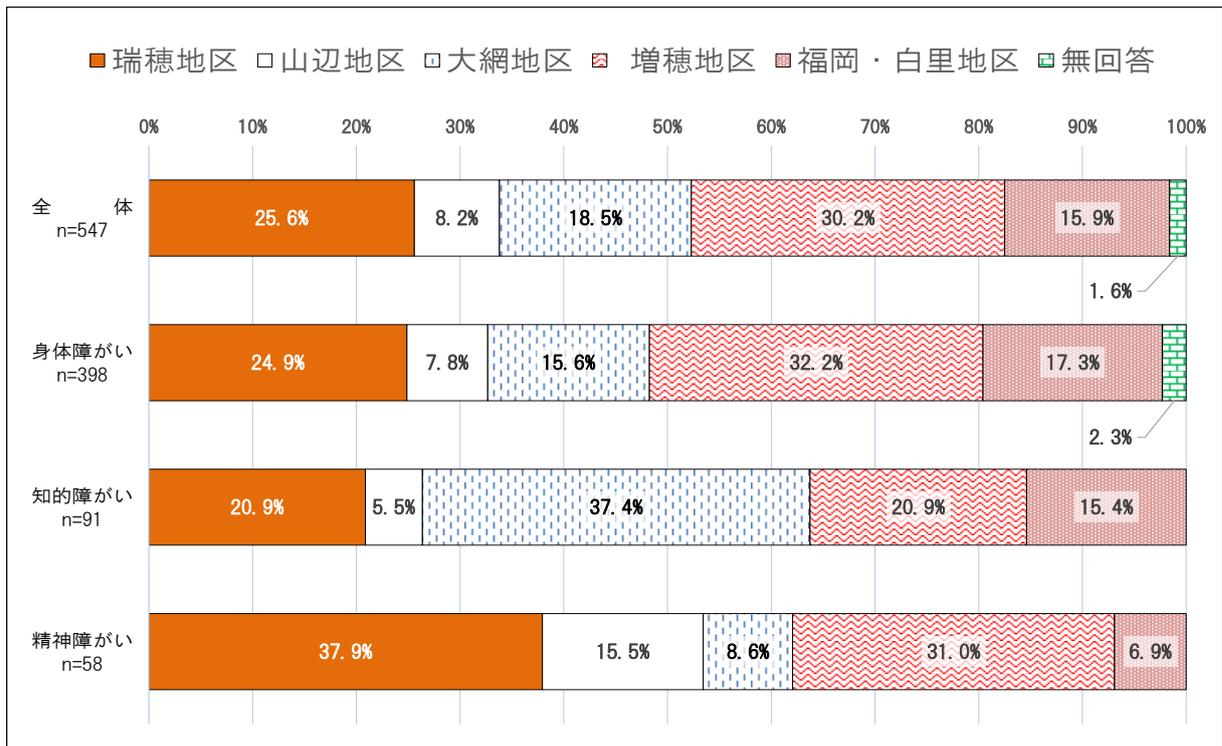
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 居住地域

問4 あなたがお住まいの地域をお答えください。(単数回答)

「居住地域」については、全体では「増穂地区」が30.2%で最も高く、次いで「瑞穂地区」が25.6%、「大網地区」が18.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「大網地区」が、精神障がいでは「瑞穂地区」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	瑞穂地区	山辺地区	大網地区	増穂地区	福岡・白里地区	無回答
全体	547	140	45	101	165	87	9
	100.0%	25.6%	8.2%	18.5%	30.2%	15.9%	1.6%
身体障がい	398	99	31	62	128	69	9
	100.0%	24.9%	7.8%	15.6%	32.2%	17.3%	2.3%
知的障がい	91	19	5	34	19	14	0
	100.0%	20.9%	5.5%	37.4%	20.9%	15.4%	0.0%
精神障がい	58	22	9	5	18	4	0
	100.0%	37.9%	15.5%	8.6%	31.0%	6.9%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

※ 参考 (地区別の住所一覧)

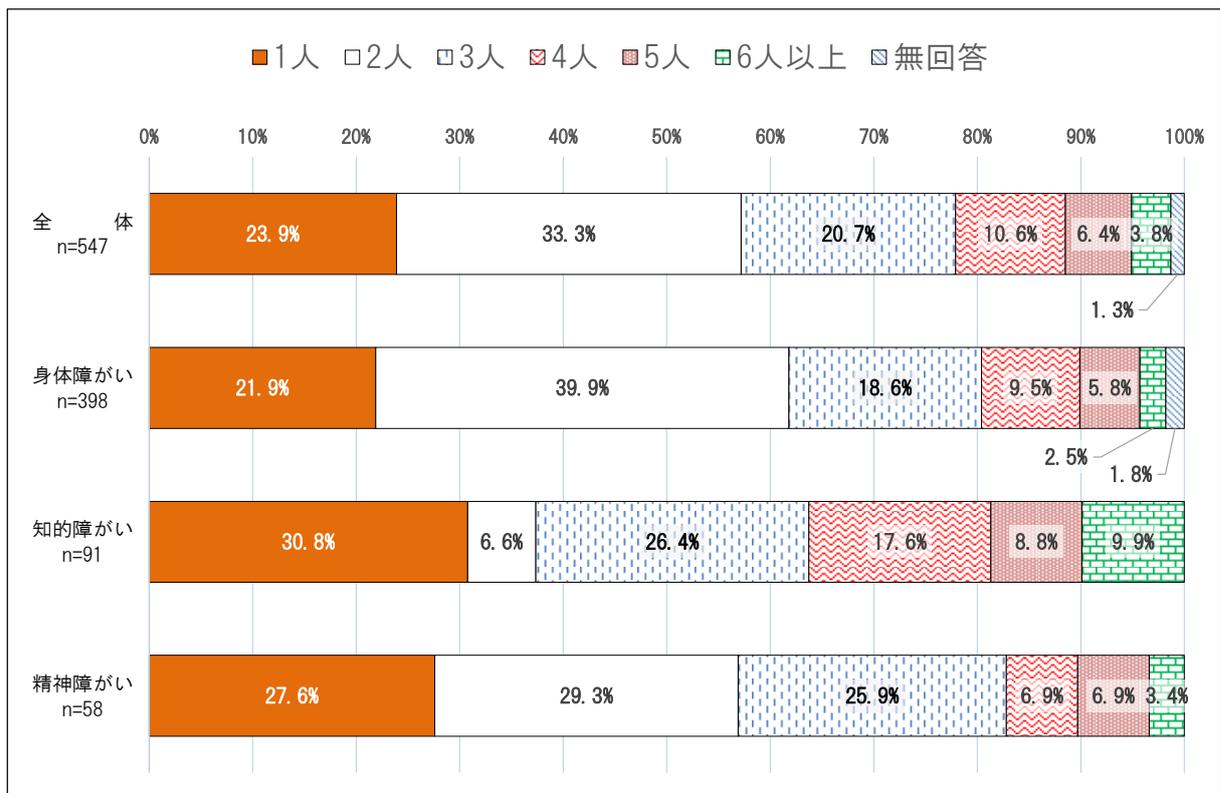
瑞穂地区	永田・小中・萱野・砂田・神房・経田・駒込・ながた野・みずほ台・みやこ野
山辺地区	金谷郷・餅木・大竹・南玉・池田・季美の森南
大網地区	大網・仏島・みどりが丘・小西・養安寺・山口
増穂地区	富田・南横川・北横川・北飯塚・南飯塚・星谷・柿餅・柳橋・上貝塚・清名幸谷・木崎・柿餅上貝塚入会地・上谷新田
福岡・白里地区	北吉田・桂山・九十根・長国・下ヶ傍示・二之袋・清水・南今泉・北今泉・細草・四天木・四天木甲・四天木乙

(4) 同居家族の人数

問5 現在いっしょに暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(単数回答)
 ※ グループホーム、入所施設等を利用されている方は、「1人」としてください。

「同居家族の人数」については、全体では「2人」が33.3%で最も高く、次いで「1人」が23.9%、「3人」が20.7%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいと精神障がいでは「2人」が、知的障がいでは「1人」が、それぞれ最も高くなっています。本調査では、グループホーム、入所施設等を利用されている方は「1人」として回答をいただいているため、知的障がいでは割合の高い「1人」の中には、グループホーム、入所施設等を利用されている方が多いと考えられます。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	547	131	182	113	58	35	21	7
	100.0%	23.9%	33.3%	20.7%	10.6%	6.4%	3.8%	1.3%
身体障がい	398	87	159	74	38	23	10	7
	100.0%	21.9%	39.9%	18.6%	9.5%	5.8%	2.5%	1.8%
知的障がい	91	28	6	24	16	8	9	0
	100.0%	30.8%	6.6%	26.4%	17.6%	8.8%	9.9%	0.0%
精神障がい	58	16	17	15	4	4	2	0
	100.0%	27.6%	29.3%	25.9%	6.9%	6.9%	3.4%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

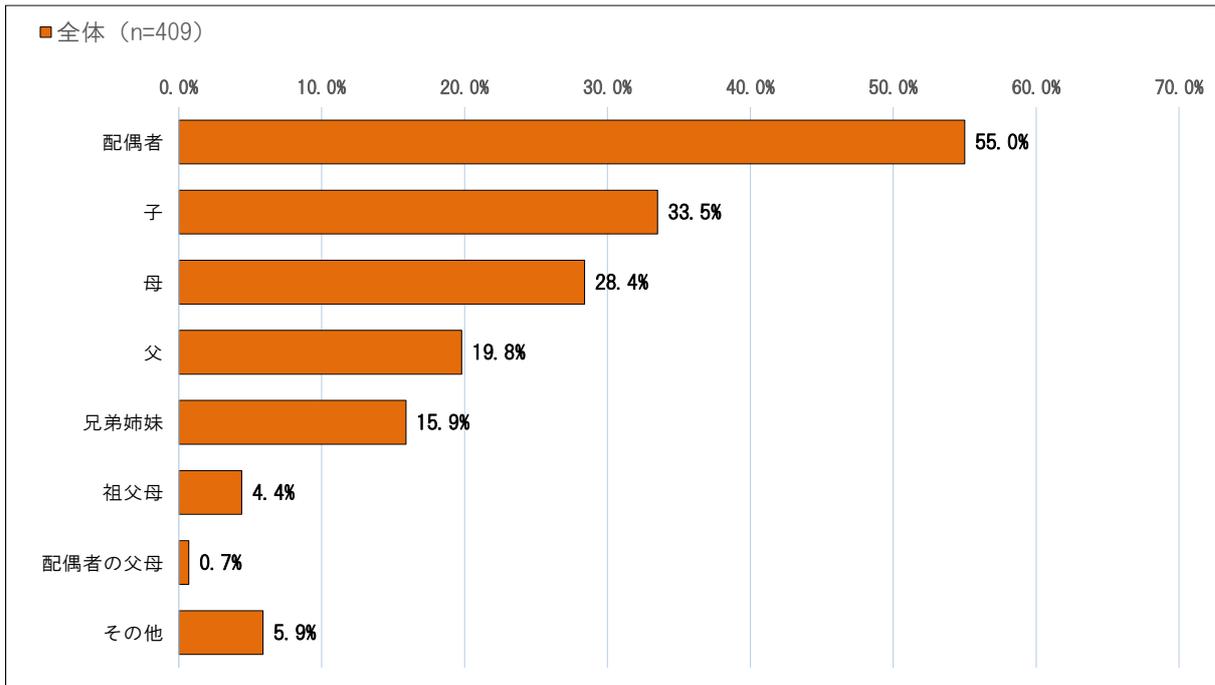
(5) 同居家族

【問5で「あなた以外にいっしょに暮らしている家族がいる」とお答えの方へ】

問6 現在いっしょに暮らしている人は、次のどなたですか。（複数回答）

「同居家族」については、全体では「配偶者」が55.0%で最も高く、次いで「子」が33.5%、「母」が28.4%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「配偶者」や「子」の割合が高く、知的障がい及び精神障がいでは「母」や「父」の割合が高くなっています。また、知的障がいでは、「兄弟姉妹」の割合がその他の障がいに比べ高くなっています。



単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	配偶者	子	父	母	兄弟姉妹
全体	409	225	137	81	116	65
	100.0%	55.0%	33.5%	19.8%	28.4%	15.9%
身体障がい	304	211	130	20	37	20
	100.0%	69.4%	42.8%	6.6%	12.2%	6.6%
知的障がい	63	1	2	44	54	37
	100.0%	1.6%	3.2%	69.8%	85.7%	58.7%
精神障がい	42	13	5	17	25	8
	100.0%	31.0%	11.9%	40.5%	59.5%	19.0%

区分	合計	祖父母	配偶者の父母	その他	無回答
全体	409	18	3	24	14
	100.0%	4.4%	0.7%	5.9%	3.4%
身体障がい	304	4	3	20	11
	100.0%	1.3%	1.0%	6.6%	3.6%
知的障がい	63	12	0	3	2
	100.0%	19.0%	0.0%	4.8%	3.2%
精神障がい	42	2	0	1	1
	100.0%	4.8%	0.0%	2.4%	2.4%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

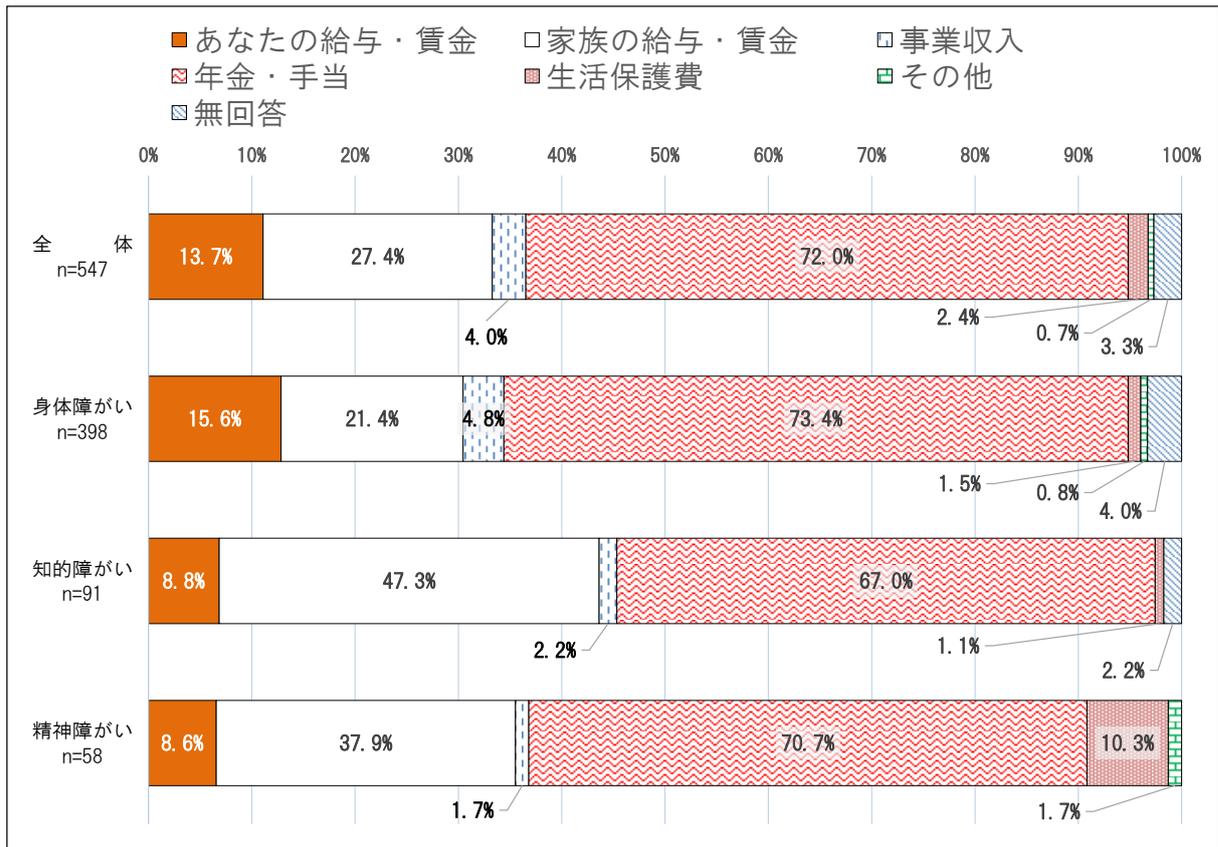
(6) 世帯の主な収入

問7 あなたの世帯の主な収入は何ですか。(複数回答)

「世帯の主な収入」については、全体では「年金・手当」が72.0%で最も高く、次いで「家族の給与・賃金」が27.4%、「あなた（本人）の給与・賃金」が13.7%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「あなた（本人）の給与・賃金」が全体の平均を上回っています。

知的障がい及び精神障がいでは、「家族の給与・賃金」の割合が高くなっており、家族が大きな支えとなっていることがうかがえます。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	あなたの給与・賃金	家族の給与・賃金	事業収入	年金・手当	生活保護費	その他	無回答
全体	547	75	150	22	394	13	4	18
	100.0%	13.7%	27.4%	4.0%	72.0%	2.4%	0.7%	3.3%
身体障がい	398	62	85	19	292	6	3	16
	100.0%	15.6%	21.4%	4.8%	73.4%	1.5%	0.8%	4.0%
知的障がい	91	8	43	2	61	1	0	2
	100.0%	8.8%	47.3%	2.2%	67.0%	1.1%	0.0%	2.2%
精神障がい	58	5	22	1	41	6	1	0
	100.0%	8.6%	37.9%	1.7%	70.7%	10.3%	1.7%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

3 障がいの状況などについて

(1) 身体障がい者手帳の所持状況等

問8 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(単数回答)

「身体障がい者手帳の所持」については、全体では「持っている」が72.9%となっており、知的障がいのうち12.1%、精神障がいのうち10.3%の方が、それぞれ身体障がい者手帳を所持しています。

身体障がい者手帳所持者のうち、「等級」については「1級」が33.6%と最も高く、次いで「4級」が23.6%、「2級」が18.8%等となっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	持っている	持っていない	無回答
全体	547	399	123	25
	100.0%	72.9%	22.5%	4.6%
身体障がい	398	382	2	14
	100.0%	96.0%	0.5%	3.5%
知的障がい	91	11	74	6
	100.0%	12.1%	81.3%	6.6%
精神障がい	58	6	47	5
	100.0%	10.3%	81.0%	8.6%

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級
全体	399	134	75	58	94	24	14
	100.0%	33.6%	18.8%	14.5%	23.6%	6.0%	3.5%
身体障がい	382	127	68	56	94	23	14
	100.0%	33.2%	17.8%	14.7%	24.6%	6.0%	3.7%
知的障がい	11	6	4	0	0	1	0
	100.0%	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
精神障がい	6	1	3	2	0	0	0
	100.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

※網掛けは、最も高い項目です。

(2) 主な障がいの種別

【問8で「身体障害者手帳を持っている」とお答えの方へ】

問9 あなたの主な障がいはどれですか。(単数回答)

※ 「内部機能障害」とは、心臓、肝臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫の機能障害をいいます。

身体障害者手帳所持者の「主な障がいの種別」については、「肢体不自由」が49.9%と最も高く、次いで「内部機能障がい」が32.8%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「肢体不自由」を主な障がいとする方の割合が90.9%となっており、その他の障がいに比べ高くなっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく	肢体不自由	内部機能	無回答
全体	399	22	23	2	199	131	22
	100.0%	5.5%	5.8%	0.5%	49.9%	32.8%	5.5%
身体障がい	382	22	22	2	188	130	18
	100.0%	5.8%	5.8%	0.5%	49.2%	34.0%	4.7%
知的障がい	11	0	1	0	10	0	0
	100.0%	0.0%	9.1%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%
精神障がい	6	0	0	0	1	1	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%

※網掛けは、最も高い項目です。

身体障害者手帳所持者のうち、「視覚」を主な障がいとする方の等級については、「2級」が最も高く、次いで「1級」となっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級
視覚	22	7	9	2	0	3	1
	100.0%	31.8%	40.9%	9.1%	0.0%	13.6%	4.5%

※網掛けは、最も高い項目です。

身体障害者手帳所持者のうち、「聴覚・平衡機能」を主な障がいとする方の等級については、「2級」が最も高く、次いで「6級」となっています。なお、1級と回答された方については、2つ以上の障がいが重複していると考えられます。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級
聴覚・平衡機能	23	2	9	4	1	1	6
	100.0%	8.7%	39.1%	17.4%	4.3%	4.3%	26.1%

※網掛けは、最も高い項目です。

身体障がい者手帳所持者のうち、「音声・言語・そしゃく機能」を主な障がいとする方の等級については、「2級」のみとなっています。なお、2級と回答された方については、2つ以上の障がいが重複していると考えられます。

単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	2級	3級	4級
音声・言語・そしゃく	2	2	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

※網掛けは、最も高い項目です。

身体障がい者手帳所持者のうち、「肢体不自由」を主な障がいとする方の等級については、「4級」が最も高く、次いで「2級」となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級
肢体不自由	199	33	48	34	58	19	7
	100.0%	16.6%	24.1%	17.1%	29.1%	9.5%	3.5%

※網掛けは、最も高い項目です。

身体障がい者手帳所持者のうち、「内部機能」を主な障がいとする方の等級については、「1級」が最も高く、次いで「4級」となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	1級	2級	3級	4級
内部機能	131	83	4	14	30
	100.0%	63.4%	3.1%	10.7%	22.9%

※網掛けは、最も高い項目です。

(3) 療育手帳の所持状況等

問10 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(単数回答)

「療育手帳の所持」については、全体では「持っている」が17.9%となっており、身体障がいのうち2.0%、精神障がいのうち8.6%の方が、それぞれ療育手帳を所持しています。

療育手帳所持者のうち、「等級」については「最重度」が31.6%と最も高く、次いで「軽度」が29.6%等となっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	持っている	持っていない	無回答
全体	547	98	403	46
	100.0%	17.9%	73.7%	8.4%
身体障がい	398	8	358	32
	100.0%	2.0%	89.9%	8.0%
知的障がい	91	85	2	4
	100.0%	93.4%	2.2%	4.4%
精神障がい	58	5	43	10
	100.0%	8.6%	74.1%	17.2%

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	最重度	重度	中度	軽度
全体	98	31	20	18	29
	100.0%	31.6%	20.4%	18.4%	29.6%
身体障がい	8	1	5	0	2
	100.0%	12.5%	62.5%	0.0%	25.0%
知的障がい	85	29	14	17	25
	100.0%	34.1%	16.5%	20.0%	29.4%
精神障がい	5	1	1	1	2
	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%

※網掛けは、最も高い項目です。

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の所持状況等

問 11 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(単数回答)

「精神障がい者保健福祉手帳の所持」については、全体では「持っている」が9.9%となっており、身体障がいのうち1.5%、知的障がいのうち1.1%の方が、それぞれ精神障がい者保健福祉手帳を所持しています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者のうち、「等級」については「2級」が79.6%と最も高く、次いで「1級」が11.1%等となっています。

単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	持っている	持っていない	無回答
全体	547	54	452	41
	100.0%	9.9%	82.6%	7.5%
身体障がい	398	6	362	30
	100.0%	1.5%	91.0%	7.5%
知的障がい	91	1	85	5
	100.0%	1.1%	93.4%	5.5%
精神障がい	58	47	5	6
	100.0%	81.0%	8.6%	10.3%

単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	1級	2級	3級
全体	54	6	43	5
	100.0%	11.1%	79.6%	9.3%
身体障がい	6	2	4	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
知的障がい	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
精神障がい	47	4	38	5
	100.0%	8.5%	80.9%	10.6%

※網掛けは、最も高い項目です。

(5) 難病の診断状況

問12 あなたは、難病の診断を受けていますか。(単数回答)

※ 「難病」とは、発病の原因が明らかでないために治療方法が確立しておらず、長期の療養を必要とする疾患をいいます。

「難病の診断状況」については、全体では「受けている」が15.0%、「受けていない」が78.8%となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「受けている」が17.6%となっており、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	受けている	受けていない	無回答
全体	547	82	431	34
	100.0%	15.0%	78.8%	6.2%
身体障がい	398	70	302	26
	100.0%	17.6%	75.9%	6.5%
知的障がい	91	6	82	3
	100.0%	6.6%	90.1%	3.3%
精神障がい	58	6	47	5
	100.0%	10.3%	81.0%	8.6%

(6) 発達障がいの診断状況

問13 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(単数回答)

※ 「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

「発達障がいの診断状況」については、全体では「診断された」が9.7%、「診断されていない」が84.6%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは40.7%、精神障がいでは24.1%の方が発達障がいの診断を受けており、身体障がいに比べ高い割合となっています。

単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	診断された	診断されていない	無回答
全体	547	53	463	31
	100.0%	9.7%	84.6%	5.7%
身体障がい	398	2	373	23
	100.0%	0.5%	93.7%	5.8%
知的障がい	91	37	48	6
	100.0%	40.7%	52.7%	6.6%
精神障がい	58	14	42	2
	100.0%	24.1%	72.4%	3.4%

(7) 高次脳機能障がい診断状況

問 14 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(単数回答)
 ※ 「高次脳機能障害」とは、病気や事故などにより脳が部分的に損傷されたために、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などの知的な機能に障害が起こった状態をいいます。

「高次脳機能障がいの診断状況」については、全体では「診断された」が4.2%、「診断されていない」が88.8%となっています。

障がい別にみると、全体とおおむね同様の傾向となっています。

単位(上段:人/下段:%)

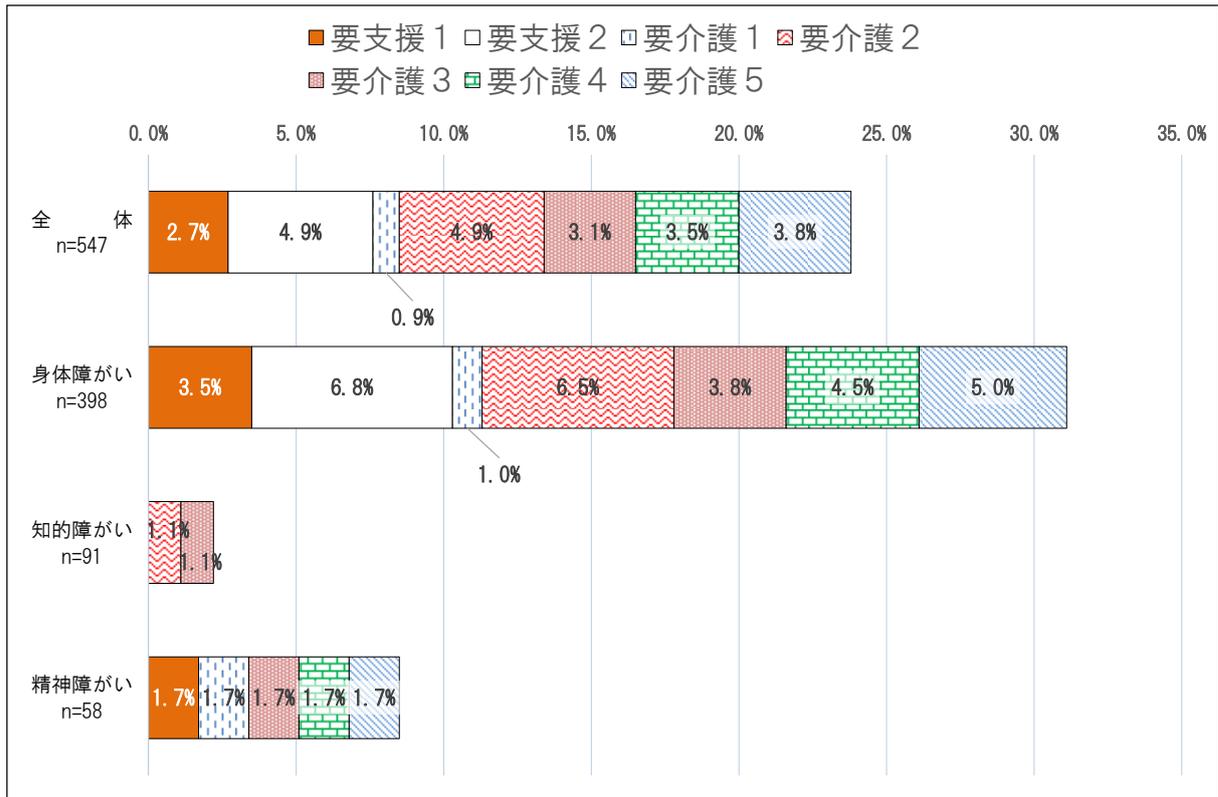
区分	合計	診断された	診断されていない	無回答
全体	547	23	486	38
	100.0%	4.2%	88.8%	6.9%
身体障がい	398	18	356	24
	100.0%	4.5%	89.4%	6.0%
知的障がい	91	2	79	10
	100.0%	2.2%	86.8%	11.0%
精神障がい	58	3	51	4
	100.0%	5.2%	87.9%	6.9%

(8) 要支援・要介護の認定状況

問15 あなたは、令和元年12月1日現在、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(単数回答)

介護保険制度の「要支援・要介護の認定状況」については、全体では「要支援（要支援1・要支援2）」が7.6%、「要介護（要介護1から要介護5まで）」が16.3%となっています。また、「認定を受けていない」は71.7%となっています。

障がい別にみると、要支援・要介護の認定を受けている方は、身体障がい者が31.1%と最も多く、知的障がいは2.2%、精神障がいは8.5%となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
全体	547	392	15	27	5	27
	100.0%	71.7%	2.7%	4.9%	0.9%	4.9%
身体障がい	398	260	14	27	4	26
	100.0%	65.3%	3.5%	6.8%	1.0%	6.5%
知的障がい	91	83	0	0	0	1
	100.0%	91.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
精神障がい	58	49	1	0	1	0
	100.0%	84.5%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%

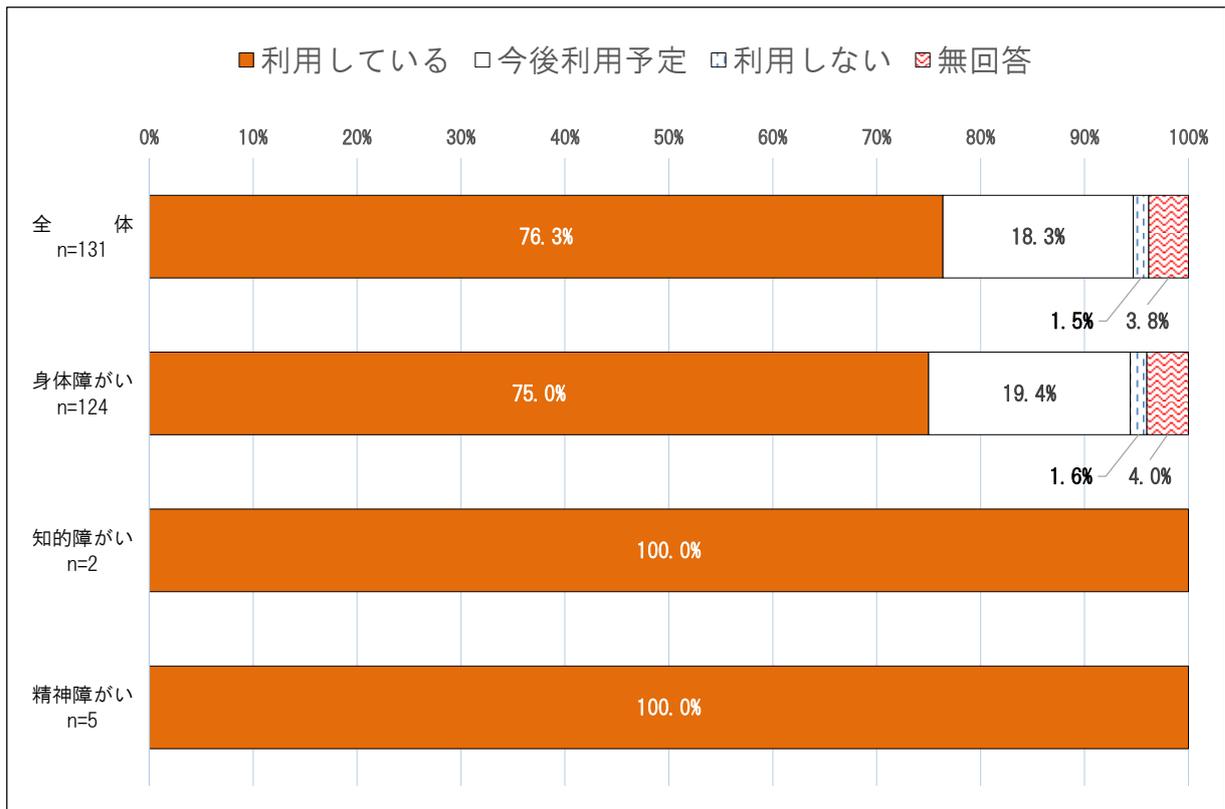
区分	合計	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	547	17	19	21	24
	100.0%	3.1%	3.5%	3.8%	4.4%
身体障がい	398	15	18	20	14
	100.0%	3.8%	4.5%	5.0%	3.5%
知的障がい	91	1	0	0	6
	100.0%	1.1%	0.0%	0.0%	6.6%
精神障がい	58	1	1	1	4
	100.0%	1.7%	1.7%	1.7%	6.9%

(9) 介護保険サービスの利用状況

【問15で「要支援・要介護認定を受けている」とお答えの方へ】

問16 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(単数回答)

「介護保険サービスの利用状況」については、要支援・要介護認定を受けている方のうち、全体では「利用している」が76.3%、「現在は利用していないが、今後利用する予定である」が18.3%となっており、「利用していない・利用するつもりはない」の1.5%を大きく上回っています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	利用している	今後利用予定	利用しない	無回答
全体	131	100	24	2	5
	100.0%	76.3%	18.3%	1.5%	3.8%
身体障がい	124	93	24	2	5
	100.0%	75.0%	19.4%	1.6%	4.0%
知的障がい	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい	5	5	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

4 健康・医療について

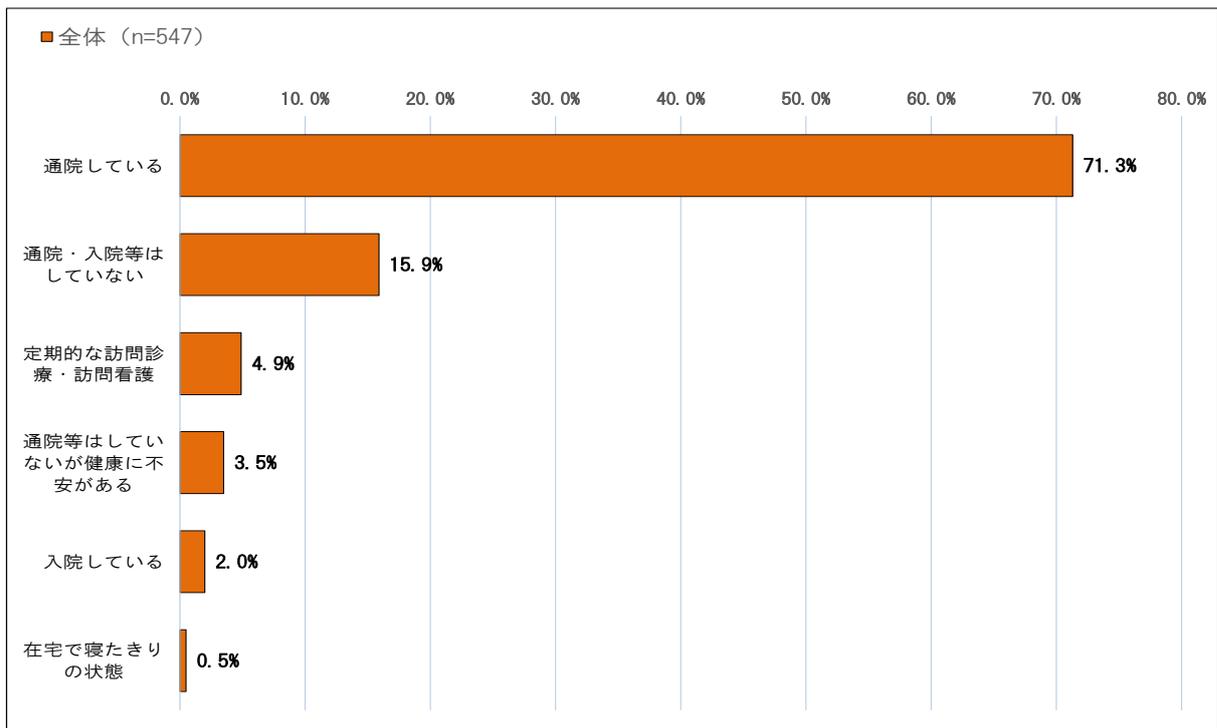
(1) 現在の健康状態

問 17 あなたの現在の健康状態は、次のどれにあたりますか。(単数回答)

「現在の健康状態」については、全体では「通院している」が71.3%で最も高く、次いで「通院・入院等はしていない」が15.9%、「定期的な訪問診療・訪問介護」が4.9%等となっています。

障がい別にみると、全ての障がいで「通院している」が最も高くなっています。

また、知的障がいでは「通院・入院等はしていない」が33.0%となっており、その他の障がいに比べ多くなっています。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	通院・入院等はしていない	通院している	入院している	定期的な訪問診療・訪問看護	在宅で寝たきりの状態	通院等はしていないが健康に不安がある	無回答
全体	547	87	390	11	27	3	19	12
	100.0%	15.9%	71.3%	2.0%	4.9%	0.5%	3.5%	2.2%
身体障がい	398	51	292	5	23	3	18	7
	100.0%	12.8%	73.4%	1.3%	5.8%	0.8%	4.5%	1.8%
知的障がい	91	30	51	1	4	0	1	5
	100.0%	33.0%	56.0%	1.1%	4.4%	0.0%	1.1%	5.5%
精神障がい	58	6	47	5	0	0	0	0
	100.0%	10.3%	81.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

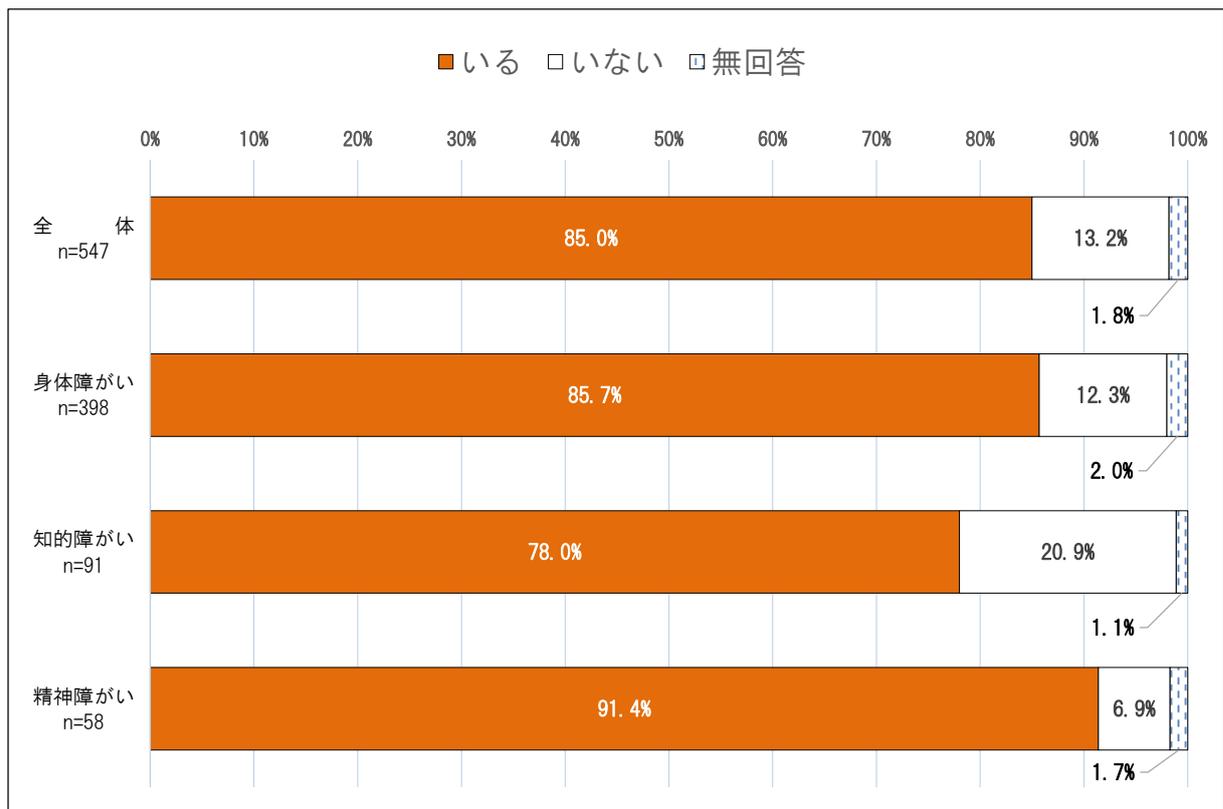
(2) かかりつけ医の有無

問 18 あなたは、健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）がいますか。
 いる場合は、市内・市外を選んでください。（単数回答）

「かかりつけ医の有無」については、全体では「いる」が 85.0%、「いない」が 13.2%となっています。

障がい別にみると、精神障がいでは「いる」が 91.4%となっており、ほとんどの方にかかりつけ医がいることがわかります。

また、かかりつけ医の場所については、身体障がいでは「市内」が、その他の障がいでは「市外」が、それぞれ高くなっています。



単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	市内	市外
全体	465	256	209
	100.0%	46.8%	38.2%
身体障がい	341	210	131
	100.0%	52.8%	32.9%
知的障がい	71	31	40
	100.0%	34.1%	44.0%
精神障がい	53	15	38
	100.0%	25.9%	65.5%

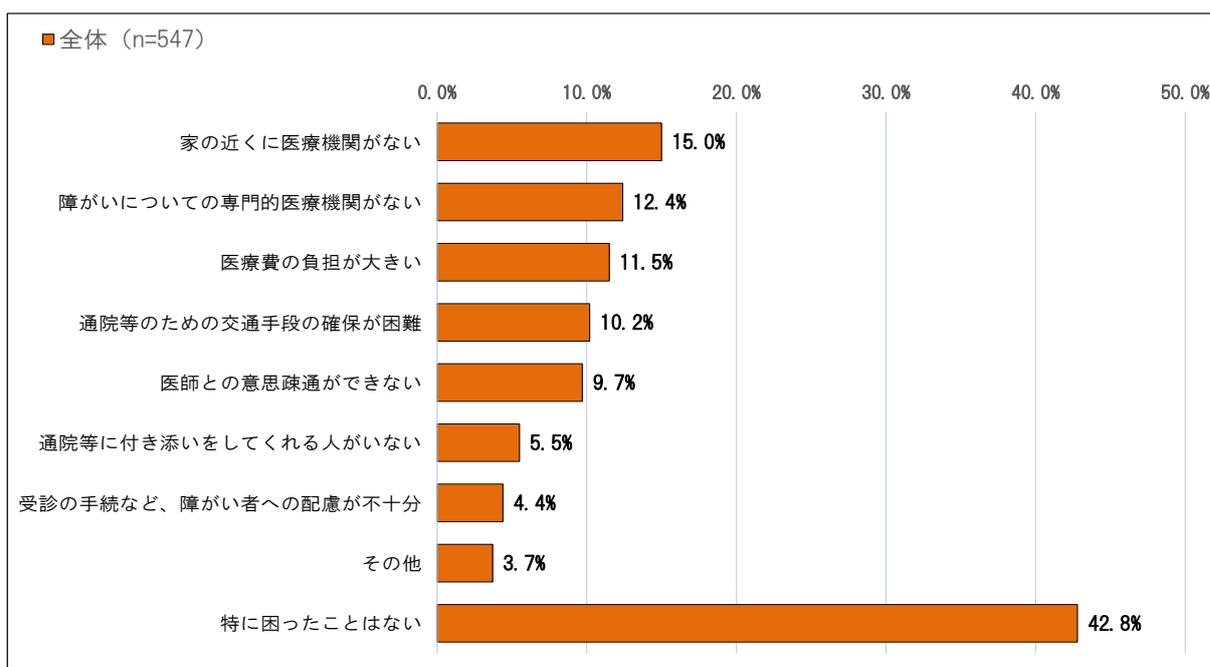
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 医療機関で困っていること

問19 あなたは、医療機関について困っていることがありますか。(複数回答)

「医療機関で困っていること」については、全体では「家の近くに医療機関がない」が15.0%で最も高く、次いで「障がいについての専門的医療機関がない」が12.4%、「医療費の負担が大きい」が11.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「医師との意思疎通ができない」が34.1%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

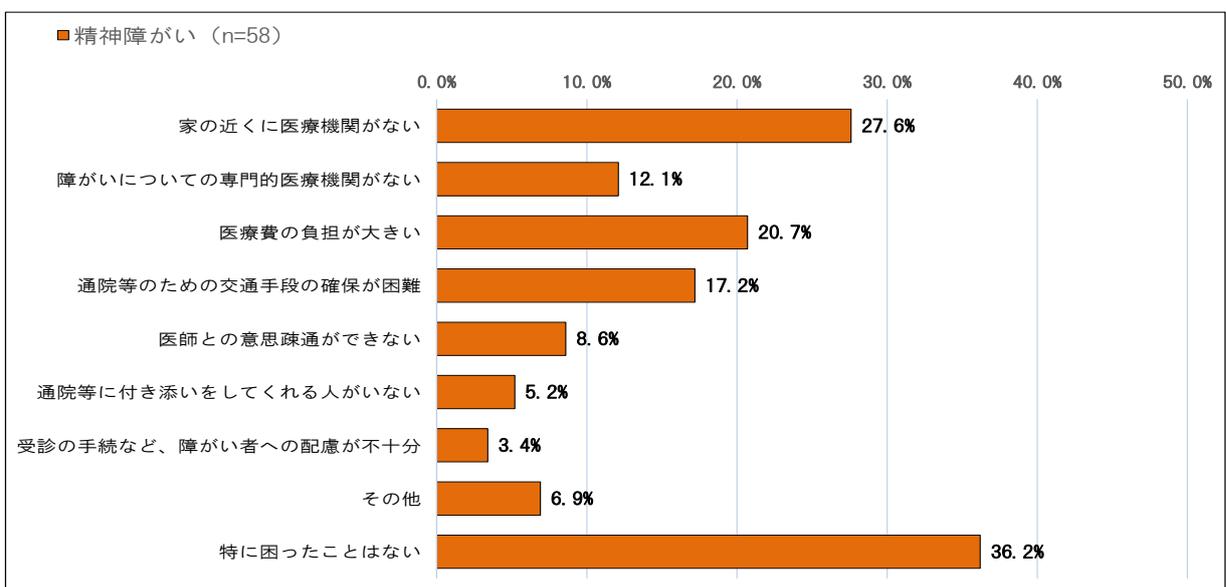
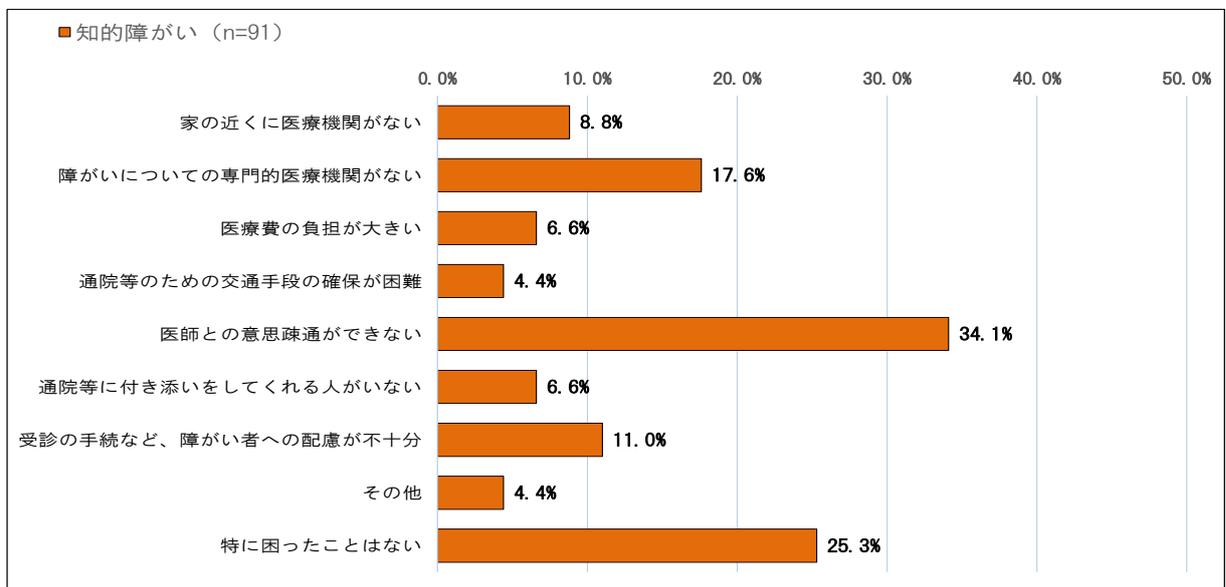
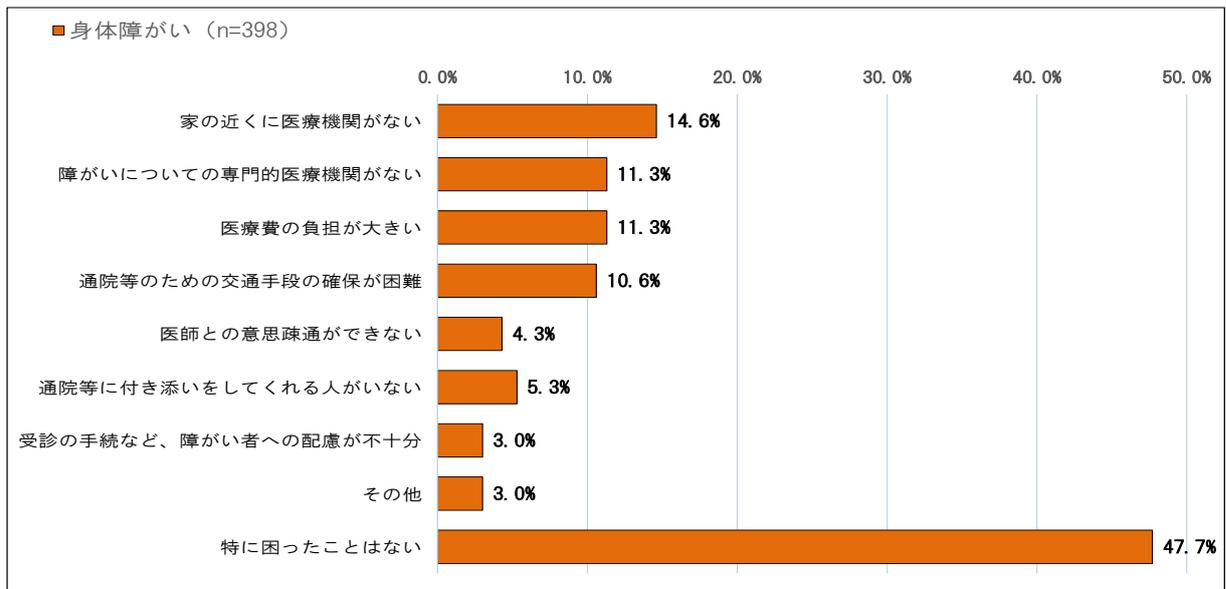


単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	家の近くに医療機関がない	障がいについての専門的医療機関がない	通院等に付き添いをしてくれる人がいない	通院等のための交通手段の確保が困難	医師との意思疎通ができない
全体	547	82	68	30	56	53
	100.0%	15.0%	12.4%	5.5%	10.2%	9.7%
身体障がい	398	58	45	21	42	17
	100.0%	14.6%	11.3%	5.3%	10.6%	4.3%
知的障がい	91	8	16	6	4	31
	100.0%	8.8%	17.6%	6.6%	4.4%	34.1%
精神障がい	58	16	7	3	10	5
	100.0%	27.6%	12.1%	5.2%	17.2%	8.6%

区分	合計	受診の手続など、障がい者への配慮が不十分	医療費の負担が大きい	その他	特に困ったことはない	無回答
全体	547	24	63	20	234	59
	100.0%	4.4%	11.5%	3.7%	42.8%	10.8%
身体障がい	398	12	45	12	190	46
	100.0%	3.0%	11.3%	3.0%	47.7%	11.6%
知的障がい	91	10	6	4	23	1
	100.0%	11.0%	6.6%	4.4%	25.3%	1.1%
精神障がい	58	2	12	4	21	3
	100.0%	3.4%	20.7%	6.9%	36.2%	5.2%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

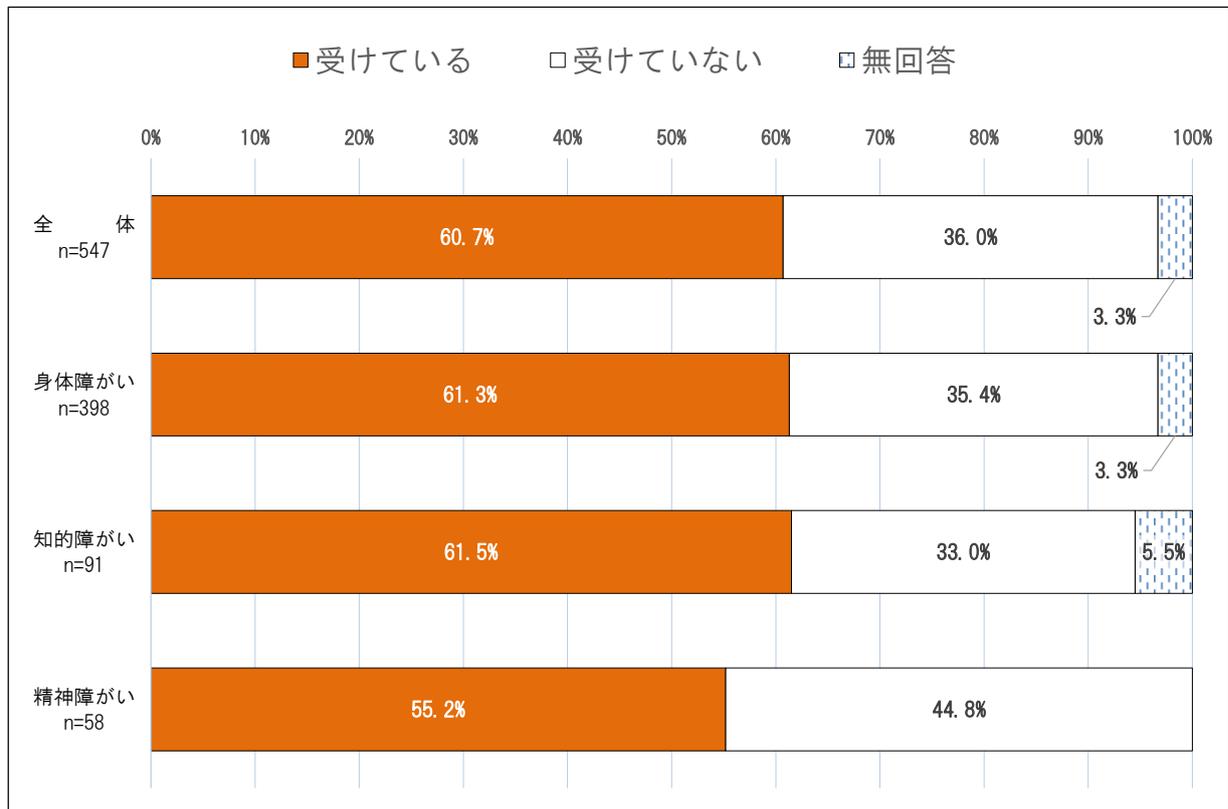


(4) 健康診断の受診状況

問 20 あなたは、健康診断を受けていますか。(単数回答)

「健康診断の受診状況」については、全体では「受けている」が60.7%、「受けていない」が36.0%となっています。

障がい別にみると、精神障がいでは「受けている」が55.2%となっており、その他の障がいに比べやや低い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	受けている	受けていない	無回答
全体	547	332	197	18
	100.0%	60.7%	36.0%	3.3%
身体障がい	398	244	141	13
	100.0%	61.3%	35.4%	3.3%
知的障がい	91	56	30	5
	100.0%	61.5%	33.0%	5.5%
精神障がい	58	32	26	0
	100.0%	55.2%	44.8%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

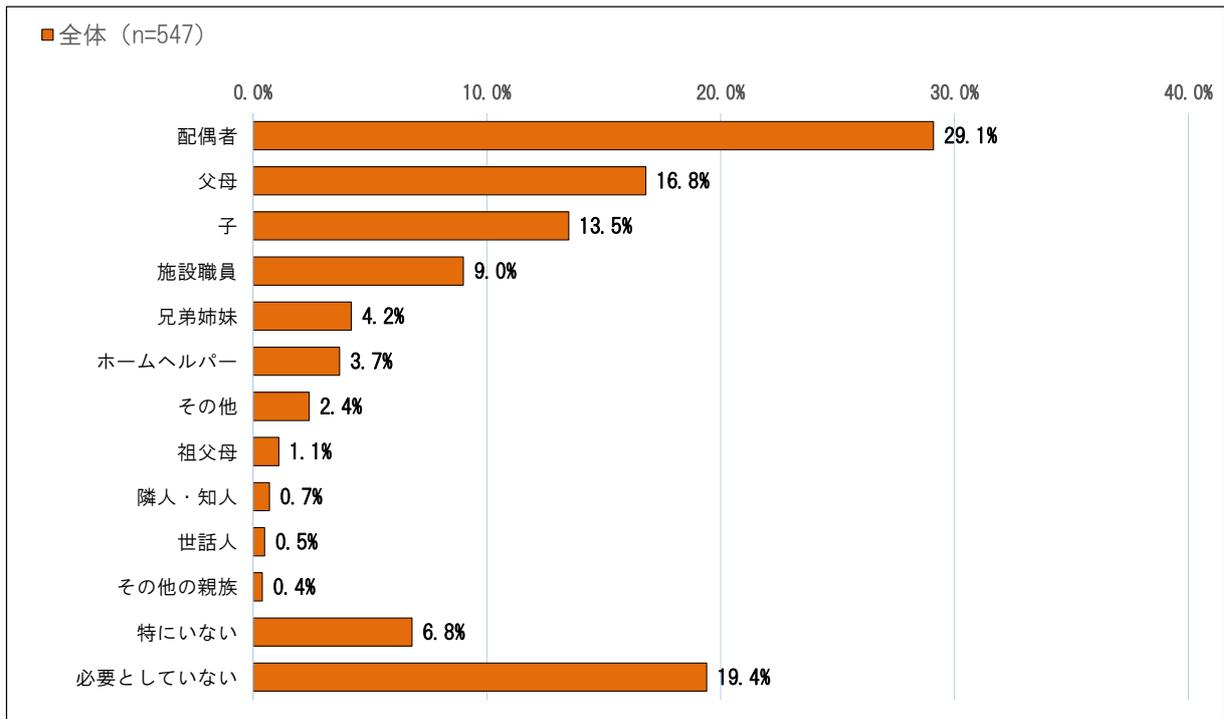
5 日常生活及び介助の状況について

(1) 介助者・支援者

問 21 あなたの主な介助者・支援者はどなたですか。(単数回答)

「介助者・支援者」については、全体では「配偶者」が29.1%で最も高く、次いで「父母」が16.8%、「子」が13.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「父母」が57.1%、「施設職員」が27.5%となっており、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	配偶者	子	父母	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	隣人・知人
全体	547	159	74	92	23	6	2	4
	100.0%	29.1%	13.5%	16.8%	4.2%	1.1%	0.4%	0.7%
身体障がい	398	150	72	17	11	1	1	3
	100.0%	37.7%	18.1%	4.3%	2.8%	0.3%	0.3%	0.8%
知的障がい	91	0	0	52	10	5	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	57.1%	11.0%	5.5%	0.0%	0.0%
精神障がい	58	9	2	23	2	0	1	1
	100.0%	15.5%	3.4%	39.7%	3.4%	0.0%	1.7%	1.7%

区分	合計	施設職員	ホームヘルパー	世話人	その他	特にない	必要としていない	無回答
全体	547	49	20	3	13	37	106	10
	100.0%	9.0%	3.7%	0.5%	2.4%	6.8%	19.4%	1.8%
身体障がい	398	17	13	0	7	33	94	8
	100.0%	4.3%	3.3%	0.0%	1.8%	8.3%	23.6%	2.0%
知的障がい	91	25	4	1	1	1	6	1
	100.0%	27.5%	4.4%	1.1%	1.1%	1.1%	6.6%	1.1%
精神障がい	58	7	3	2	5	3	6	1
	100.0%	12.1%	5.2%	3.4%	8.6%	5.2%	10.3%	1.7%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

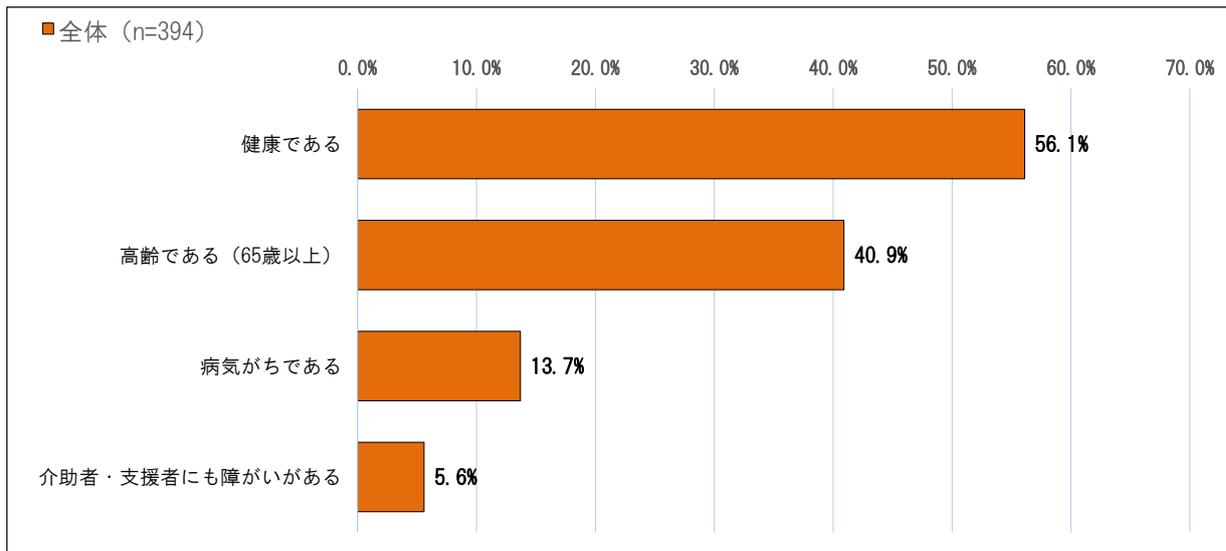
(2) 介助者・支援者の健康状態

【問21で「介助者・支援者がいる」とお答えの方へ】

問22 あなたを主に介助・支援している方の年齢や健康状態はいかがですか。(複数回答)

「介助者・支援者の健康状態」については、全体では「健康である」が56.1%で最も高く、次いで「高齢である（65歳以上）」が40.9%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「高齢である（65歳以上）」が48.7%、知的障がいでは「健康である」が74.7%となっており、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	健康である	高齢である (65歳以上)	病気がちである	介助者・支援者にも障がいがある	無回答
全体	394	221	161	54	22	19
	100.0%	56.1%	40.9%	13.7%	5.6%	4.8%
身体障がい	263	132	128	41	18	10
	100.0%	50.2%	48.7%	15.6%	6.8%	3.8%
知的障がい	83	62	21	8	2	3
	100.0%	74.7%	25.3%	9.6%	2.4%	3.6%
精神障がい	48	27	12	5	2	6
	100.0%	56.3%	25.0%	10.4%	4.2%	12.5%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

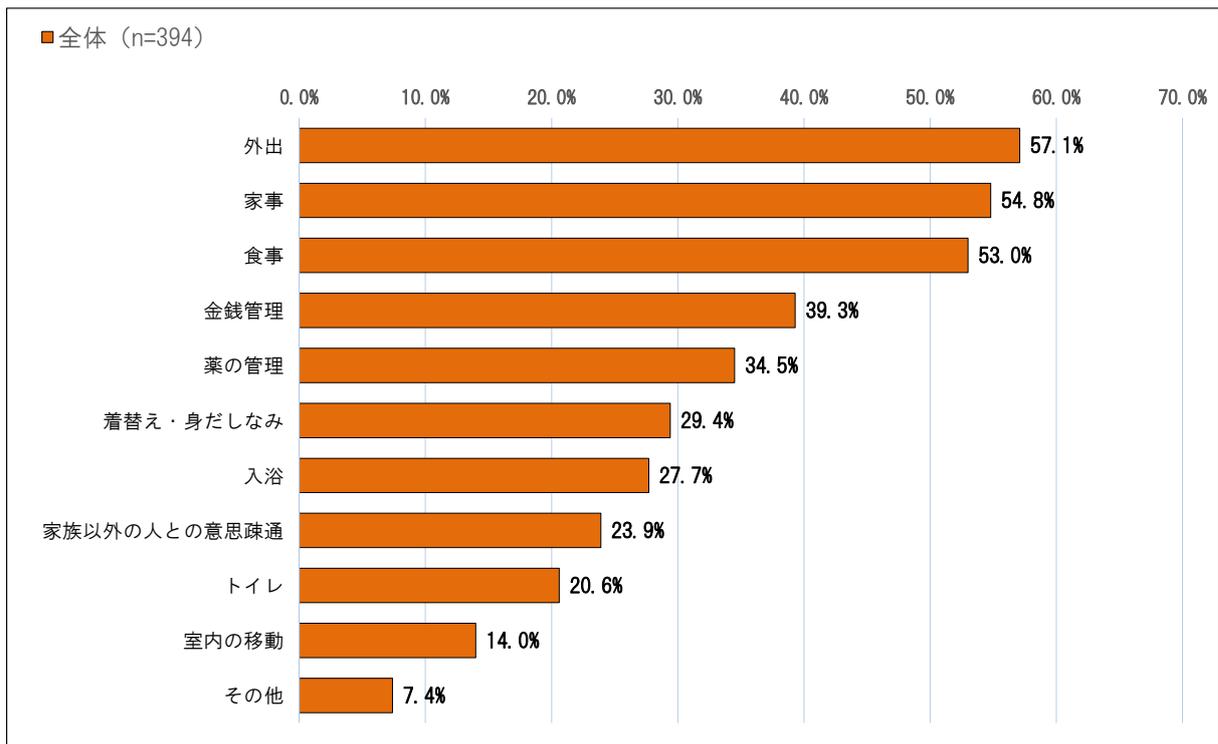
(3) 介助・支援の内容

【問21で「介助者・支援者がいる」とお答えの方へ】

問23 どのようなことで介助・支援を受けていますか。(複数回答)

「介助・支援の内容」については、全体では「外出」が57.1%で最も高く、次いで「家事」が54.8%、「食事」が53.0%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは、全体的にその他の障がいに比べ支援を必要とする割合が高く、特に「金銭管理」、「薬の管理」、「家族以外の人との意思疎通」の割合が高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	家事	食事	着替え・身だしなみ	入浴	トイレ	金銭管理
全体	394	216	209	116	109	81	155
	100.0%	54.8%	53.0%	29.4%	27.7%	20.6%	39.3%
身体障がい	263	128	127	67	60	43	75
	100.0%	48.7%	48.3%	25.5%	22.8%	16.3%	28.5%
知的障がい	83	60	58	44	42	33	59
	100.0%	72.3%	69.9%	53.0%	50.6%	39.8%	71.1%
精神障がい	48	28	24	5	7	5	21
	100.0%	58.3%	50.0%	10.4%	14.6%	10.4%	43.8%

区分	合計	薬の管理	家族以外の人との意思疎通	室内の移動	外出	その他	無回答
全体	394	136	94	55	225	29	33
	100.0%	34.5%	23.9%	14.0%	57.1%	7.4%	8.4%
身体障がい	263	67	33	32	149	24	24
	100.0%	25.5%	12.5%	12.2%	56.7%	9.1%	9.1%
知的障がい	83	51	52	17	58	1	5
	100.0%	61.4%	62.7%	20.5%	69.9%	1.2%	6.0%
精神障がい	48	18	9	6	18	4	4
	100.0%	37.5%	18.8%	12.5%	37.5%	8.3%	8.3%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

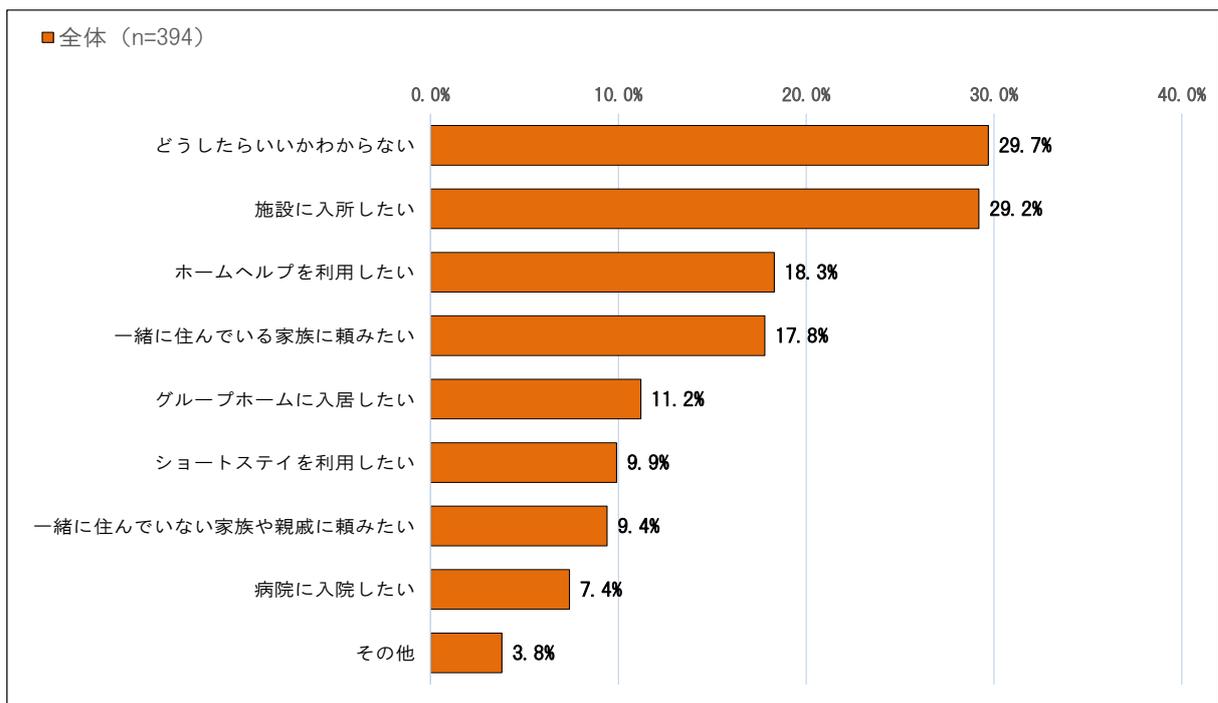
(4) 介助者・支援者が介助・支援できなくなった場合の対応

【問21で「介助者・支援者がいる」とお答えの方へ】

問24 介助者・支援者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしたいですか。(複数回答)

「介助者・支援者が介助・支援できなくなった場合の対応」については、全体では「どうしたらいいかわからない」が29.7%で最も高く、次いで「施設に入所したい」が29.2%、「ホームヘルプを利用したい」が18.3%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「施設に入所したい」の割合がその他の障がいに比べて高く、4割を超えています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	一緒に住んでいる家族に頼みたい	一緒に住んでいない家族や親戚に頼みたい	ホームヘルプを利用したい	ショートステイを利用したい	グループホームに入居したい
全体	394	70	37	72	39	44
	100.0%	17.8%	9.4%	18.3%	9.9%	11.2%
身体障がい	263	48	24	57	25	16
	100.0%	18.3%	9.1%	21.7%	9.5%	6.1%
知的障がい	83	15	6	9	12	19
	100.0%	18.1%	7.2%	10.8%	14.5%	22.9%
精神障がい	48	7	7	6	2	9
	100.0%	14.6%	14.6%	12.5%	4.2%	18.8%

区分	合計	施設に入所したい	病院に入院したい	どうしたらいいかわからない	その他	無回答
全体	394	115	29	117	15	24
	100.0%	29.2%	7.4%	29.7%	3.8%	6.1%
身体障がい	263	68	24	76	11	14
	100.0%	25.9%	9.1%	28.9%	4.2%	5.3%
知的障がい	83	36	0	22	2	7
	100.0%	43.4%	0.0%	26.5%	2.4%	8.4%
精神障がい	48	11	5	19	2	3
	100.0%	22.9%	10.4%	39.6%	4.2%	6.3%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

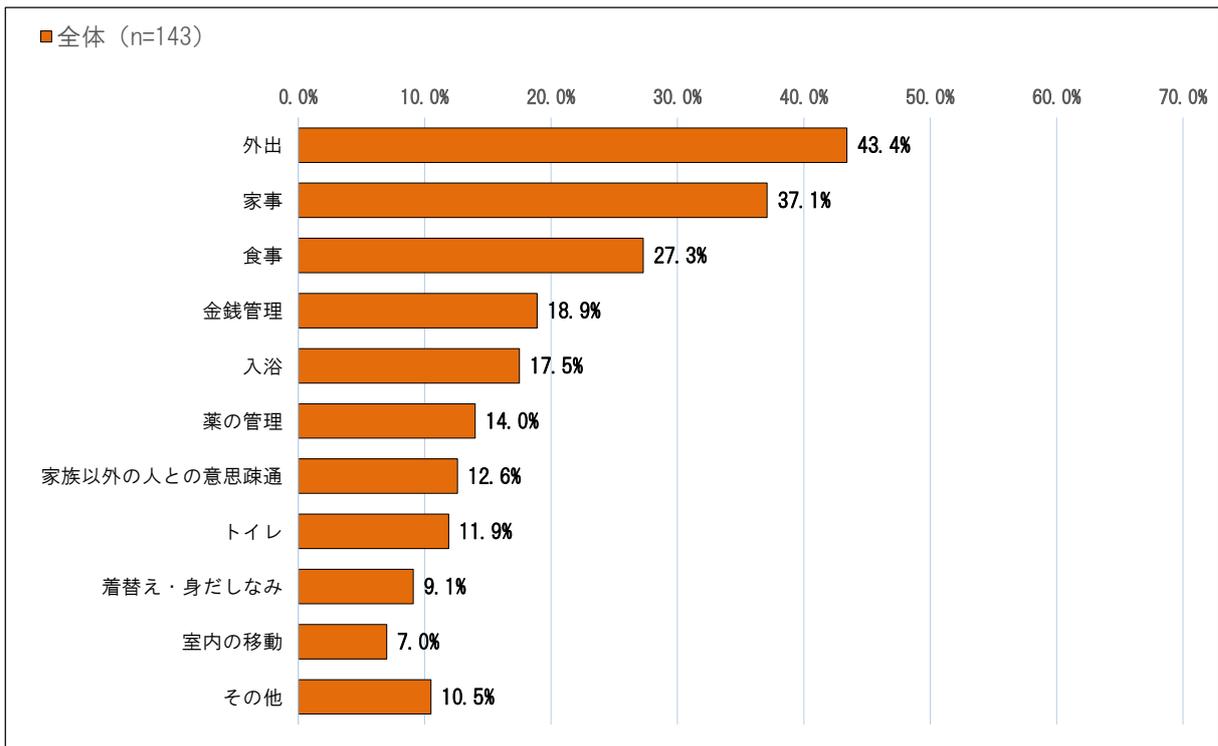
(5) 将来必要な介助・支援

【問21で「介助者・支援者がいない・必要ない」とお答えの方へ】

問25 将来必要になると思われる介助・支援はどのようなことですか。(複数回答)

「将来必要な介助・支援」については、全体では「外出」が43.4%で最も高く、次いで「家事」が37.1%、「食事」が27.3%等となっており、現在介助・支援を受けている方の支援の内容(問23)と同様の傾向となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「金銭管理」が42.9%、精神障がいでは「家事」が55.6%と、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	家事	食事	着替え・身だしなみ	入浴	トイレ	金銭管理
全体	143	53	39	13	25	17	27
	100.0%	37.1%	27.3%	9.1%	17.5%	11.9%	18.9%
身体障がい	127	47	35	13	25	17	21
	100.0%	37.0%	27.6%	10.2%	19.7%	13.4%	16.5%
知的障がい	7	1	1	0	0	0	3
	100.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
精神障がい	9	5	3	0	0	0	3
	100.0%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

区分	合計	薬の管理	家族以外の人との意思疎通	室内の移動	外出	その他	無回答
全体	143	20	18	10	62	15	30
	100.0%	14.0%	12.6%	7.0%	43.4%	10.5%	21.0%
身体障がい	127	20	16	10	59	13	25
	100.0%	15.7%	12.6%	7.9%	46.5%	10.2%	19.7%
知的障がい	7	0	0	0	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%
精神障がい	9	0	2	0	3	2	1
	100.0%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

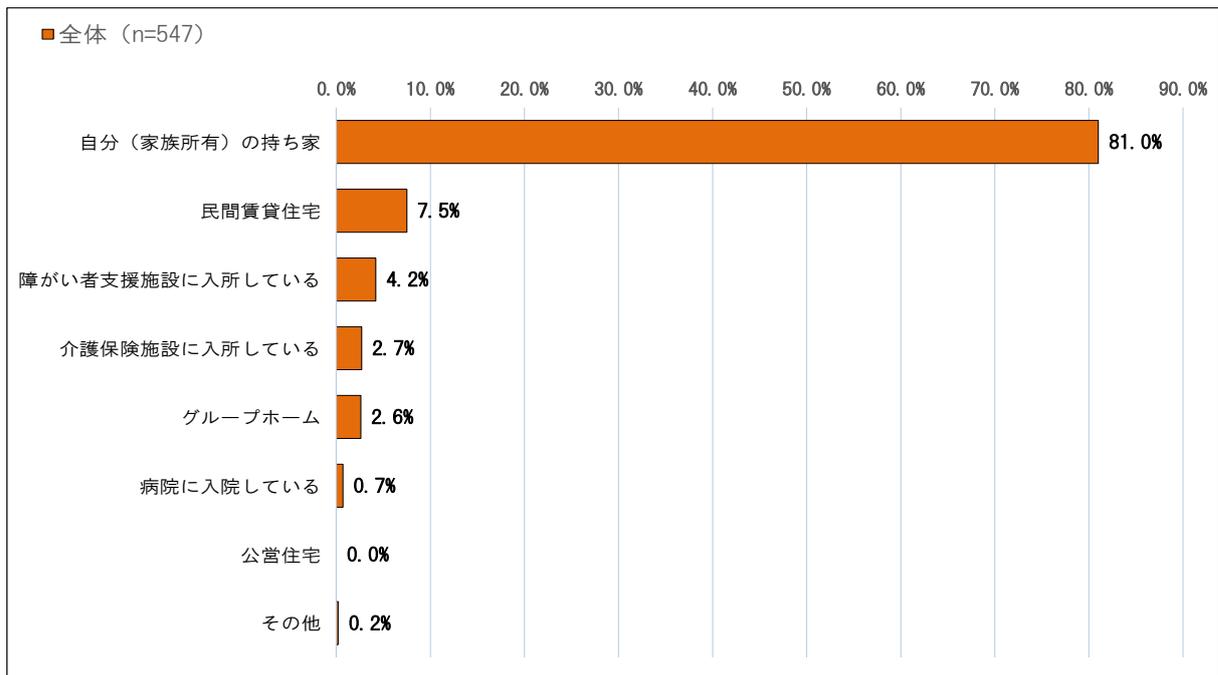
6 住まい・生活について

(1) 現在暮らしている場所

問 26 あなたが現在暮らしている場所はどこですか。(単数回答)

「現在暮らしている場所」については、全体では「自分（家族所有）の持ち家」が81.0%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が7.5%、「障がい者支援施設に入所している」が4.2%等となっています。

障がい別にみると、全ての障がいで「自分（家族所有）の持ち家」の割合が最も高くなっています。また、知的障がいでは「障がい者支援施設に入所している」が19.8%、精神障がいでは「民間賃貸住宅」が19.0%となっており、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	自分（家族所有）の持ち家	民間賃貸住宅	公営住宅	グループホーム	障がい者支援施設に入所している
全体	547	443	41	0	14	23
	100.0%	81.0%	7.5%	0.0%	2.6%	4.2%
身体障がい	398	348	25	0	1	3
	100.0%	87.4%	6.3%	0.0%	0.3%	0.8%
知的障がい	91	60	5	0	8	18
	100.0%	65.9%	5.5%	0.0%	8.8%	19.8%
精神障がい	58	35	11	0	5	2
	100.0%	60.3%	19.0%	0.0%	8.6%	3.4%

区分	合計	介護保険施設に入所している	病院に入院している	その他	無回答
全体	547	15	4	1	6
	100.0%	2.7%	0.7%	0.2%	1.1%
身体障がい	398	12	3	1	5
	100.0%	3.0%	0.8%	0.3%	1.3%
知的障がい	91	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい	58	3	1	0	1
	100.0%	5.2%	1.7%	0.0%	1.7%

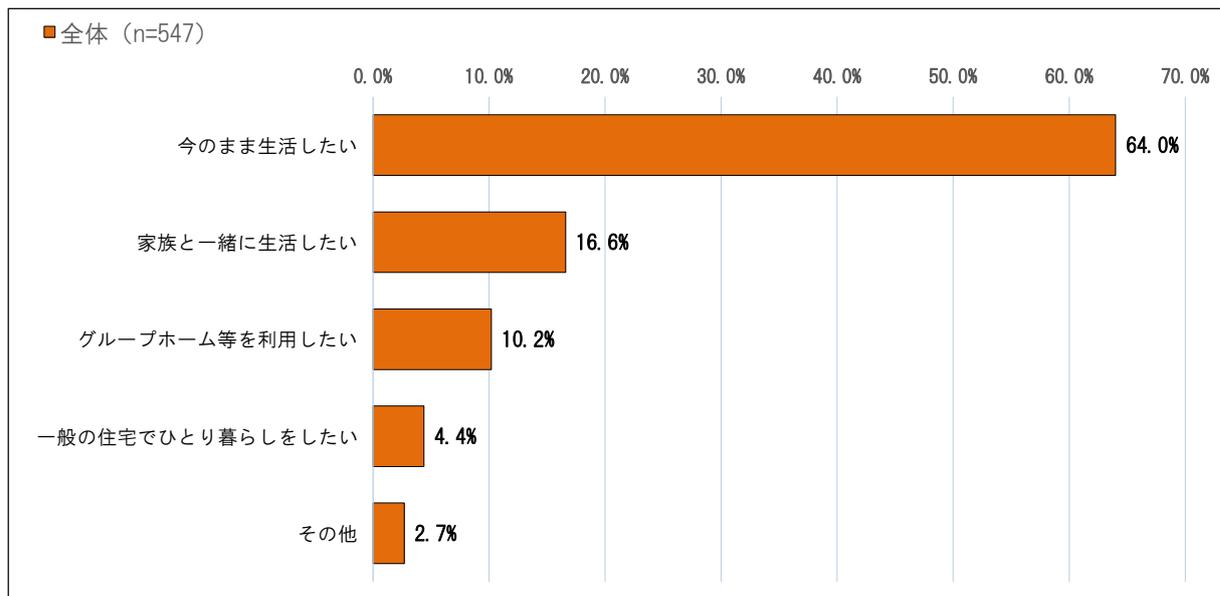
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(2) 将来の生活の希望

問 27 あなたは、将来どのように生活したいと思いますか。（単数回答）

「将来の生活の希望」については、全体では「今のまま生活したい」が64.0%で最も高く、次いで「家族と一緒に生活したい」が16.6%、「グループホーム等を利用したい」が10.2%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「グループホーム等を利用したい」が18.7%、精神障がいでは「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が13.8%となっており、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	今のまま生活したい	グループホーム等を利用したい	家族と一緒に生活したい	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	その他	無回答
全体	547	350	56	91	24	15	19
	100.0%	64.0%	10.2%	16.6%	4.4%	2.7%	3.5%
身体障がい	398	276	32	63	11	6	14
	100.0%	69.3%	8.0%	15.8%	2.8%	1.5%	3.5%
知的障がい	91	45	17	19	5	3	4
	100.0%	49.5%	18.7%	20.9%	5.5%	3.3%	4.4%
精神障がい	58	29	7	9	8	6	1
	100.0%	50.0%	12.1%	15.5%	13.8%	10.3%	1.7%

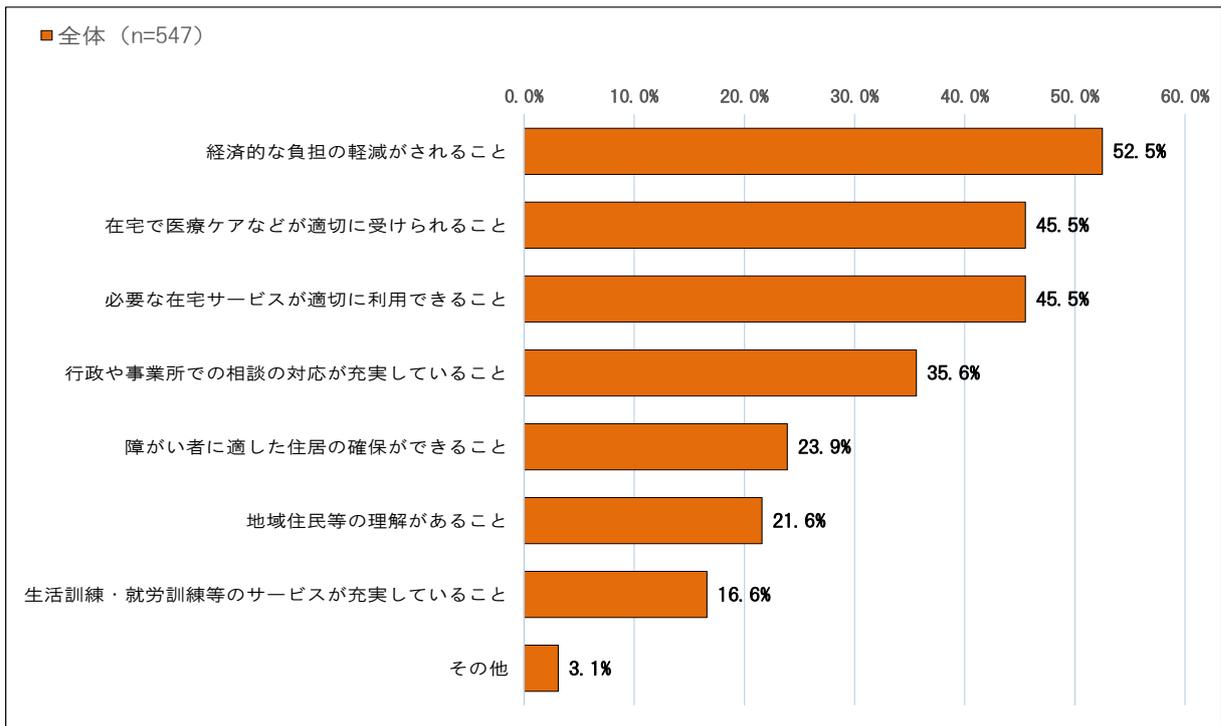
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 地域で生活するために必要な支援

問 28 地域で生活するために、どのような支援があればよいと思いますか。(複数回答)

「地域で生活するために必要な支援」については、全体では「経済的な負担の軽減がされること」が52.5%で最も高く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」及び「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が45.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「障がい者に適した住居の確保ができること」が54.9%、「地域住民等の理解があること」が44.0%となっており、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	在宅で医療ケアなどが適切に受けられること	障がい者に適した住居の確保ができること	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練・就労訓練等のサービスが充実していること	経済的な負担の軽減がされること
全体	547	249	131	249	91	287
	100.0%	45.5%	23.9%	45.5%	16.6%	52.5%
身体障がい	398	201	68	177	43	208
	100.0%	50.5%	17.1%	44.5%	10.8%	52.3%
知的障がい	91	35	50	53	30	42
	100.0%	38.5%	54.9%	58.2%	33.0%	46.2%
精神障がい	58	13	13	19	18	37
	100.0%	22.4%	22.4%	32.8%	31.0%	63.8%

区分	合計	行政や事業所での相談の対応が充実していること	地域住民等の理解があること	その他	無回答
全体	547	195	118	17	56
	100.0%	35.6%	21.6%	3.1%	10.2%
身体障がい	398	138	60	10	44
	100.0%	34.7%	15.1%	2.5%	11.1%
知的障がい	91	35	40	1	9
	100.0%	38.5%	44.0%	1.1%	9.9%
精神障がい	58	22	18	6	3
	100.0%	37.9%	31.0%	10.3%	5.2%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

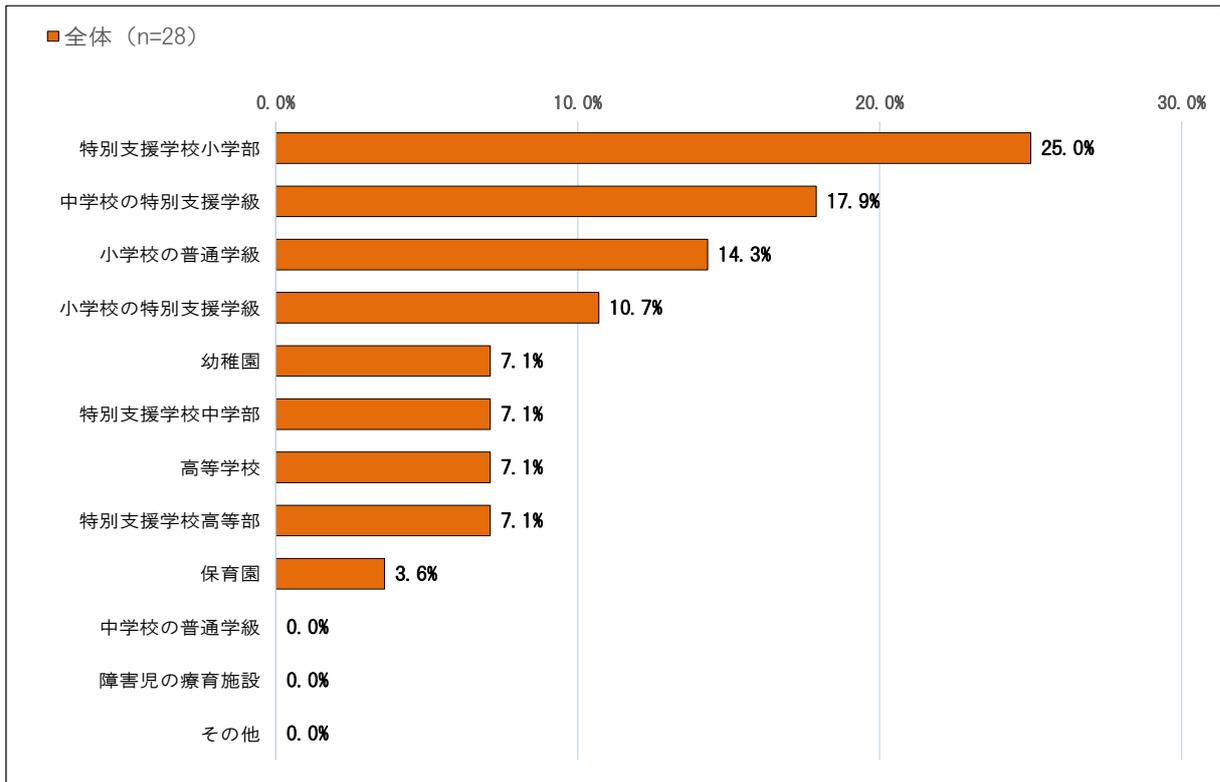
7 就学・就業について

(1) 主な通園・通学先

【18歳未満の方へ】

問29 あなたが主に通園・通学しているところはどこですか。(単数回答)

18歳未満の方の「主な通園・通学先」については、全体では「特別支援学校小学部」が25.0%で最も高く、次いで「中学校の特別支援学級」が17.9%、「小学校の普通学級」が14.3%等となっています。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	幼稚園	保育園	小学校の普通学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校小学部	中学校の普通学級	中学校の特別支援学級
全体	28	2	1	4	3	7	0	5
	100.0%	7.1%	3.6%	14.3%	10.7%	25.0%	0.0%	17.9%
身体障がい	4	1	0	1	0	2	0	0
	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	19	1	0	2	2	4	0	5
	100.0%	5.3%	0.0%	10.5%	10.5%	21.1%	0.0%	26.3%
精神障がい	5	0	1	1	1	1	0	0
	100.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

区分	合計	特別支援学校中学部	高等学校	特別支援学校高等部	障害児の療育施設	その他	無回答
全体	28	2	2	2	0	0	0
	100.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
身体障がい	4	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	19	2	1	2	0	0	0
	100.0%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい	5	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

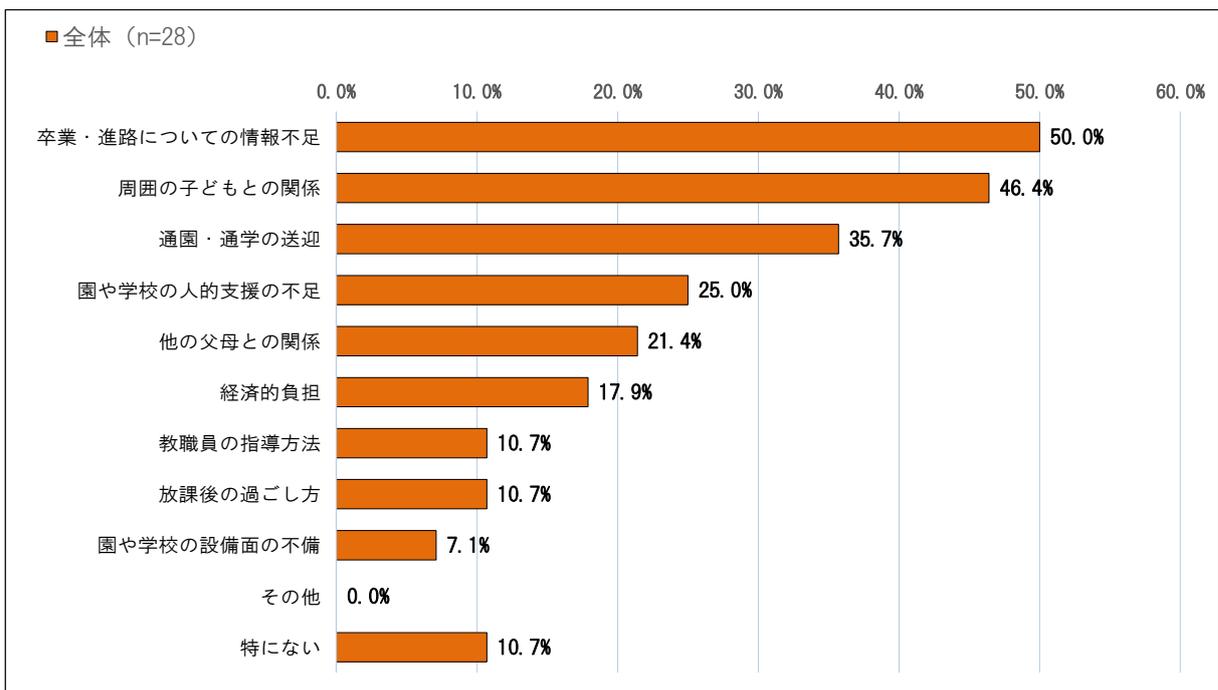
(2) 通園・通学で困っていること

【18歳未満の方へ】

問30 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか。(複数回答)

18歳未満の方の「通園・通学で困っていること」については、全体では「卒業・進路についての情報不足」が50.0%と最も高く、次いで「周囲の子どもとの関係」が46.4%、「通園・通学の送迎」が35.7%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「通園・通学の送迎」が75.0%、精神障がいでは「周囲の子どもとの関係」が80.0%となっており、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	通園・通学の送迎	教職員の指導方法	園や学校の設備面の不備	園や学校の人的支援の不足	周囲の子どもとの関係	他の父母との関係
全体	28	10	3	2	7	13	6
	100.0%	35.7%	10.7%	7.1%	25.0%	46.4%	21.4%
身体障がい	4	3	1	1	2	2	1
	100.0%	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%
知的障がい	19	7	2	0	3	7	3
	100.0%	36.8%	10.5%	0.0%	15.8%	36.8%	15.8%
精神障がい	5	0	0	1	2	4	2
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	80.0%	40.0%

区分	合計	放課後の過ごし方	卒業・進路についての情報不足	経済的負担	その他	特にない	無回答
全体	28	3	14	5	0	3	1
	100.0%	10.7%	50.0%	17.9%	0.0%	10.7%	3.6%
身体障がい	4	2	4	1	0	0	0
	100.0%	50.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	19	0	8	2	0	3	1
	100.0%	0.0%	42.1%	10.5%	0.0%	15.8%	5.3%
精神障がい	5	1	2	2	0	0	0
	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

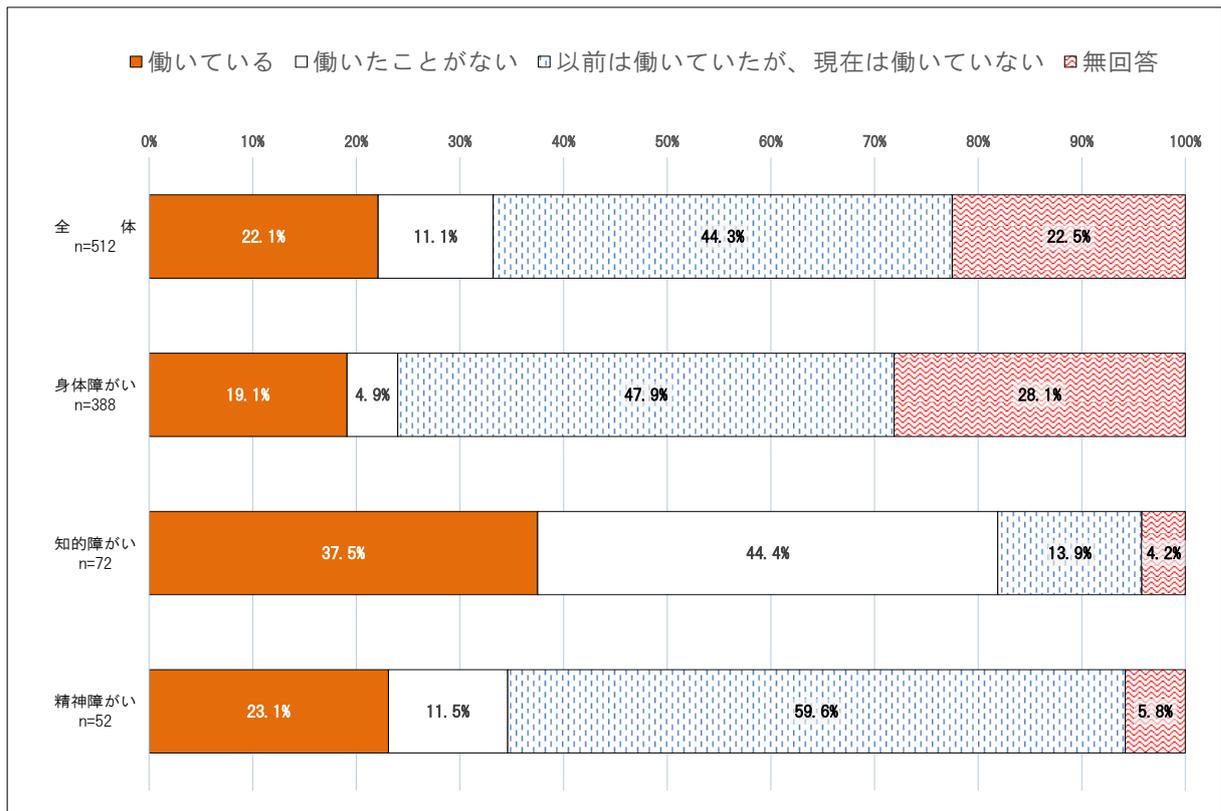
(3) 就業の有無

【18歳以上の方へ】

問31 あなたは、現在働いていますか。(単数回答)

18歳以上の方の「就業の有無」については、全体では「以前は働いていたが、現在は働いていない」が44.3%で最も高く、次いで「働いている」が22.1%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「働いている」の割合が37.5%とその他の障がいに比べ高く、就労により社会に参加していることがわかります。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	働いている	働いたことがない	以前は働いていたが、現在は働いていない	無回答
全体	512	113	57	227	115
	100.0%	22.1%	11.1%	44.3%	22.5%
身体障がい	388	74	19	186	109
	100.0%	19.1%	4.9%	47.9%	28.1%
知的障がい	72	27	32	10	3
	100.0%	37.5%	44.4%	13.9%	4.2%
精神障がい	52	12	6	31	3
	100.0%	23.1%	11.5%	59.6%	5.8%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

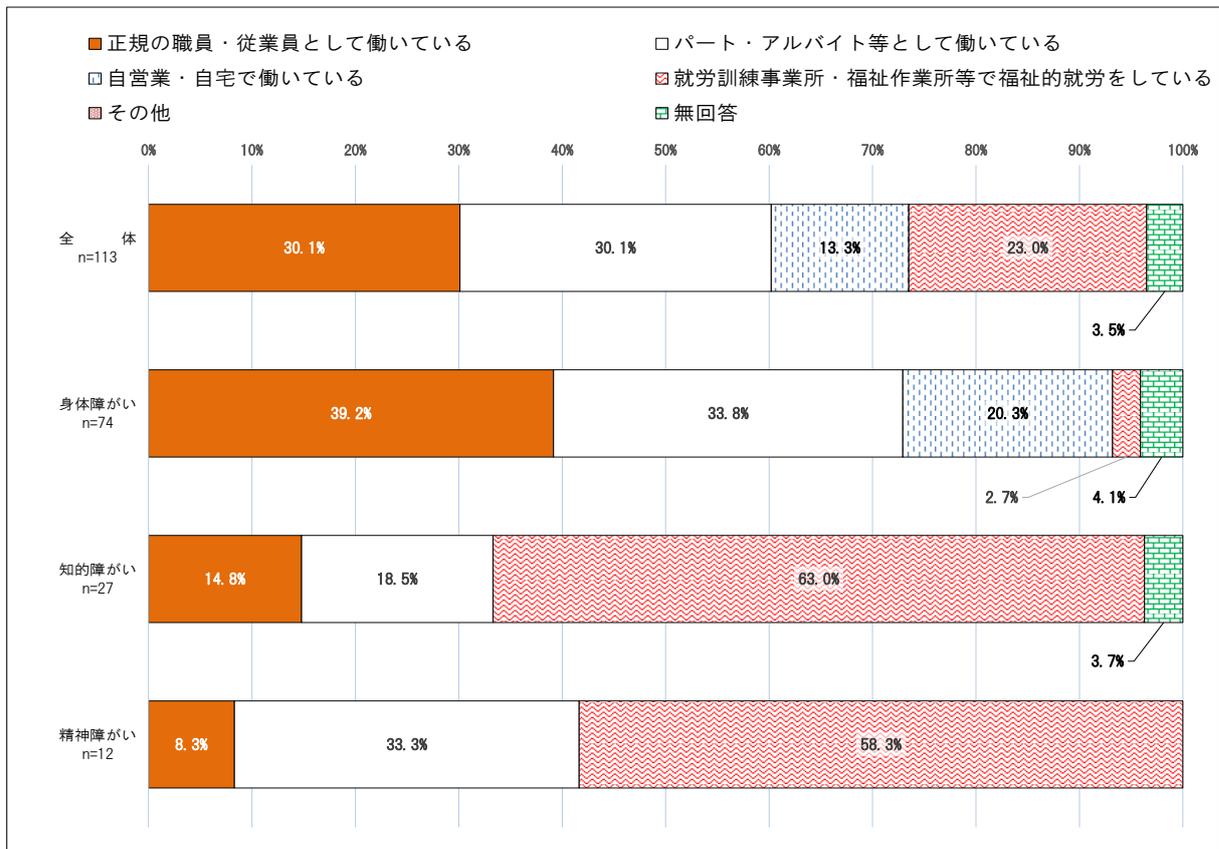
(4) 就労形態

【問31で「働いている」と回答された方へ】

問32 あなたの就労形態はどれですか。(単数回答)

18歳以上でかつ現在働いている方の「就労形態」については、全体では「正規の職員・従業員として働いている」及び「パート・アルバイト等として働いている」がともに30.1%と高く、次いで「就労訓練事業所・福祉作業所等で福祉的就労をしている」が23.0%等となっています。

障がい別にみると、知的障がい及び精神障がいでは「正規の職員・従業員として働いている」の割合が低く、「就労訓練事業所・福祉作業所等で福祉的就労をしている」の割合が、知的障がいでは63.0%、精神障がいでは58.3%と、それぞれ高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	正規の職員・従業員として働いている	パート・アルバイト等として働いている	自営業・自宅で働いている	就労訓練事業所・福祉作業所等で福祉的就労をしている	その他	無回答
全体	113	34	34	15	26	0	4
	100.0%	30.1%	30.1%	13.3%	23.0%	0.0%	3.5%
身体障がい	74	29	25	15	2	0	3
	100.0%	39.2%	33.8%	20.3%	2.7%	0.0%	4.1%
知的障がい	27	4	5	0	17	0	1
	100.0%	14.8%	18.5%	0.0%	63.0%	0.0%	3.7%
精神障がい	12	1	4	0	7	0	0
	100.0%	8.3%	33.3%	0.0%	58.3%	0.0%	0.0%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

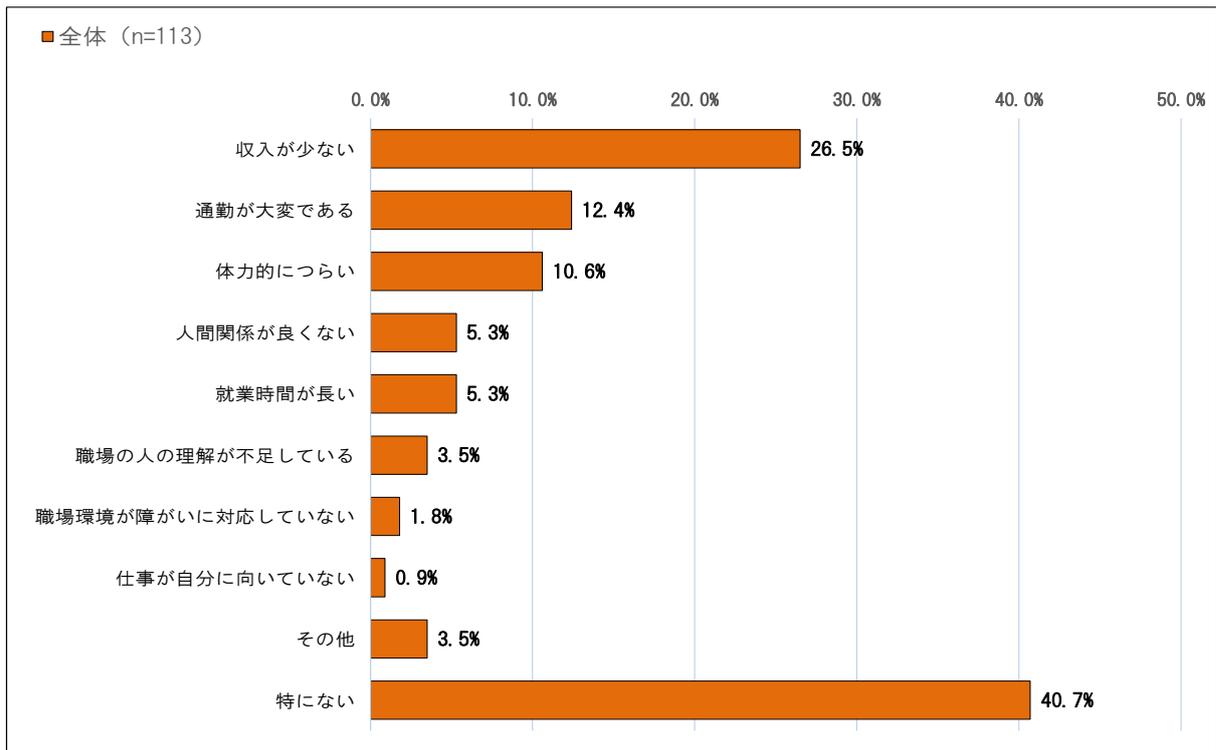
(5) 仕事で困っていること・不満に思うこと

【問31で「働いている」と回答された方へ】

問33 現在の仕事で困っていることや、不満に思っていることはなんですか。(複数回答)

18歳以上でかつ現在働いている方の「仕事で困っていること・不満に思うこと」については、全体では「収入が少ない」が26.5%で最も高く、次いで「通勤が大変である」が12.4%、「体力的につらい」が10.6%等となっています。

障がい別にみると、問32で福祉的就労の割合が高かった知的障がい及び精神障がいでは、「収入が少ない」と回答した方が4割を超えています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	通勤が大変である	職場環境が障がいに 対応していない	職場の人の理解が 不足している	人間関係が良く ない	仕事が自分に向 いていない	収入が少ない
全体	113	14	2	4	6	1	30
	100.0%	12.4%	1.8%	3.5%	5.3%	0.9%	26.5%
身体障がい	74	11	1	2	4	1	14
	100.0%	14.9%	1.4%	2.7%	5.4%	1.4%	18.9%
知的障がい	27	2	1	2	1	0	11
	100.0%	7.4%	3.7%	7.4%	3.7%	0.0%	40.7%
精神障がい	12	1	0	0	1	0	5
	100.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	41.7%

区分	合計	体力的につらい	就業時間が長い	その他	特にない	無回答
全体	113	12	6	4	46	11
	100.0%	10.6%	5.3%	3.5%	40.7%	9.7%
身体障がい	74	11	6	3	34	6
	100.0%	14.9%	8.1%	4.1%	45.9%	8.1%
知的障がい	27	0	0	0	9	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	14.8%
精神障がい	12	1	0	1	3	1
	100.0%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%	8.3%

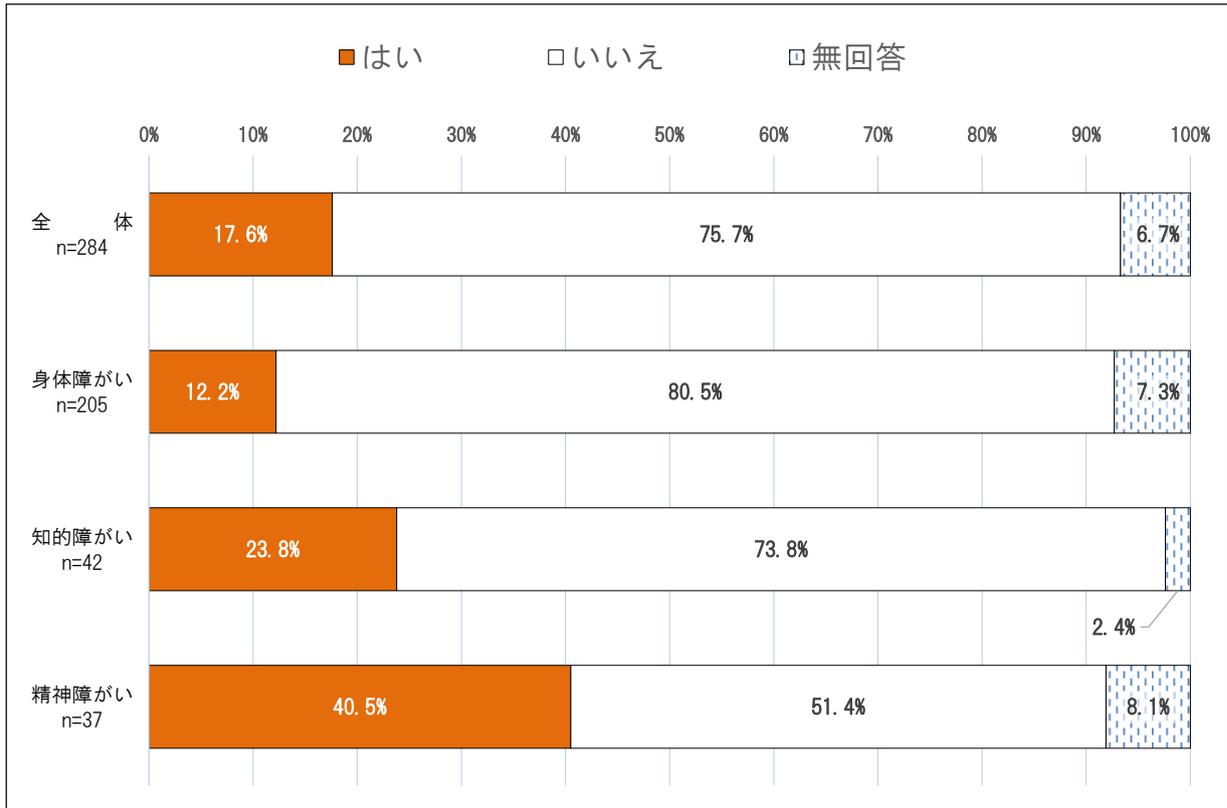
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(6) 就業の希望

【問31で「働いたことがない・現在は働いていない」と回答された方へ】
 問34 あなたは、今後働きたいと思っていますか。(単数回答)

18歳以上でかつ働いたことがない・現在は働いていない方の「就業の希望」については、全体では「いいえ」が75.7%、「はい」が17.6%となっています。

障がい別にみると、働きたいと思っている方は精神障がい者が40.5%で最も高く、働きたいと思っていない方は身体障がい者が80.5%で最も高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	はい	いいえ	無回答
全体	284	50	215	19
	100.0%	17.6%	75.7%	6.7%
身体障がい	205	25	165	15
	100.0%	12.2%	80.5%	7.3%
知的障がい	42	10	31	1
	100.0%	23.8%	73.8%	2.4%
精神障がい	37	15	19	3
	100.0%	40.5%	51.4%	8.1%

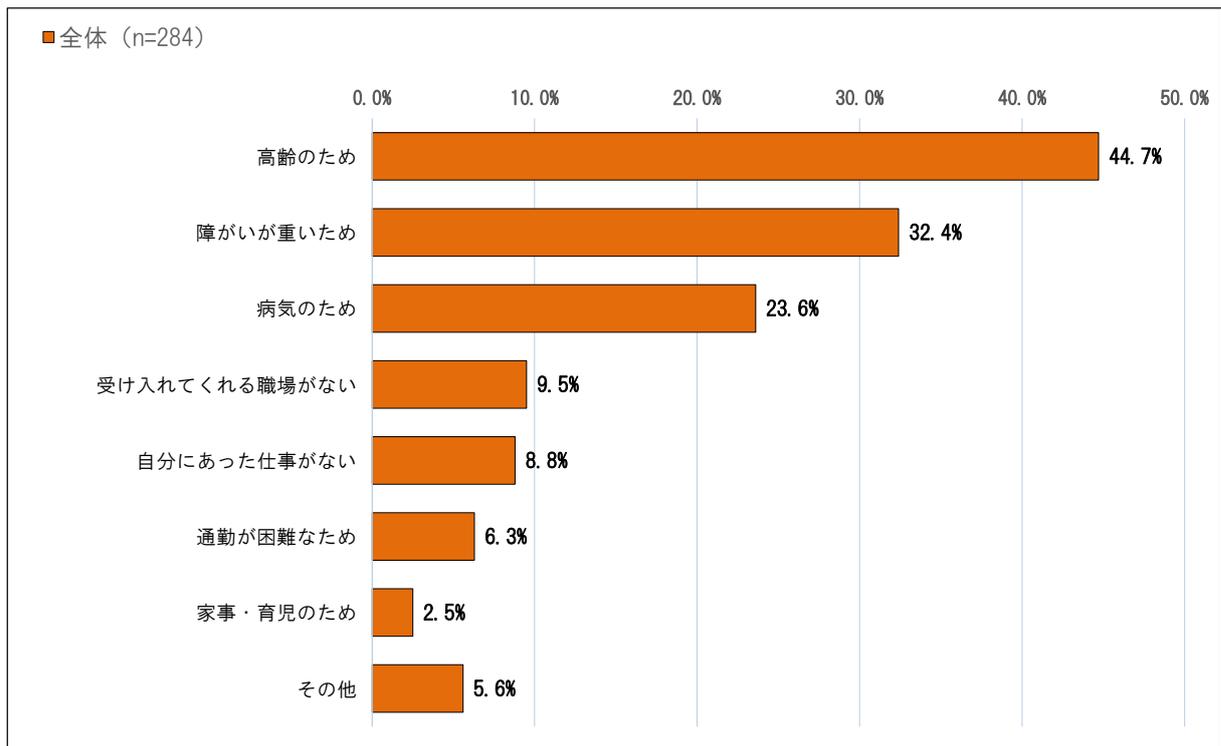
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(7) 就業しない理由

【問31で「働いたことがない・現在は働いていない」と回答された方へ】
 問35 あなたが働いていない理由はなんですか。(複数回答)

18歳以上でかつ働いたことがない・現在は働いていない方の「就業しない理由」については、全体では「高齢のため」が44.7%で最も高く、次いで「障がいがあるため」が32.4%、「病気のため」が23.6%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「障がいがあるため」が76.2%、精神障がいでは「病気のため」が45.9%となっており、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	受け入れてくれる職場がない	通勤が困難なため	自分にあった仕事がない	障がいがあるため	高齢のため
全体	284	27	18	25	92	127
	100.0%	9.5%	6.3%	8.8%	32.4%	44.7%
身体障がい	205	13	9	14	44	119
	100.0%	6.3%	4.4%	6.8%	21.5%	58.0%
知的障がい	42	6	3	4	32	4
	100.0%	14.3%	7.1%	9.5%	76.2%	9.5%
精神障がい	37	8	6	7	16	4
	100.0%	21.6%	16.2%	18.9%	43.2%	10.8%

区分	合計	病気のため	家事・育児のため	その他	無回答
全体	284	67	7	16	40
	100.0%	23.6%	2.5%	5.6%	14.1%
身体障がい	205	45	6	11	34
	100.0%	22.0%	2.9%	5.4%	16.6%
知的障がい	42	5	0	2	3
	100.0%	11.9%	0.0%	4.8%	7.1%
精神障がい	37	17	1	3	3
	100.0%	45.9%	2.7%	8.1%	8.1%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

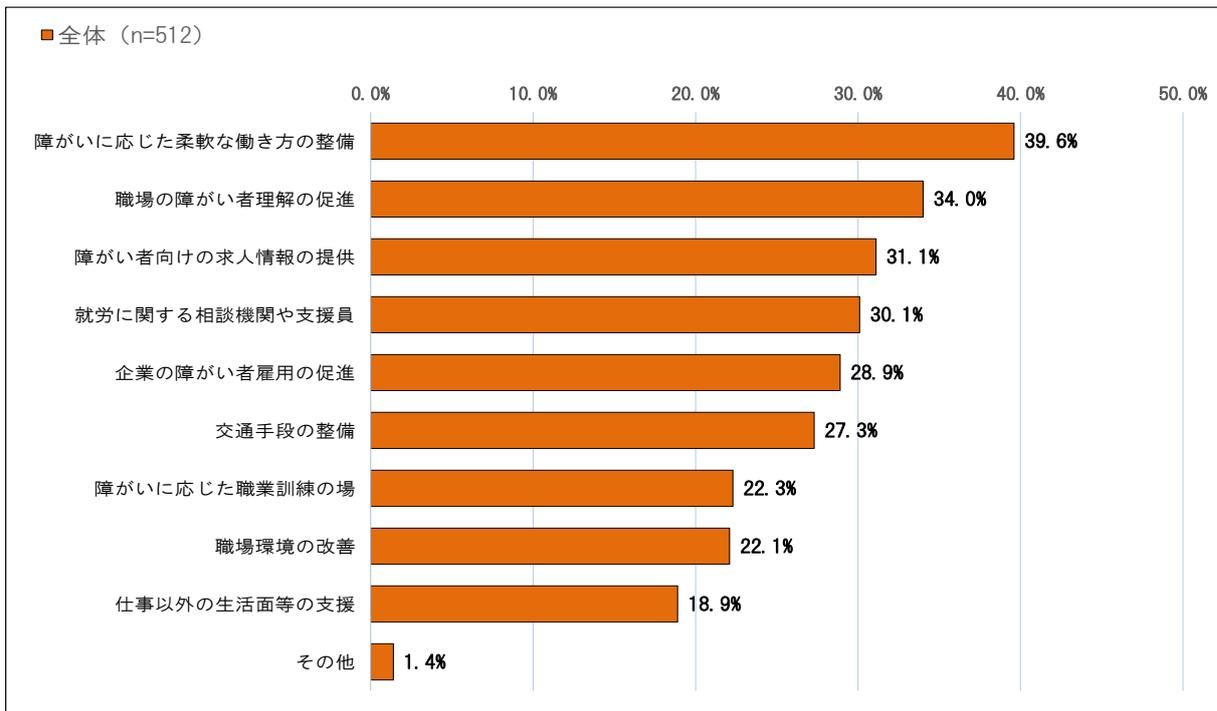
(8) 就業に必要なこと

【18歳以上の全ての方へ】

問 36 障がいのある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

18歳以上の方の「就業に必要なこと」については、全体では「障がいに応じた柔軟な働き方の整備」が39.6%で最も多く、次いで「職場の障がい者理解の促進」が34.0%、「障がい者向けの求人情報の提供」が31.1%等となっています。

障がい別にみると、知的障がい及び精神障がいでは「職場の障がい者理解の促進」及び「障がいに応じた柔軟な働き方の整備」の割合が高く、5割以上となっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	就労に関する相談機関や支援員	障がい者向けの求人情報の提供	障がいに応じた職業訓練の場	企業の障がい者雇用の促進	職場環境の改善	障がいに応じた柔軟な働き方の整備
全体	512	154	159	114	148	113	203
	100.0%	30.1%	31.1%	22.3%	28.9%	22.1%	39.6%
身体障がい	388	100	106	71	98	76	132
	100.0%	25.8%	27.3%	18.3%	25.3%	19.6%	34.0%
知的障がい	72	30	28	25	25	22	45
	100.0%	41.7%	38.9%	34.7%	34.7%	30.6%	62.5%
精神障がい	52	24	25	18	25	15	26
	100.0%	46.2%	48.1%	34.6%	48.1%	28.8%	50.0%

区分	合計	職場の障がい者理解の促進	交通手段の整備	仕事以外の生活面等の支援	その他	無回答
全体	512	174	140	97	7	167
	100.0%	34.0%	27.3%	18.9%	1.4%	32.6%
身体障がい	388	96	101	55	5	153
	100.0%	24.7%	26.0%	14.2%	1.3%	39.4%
知的障がい	72	49	23	29	1	7
	100.0%	68.1%	31.9%	40.3%	1.4%	9.7%
精神障がい	52	29	16	13	1	7
	100.0%	55.8%	30.8%	25.0%	1.9%	13.5%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

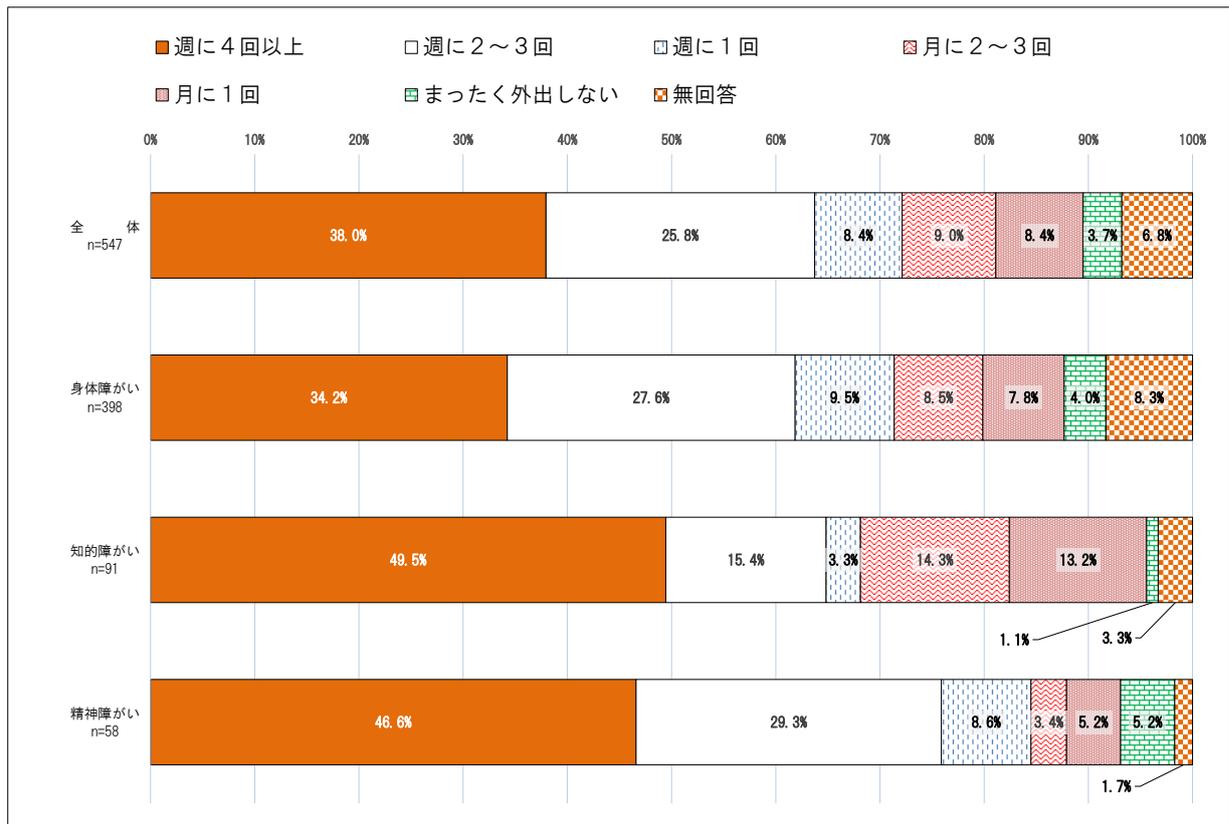
8 外出について

(1) 外出頻度

問 37 あなたの外出回数はどれくらいですか。(単数回答)

「外出頻度」については、全体では「週に4回以上」が38.0%で最も高く、次いで「週に2～3回」が25.8%、「月に2～3回」が9.0%等となっています。

障がい別にみると、「週に4回以上」の割合が、知的障がいでは49.5%、精神障がいでは46.6%となっており、身体障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	週に4回以上	週に2～3回	週に1回	月に2～3回	月に1回	まったく外出しない	無回答
全体	547	208	141	46	49	46	20	37
	100.0%	38.0%	25.8%	8.4%	9.0%	8.4%	3.7%	6.8%
身体障がい	398	136	110	38	34	31	16	33
	100.0%	34.2%	27.6%	9.5%	8.5%	7.8%	4.0%	8.3%
知的障がい	91	45	14	3	13	12	1	3
	100.0%	49.5%	15.4%	3.3%	14.3%	13.2%	1.1%	3.3%
精神障がい	58	27	17	5	2	3	3	1
	100.0%	46.6%	29.3%	8.6%	3.4%	5.2%	5.2%	1.7%

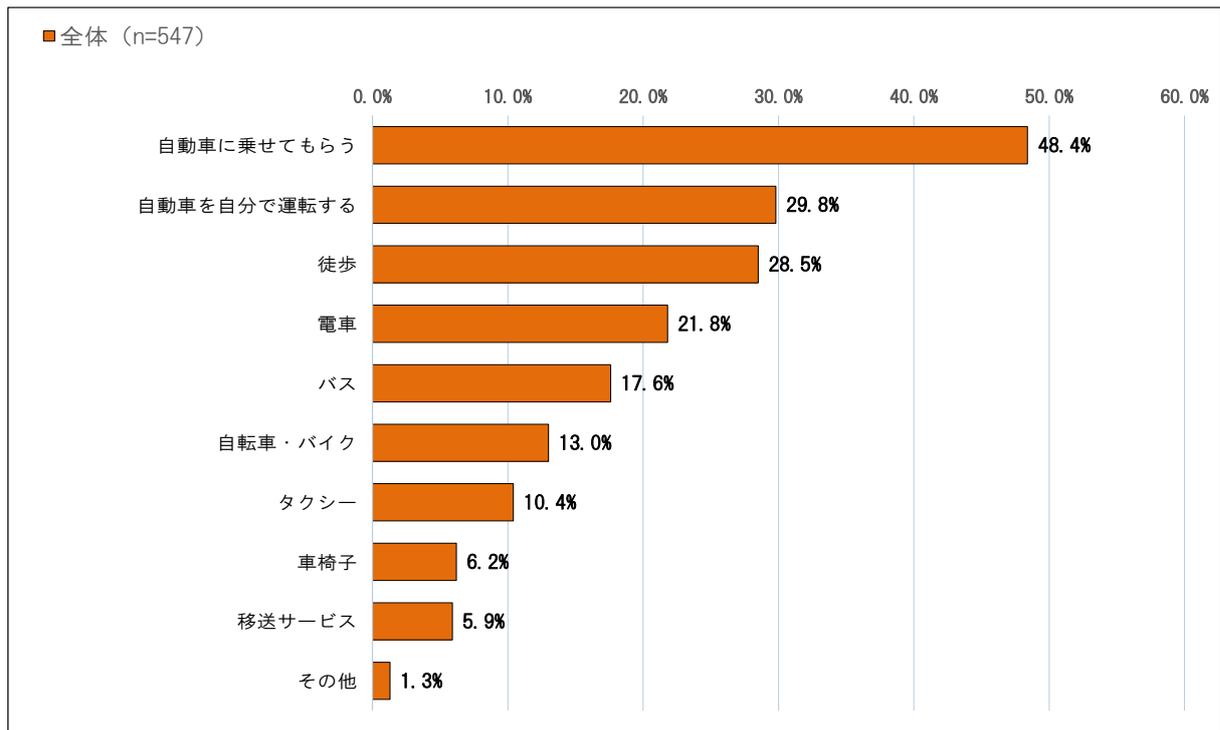
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(2) 移動手段

問 38 あなたが外出するときに利用している主な移動手段は何ですか。(複数回答)

「移動手段」については、全体では「自動車に乗せてもらう」が48.4%で最も高く、次いで「自動車を自分で運転する」が29.8%、「徒歩」が28.5%等となっています。

障がい別にみると、全ての障がいでは「自動車に乗せてもらう」が最も高くなっています。また、身体障がいでは「自動車を自分で運転する」の割合が、知的障がい及び精神障がいでは「徒歩」の割合が、それぞれ高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	徒歩	車椅子	自転車・バイク	電車	バス	自動車を自分で運転する
全体	547	156	34	71	119	96	163
	100.0%	28.5%	6.2%	13.0%	21.8%	17.6%	29.8%
身体障がい	398	89	28	39	78	61	150
	100.0%	22.4%	7.0%	9.8%	19.6%	15.3%	37.7%
知的障がい	91	38	6	15	24	19	3
	100.0%	41.8%	6.6%	16.5%	26.4%	20.9%	3.3%
精神障がい	58	29	0	17	17	16	10
	100.0%	50.0%	0.0%	29.3%	29.3%	27.6%	17.2%

区分	合計	自動車に乗せてもらう	タクシー	移送サービス	その他	無回答
全体	547	265	57	32	7	28
	100.0%	48.4%	10.4%	5.9%	1.3%	5.1%
身体障がい	398	163	43	23	5	25
	100.0%	41.0%	10.8%	5.8%	1.3%	6.3%
知的障がい	91	72	7	5	2	2
	100.0%	79.1%	7.7%	5.5%	2.2%	2.2%
精神障がい	58	30	7	4	0	1
	100.0%	51.7%	12.1%	6.9%	0.0%	1.7%

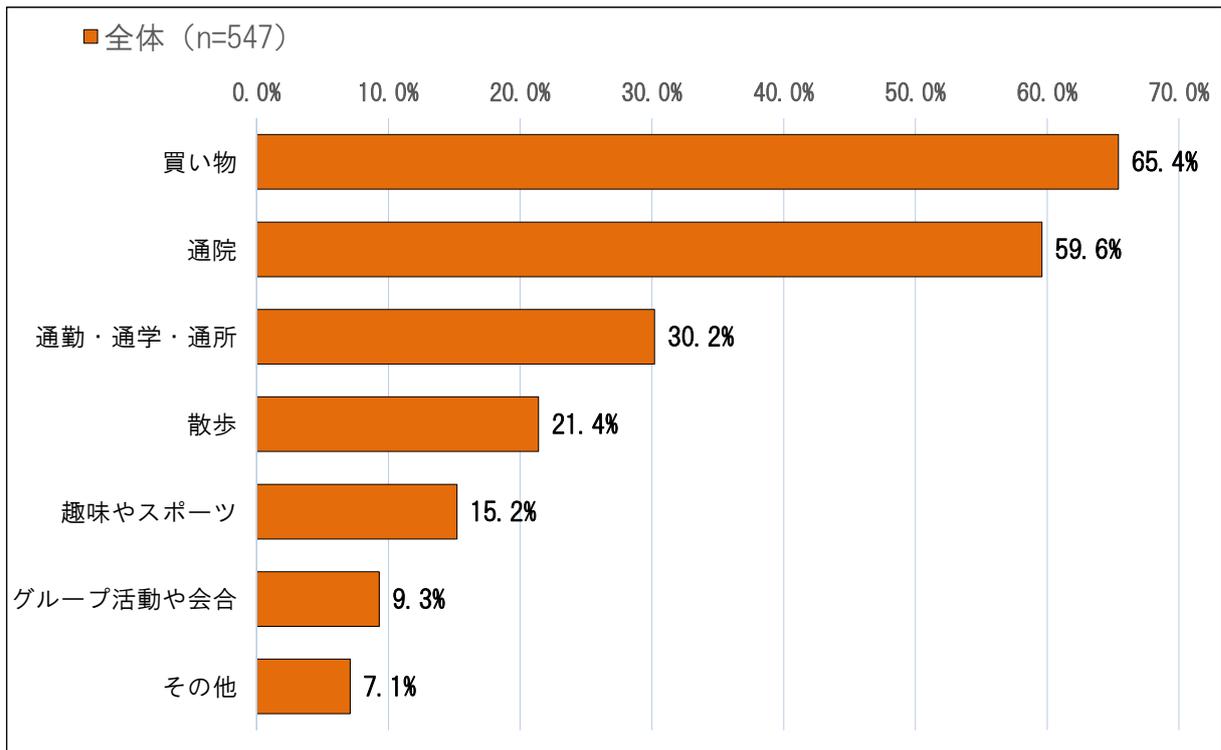
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 外出目的

問 39 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(複数回答)

「外出目的」については、全体では「買い物」が65.4%で最も高く、次いで「通院」が59.6%、「通勤・通学・通所」が30.2%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「通勤・通学・通所」が61.5%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	通勤・通学・通所	通院	買い物	散歩
全体	547	165	326	358	117
	100.0%	30.2%	59.6%	65.4%	21.4%
身体障がい	398	86	248	252	69
	100.0%	21.6%	62.3%	63.3%	17.3%
知的障がい	91	56	42	60	28
	100.0%	61.5%	46.2%	65.9%	30.8%
精神障がい	58	23	36	46	20
	100.0%	39.7%	62.1%	79.3%	34.5%

区分	合計	趣味やスポーツ	グループ活動や会合	その他	無回答
全体	547	83	51	39	37
	100.0%	15.2%	9.3%	7.1%	6.8%
身体障がい	398	65	41	20	32
	100.0%	16.3%	10.3%	5.0%	8.0%
知的障がい	91	9	5	18	2
	100.0%	9.9%	5.5%	19.8%	2.2%
精神障がい	58	9	5	1	3
	100.0%	15.5%	8.6%	1.7%	5.2%

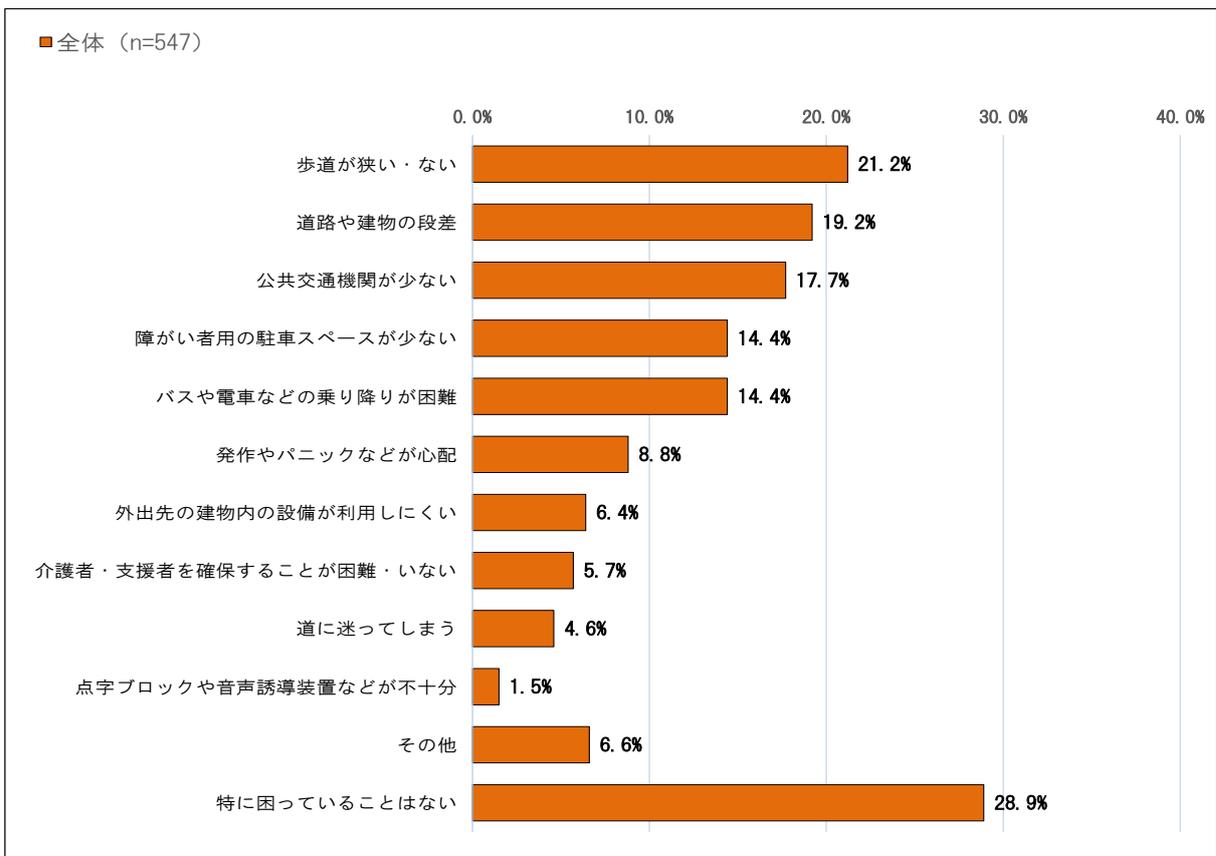
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(4) 外出で困っていること

問 40 あなたが、外出の際に困っていることは何ですか。(複数回答)

「外出で困っていること」については、全体では「歩道が狭い・ない」が21.2%で最も高く、次いで「道路や建物の段差」が19.2%、「公共交通機関が少ない」が17.7%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「道路や建物の段差」が、知的障がいでは同率で「歩道が狭い・ない」及び「発作やパニックなどが心配」が、精神障がいでは同率で「歩道が狭い・ない」及び「公共交通機関が少ない」が、それぞれ最も高い割合となっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	歩道が狭い・ない	介護者・支援者を確保することが困難・いない	道路や建物の段差	点字ブロックや音声誘導装置などが不十分	外出先の建物内の設備が利用しにくい	障がい者用の駐車スペースが少ない	公共交通機関が少ない
全体	547	116	31	105	8	35	79	97
	100.0%	21.2%	5.7%	19.2%	1.5%	6.4%	14.4%	17.7%
身体障がい	398	75	18	86	5	23	69	69
	100.0%	18.8%	4.5%	21.6%	1.3%	5.8%	17.3%	17.3%
知的障がい	91	24	12	16	2	11	9	11
	100.0%	26.4%	13.2%	17.6%	2.2%	12.1%	9.9%	12.1%
精神障がい	58	17	1	3	1	1	1	17
	100.0%	29.3%	1.7%	5.2%	1.7%	1.7%	1.7%	29.3%

区分	合計	バスや電車などの乗り降りが困難	道に迷ってしまう	発作やパニックなどが心配	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	547	79	25	48	36	158	63
	100.0%	14.4%	4.6%	8.8%	6.6%	28.9%	11.5%
身体障がい	398	64	6	13	20	118	50
	100.0%	16.1%	1.5%	3.3%	5.0%	29.6%	12.6%
知的障がい	91	12	10	24	9	21	6
	100.0%	13.2%	11.0%	26.4%	9.9%	23.1%	6.6%
精神障がい	58	3	9	11	7	19	7
	100.0%	5.2%	15.5%	19.0%	12.1%	32.8%	12.1%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

9 障がい福祉サービスの利用について

(1) 障がい福祉サービスの利用状況と利用希望

【問41は、18歳以上の方がお答えください。18歳未満の方は、問42へお進みください。】

問41 障がい福祉サービスの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望（現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○）をそれぞれお答えください。（それぞれのサービスごとに単数回答）

【訪問系サービス】

「訪問系サービス」については、全体では利用状況、利用希望ともに「居宅介護」の割合が最も高くなっています。

障がい別の利用希望をみると、知的障がいでは「行動援護」が36.1%、「重度障害者等包括支援」が22.2%と、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分	現在の利用状況			今後の利用希望			
	利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答	
居宅介護	全体(n=512)	33 6.4%	395 77.1%	84 16.4%	163 31.8%	204 39.8%	145 28.3%
	身体障がい(n=388)	26 6.7%	287 74.0%	75 19.3%	131 33.8%	137 35.3%	120 30.9%
	知的障がい(n=72)	5 6.9%	63 87.5%	4 5.6%	18 25.0%	42 58.3%	12 16.7%
	精神障がい(n=52)	2 3.8%	45 86.5%	5 9.6%	14 26.9%	25 48.1%	13 25.0%
重度訪問介護	全体(n=512)	10 2.0%	377 73.6%	125 24.4%	108 21.1%	208 40.6%	196 38.3%
	身体障がい(n=388)	8 2.1%	297 68.8%	113 29.1%	88 22.7%	134 34.5%	166 42.8%
	知的障がい(n=72)	1 1.4%	65 90.3%	6 8.3%	15 20.8%	43 59.7%	14 19.4%
	精神障がい(n=52)	1 1.9%	45 86.5%	6 11.5%	5 9.6%	31 59.6%	16 30.8%
同行援護	全体(n=512)	8 1.6%	344 67.2%	160 31.3%	58 11.3%	217 42.4%	237 46.3%
	身体障がい(n=388)	6 1.5%	240 61.9%	142 36.6%	45 11.6%	141 36.3%	202 52.1%
	知的障がい(n=72)	1 1.4%	63 87.5%	8 11.1%	10 13.9%	46 63.9%	16 22.2%
	精神障がい(n=52)	1 1.9%	41 78.8%	10 19.2%	3 5.8%	30 57.7%	19 36.5%
行動援護	全体(n=512)	14 2.7%	335 65.4%	163 31.8%	74 14.5%	201 39.3%	237 46.3%
	身体障がい(n=388)	4 1.0%	234 60.3%	150 38.7%	37 9.5%	145 37.4%	206 53.1%
	知的障がい(n=72)	6 8.3%	61 84.7%	5 6.9%	26 36.1%	33 45.8%	13 18.1%
	精神障がい(n=52)	4 7.7%	40 76.9%	8 15.4%	11 21.2%	23 44.2%	18 34.6%
重度障害者等包括支援	全体(n=512)	5 1.0%	338 66.0%	169 33.0%	59 11.5%	211 41.2%	242 47.3%
	身体障がい(n=388)	4 1.0%	234 60.3%	150 38.7%	37 9.5%	145 37.4%	206 53.1%
	知的障がい(n=72)	0 0.0%	63 87.5%	9 12.5%	16 22.2%	39 54.2%	17 23.6%
	精神障がい(n=52)	1 1.9%	41 78.8%	10 19.2%	6 11.5%	27 51.9%	19 36.5%

【日中活動系サービス】

「日中活動系サービス」については、全体では、利用状況は「生活介護」の割合が、利用希望は「短期入所」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、知的障がいでは「生活介護」及び「短期入所」の割合が、それぞれその他の障がいに比べ高くなっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
療養介護	全体 (n=512)	18 3.5%	339 66.2%	155 30.3%	92 18.0%	190 37.1%	230 44.9%
	身体障がい (n=388)	11 2.8%	239 61.6%	138 35.6%	68 17.5%	126 32.5%	194 50.0%
	知的障がい (n=72)	1 1.4%	63 87.5%	8 11.1%	14 19.4%	40 55.6%	18 25.0%
	精神障がい (n=52)	6 11.5%	37 71.2%	9 17.3%	10 19.2%	24 46.2%	18 34.6%
生活介護	全体 (n=512)	47 9.2%	310 60.5%	155 30.3%	124 24.2%	161 31.4%	227 44.3%
	身体障がい (n=388)	17 4.4%	234 60.3%	137 35.3%	77 19.8%	120 30.9%	191 49.2%
	知的障がい (n=72)	26 36.1%	36 50.0%	10 13.9%	36 50.0%	18 25.0%	18 25.0%
	精神障がい (n=52)	4 7.7%	40 76.9%	8 15.4%	11 21.2%	23 44.2%	18 34.6%
短期入所	全体 (n=512)	32 6.3%	332 64.8%	148 28.9%	126 24.6%	171 33.4%	215 42.0%
	身体障がい (n=388)	17 4.4%	237 61.1%	134 34.5%	87 22.4%	113 29.1%	188 48.5%
	知的障がい (n=72)	12 16.7%	54 75.0%	6 8.3%	29 40.3%	32 44.4%	11 15.3%
	精神障がい (n=52)	3 5.8%	41 78.8%	8 15.4%	10 19.2%	26 50.0%	16 30.8%

【施設系・居住支援系サービス】

「施設系・居住支援系サービス」については、全体では利用状況、利用希望ともに「施設入所支援」の割合が最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、知的障がいでは「施設入所支援」が5割を超えており、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
施設入所支援	全体 (n=512)	41 8.0%	320 62.5%	151 29.5%	120 23.4%	163 31.8%	229 44.7%
	身体障がい (n=388)	16 4.1%	236 60.8%	136 35.1%	70 18.0%	121 31.2%	197 50.8%
	知的障がい (n=72)	20 27.8%	45 62.5%	7 9.7%	37 51.4%	20 27.8%	15 20.8%
	精神障がい (n=52)	5 9.6%	39 75.0%	8 15.4%	13 25.0%	22 42.3%	17 32.7%
自立生活援助	全体 (n=512)	5 1.0%	347 67.8%	160 31.3%	75 14.6%	202 39.5%	235 45.9%
	身体障がい (n=388)	3 0.8%	242 62.4%	143 36.9%	44 11.3%	144 37.1%	200 51.5%
	知的障がい (n=72)	0 0.0%	62 86.1%	10 13.9%	14 19.4%	38 52.8%	20 27.8%
	精神障がい (n=52)	2 3.8%	43 82.7%	7 13.5%	17 32.7%	20 38.5%	15 28.8%
共同生活援助	全体 (n=512)	18 3.5%	333 65.0%	161 31.4%	70 13.7%	210 41.0%	232 45.3%
	身体障がい (n=388)	5 1.3%	238 61.3%	145 37.4%	37 9.5%	149 38.4%	202 52.1%
	知的障がい (n=72)	8 11.1%	56 77.8%	8 11.1%	22 30.6%	36 50.0%	14 19.4%
	精神障がい (n=52)	5 9.6%	39 75.0%	8 15.4%	11 21.2%	25 48.1%	16 30.8%

【訓練系・就労系サービス】

「訓練系・就労系サービス」については、全体では、利用状況は「就労継続支援A型・B型」の割合が、利用希望は「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、精神障がいでは「就労移行支援」及び「就労定着支援」の割合が、それぞれその他の障がいに比べ高くなっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	全体 (n=512)	24 4.7%	340 66.4%	148 28.9%	100 19.5%	187 36.5%	225 43.9%
	身体障がい (n=388)	17 4.4%	237 61.1%	134 34.5%	68 17.5%	128 33.0%	192 49.5%
	知的障がい (n=72)	2 2.8%	63 87.5%	7 9.7%	15 20.8%	41 56.9%	16 22.2%
	精神障がい (n=52)	5 9.6%	40 76.9%	7 13.5%	17 32.7%	18 34.6%	17 32.7%
就労移行支援	全体 (n=512)	12 2.3%	342 66.8%	158 30.9%	77 15.0%	203 39.6%	232 45.3%
	身体障がい (n=388)	2 0.5%	241 62.1%	145 37.4%	37 9.5%	147 37.9%	204 52.6%
	知的障がい (n=72)	8 11.1%	58 80.6%	6 8.3%	21 29.2%	39 54.2%	12 16.7%
	精神障がい (n=52)	2 3.8%	43 82.7%	7 13.5%	19 36.5%	17 32.7%	16 30.8%
就労継続支援（A型・B型）	全体 (n=512)	25 4.9%	323 63.1%	164 32.0%	74 14.5%	204 39.8%	234 45.7%
	身体障がい (n=388)	3 0.8%	237 61.1%	148 38.1%	33 8.5%	149 38.4%	206 53.1%
	知的障がい (n=72)	15 20.8%	50 69.4%	7 9.7%	24 33.3%	36 50.0%	12 16.7%
	精神障がい (n=52)	7 13.5%	36 69.2%	9 17.3%	17 32.7%	19 36.5%	16 30.8%
就労定着支援	全体 (n=512)	6 1.2%	338 66.0%	168 32.8%	72 14.1%	198 38.7%	242 47.3%
	身体障がい (n=388)	1 0.3%	237 61.1%	150 38.7%	32 8.2%	147 37.9%	209 53.9%
	知的障がい (n=72)	2 2.8%	59 81.9%	11 15.3%	20 27.8%	34 47.2%	18 25.0%
	精神障がい (n=52)	3 5.8%	42 80.8%	7 13.5%	20 38.5%	17 32.7%	15 28.8%

【相談支援】

「相談支援」については、全体では利用状況、利用希望ともに「地域定着支援」の割合が「地域移行支援」に比べ高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、精神障がいでは「地域定着支援」が36.5%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
地域移行支援	全体 (n=512)	5 1.0%	350 68.4%	157 30.7%	65 12.7%	209 40.8%	238 46.5%
	身体障がい (n=388)	2 0.5%	244 62.9%	142 36.6%	40 10.3%	145 37.4%	203 52.3%
	知的障がい (n=72)	0 0.0%	65 90.3%	7 9.7%	15 20.8%	41 56.9%	16 22.2%
	精神障がい (n=52)	3 5.8%	41 78.8%	8 15.4%	10 19.2%	23 44.2%	19 36.5%
地域定着支援	全体 (n=512)	9 1.8%	356 69.5%	147 28.7%	114 22.3%	176 34.4%	222 43.4%
	身体障がい (n=388)	7 1.8%	249 64.2%	132 34.0%	77 19.8%	121 31.2%	190 49.0%
	知的障がい (n=72)	0 0.0%	65 90.3%	7 9.7%	18 25.0%	39 54.2%	15 20.8%
	精神障がい (n=52)	2 3.8%	42 80.8%	8 15.4%	19 36.5%	16 30.8%	17 32.7%

(2) 障がい児通所支援サービスの利用状況と利用希望

【問 42 は、18 歳未満の方がお答えください。18 歳以上の方は、問 43 へお進みください。】

問 42 障害児通所支援サービスの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望（現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○）をそれぞれお答えください。（それぞれのサービスごとに単数回答）

【障がい児通所支援サービス】

「障がい児通所支援サービス」については、全体では利用状況、利用希望ともに「放課後等デイサービス」の割合が最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、精神障がいでは「児童発達支援」が 40.0%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
児童発達支援	全体 (n=28)	4 14.3%	20 71.4%	4 14.3%	9 32.1%	13 46.4%	6 21.4%
	身体障がい (n=4)	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	知的障がい (n=19)	3 15.8%	12 63.2%	4 21.1%	7 36.8%	6 31.6%	6 31.6%
	精神障がい (n=5)	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
医療型児童発達支援	全体 (n=28)	0 0.0%	24 85.7%	4 14.3%	3 10.7%	19 67.9%	6 21.4%
	身体障がい (n=4)	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	知的障がい (n=19)	0 0.0%	15 78.9%	4 21.1%	3 15.8%	10 52.6%	6 31.6%
	精神障がい (n=5)	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
放課後等デイサービス	全体 (n=28)	15 53.6%	11 39.3%	2 7.1%	20 71.4%	5 17.9%	3 10.7%
	身体障がい (n=4)	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
	知的障がい (n=19)	11 57.9%	6 31.6%	2 10.5%	14 73.7%	2 10.5%	3 15.8%
	精神障がい (n=5)	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%
居宅訪問型児童発達支援	全体 (n=28)	1 3.6%	22 78.6%	5 17.9%	3 10.7%	19 67.9%	6 21.4%
	身体障がい (n=4)	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	知的障がい (n=19)	1 5.3%	13 68.4%	5 26.3%	3 15.8%	10 52.6%	6 31.6%
	精神障がい (n=5)	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
保育所等訪問支援	全体 (n=28)	0 0.0%	23 82.1%	5 17.9%	2 7.1%	20 71.4%	6 21.4%
	身体障がい (n=4)	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	知的障がい (n=19)	0 0.0%	14 73.7%	5 26.3%	2 10.5%	11 57.9%	6 31.6%
	精神障がい (n=5)	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%

(3) 地域生活支援事業等の利用状況と利用希望

【問43は、全ての方がお答えください。】

問43 地域生活支援事業などの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望（現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○）をそれぞれお答えください。（それぞれのサービスごとに単数回答）

【地域生活支援事業】

「地域生活支援事業」については、全体では利用状況、利用希望ともに「日常生活用具給付事業」の割合が最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、身体障がいでは「訪問入浴サービス事業」が、知的障がい及び精神障がいでは「地域活動支援センター事業」が、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

区分		現在の利用状況			今後の利用希望		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
地域活動支援センター事業	全体 (n=547)	22 4.0%	416 76.1%	109 19.9%	148 27.1%	193 35.3%	206 37.7%
	身体障がい (n=398)	9 2.3%	299 75.1%	90 22.6%	85 21.4%	144 36.2%	169 42.5%
	知的障がい (n=91)	4 4.4%	79 86.8%	8 8.8%	39 42.9%	34 37.4%	18 19.8%
	精神障がい (n=58)	9 15.5%	38 65.5%	11 19.0%	24 41.4%	15 25.9%	19 32.8%
移動支援事業	全体 (n=547)	14 2.6%	413 75.5%	120 21.9%	134 24.5%	204 37.3%	209 38.2%
	身体障がい (n=398)	9 2.3%	287 72.1%	102 25.6%	94 23.6%	134 33.7%	170 42.7%
	知的障がい (n=91)	4 4.4%	79 86.8%	8 8.8%	28 30.8%	46 50.5%	17 18.7%
	精神障がい (n=58)	1 1.7%	47 81.0%	10 17.2%	12 20.7%	24 41.4%	22 37.9%
日中一時支援事業	全体 (n=547)	24 4.4%	398 72.8%	125 22.9%	154 28.2%	183 33.5%	210 38.4%
	身体障がい (n=398)	9 2.3%	284 71.4%	105 26.4%	104 26.1%	124 31.2%	170 42.7%
	知的障がい (n=91)	12 13.2%	70 76.9%	9 9.9%	30 33.0%	43 47.3%	18 19.8%
	精神障がい (n=58)	3 5.2%	44 75.9%	11 19.0%	20 34.5%	16 27.6%	22 37.9%
日常生活用具給付事業	全体 (n=547)	50 9.1%	379 69.3%	118 21.6%	173 31.6%	165 30.2%	209 38.2%
	身体障がい (n=398)	42 10.6%	258 64.8%	98 24.6%	131 32.9%	101 25.4%	166 41.7%
	知的障がい (n=91)	5 5.5%	76 83.5%	10 11.0%	23 25.3%	46 50.5%	22 24.2%
	精神障がい (n=58)	3 5.2%	45 77.6%	10 17.2%	19 32.8%	18 31.0%	21 36.2%
訪問入浴サービス事業	全体 (n=547)	14 2.6%	412 75.3%	121 22.1%	113 20.7%	217 39.7%	217 39.7%
	身体障がい (n=398)	13 3.3%	284 71.4%	101 25.4%	94 23.6%	132 33.2%	172 43.2%
	知的障がい (n=91)	1 1.1%	80 87.9%	10 11.0%	14 15.4%	55 60.4%	22 24.2%
	精神障がい (n=58)	0 0.0%	48 82.8%	10 17.2%	5 8.6%	30 51.7%	23 39.7%
手話通訳者等の派遣事業	全体 (n=547)	6 1.1%	395 72.2%	146 26.7%	40 7.3%	254 46.4%	253 46.3%
	身体障がい (n=398)	6 1.5%	270 67.8%	122 30.7%	33 8.3%	161 40.5%	204 51.3%
	知的障がい (n=91)	0 0.0%	78 85.7%	13 14.3%	5 5.5%	61 67.0%	25 27.5%
	精神障がい (n=58)	0 0.0%	47 81.0%	11 19.0%	2 3.4%	32 55.2%	24 41.4%

【その他事業】

「その他事業」については、全体では利用状況、利用希望ともに「重度心身障がい者医療費助成事業」の割合が最も高くなっています。

障がい別の利用希望を見ると、知的障がいでは「重度心身障がい者医療費助成事業」が54.9%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。

単位（上段：人/下段：％）

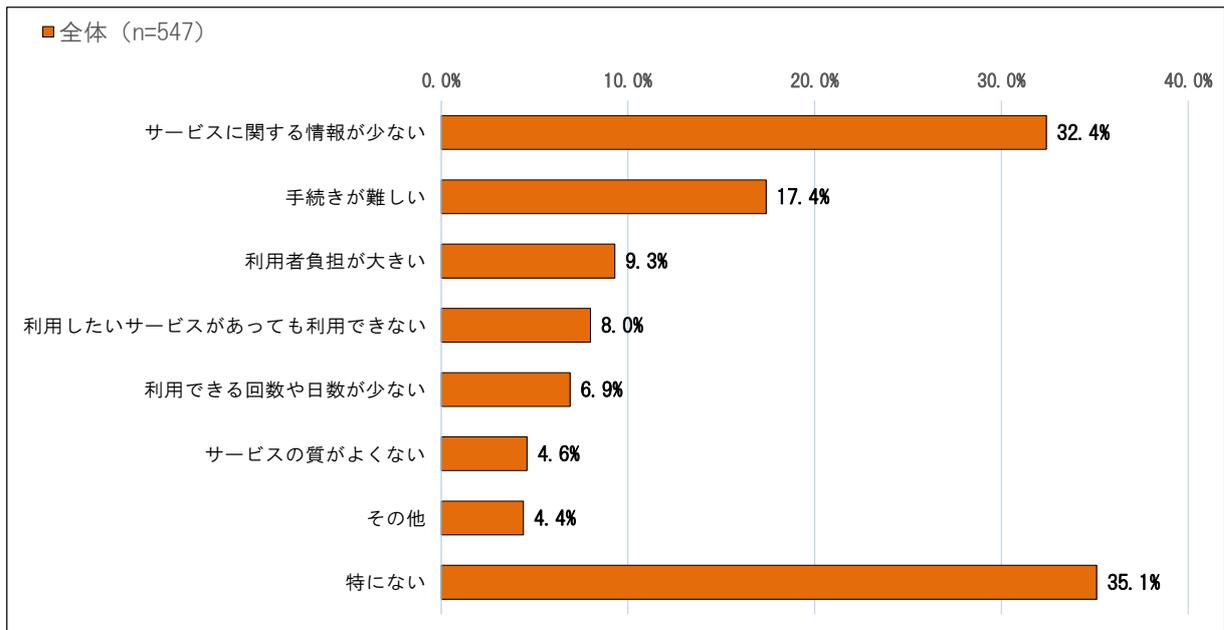
区分	現在の利用状況			今後の利用希望			
	利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答	
福祉タクシー事業	全体 (n=547)	60 11.0%	366 66.9%	121 22.1%	201 36.7%	151 27.6%	195 35.6%
	身体障がい (n=398)	44 11.1%	256 64.3%	98 24.6%	156 39.2%	86 21.6%	156 39.2%
	知的障がい (n=91)	7 7.7%	72 79.1%	12 13.2%	27 29.7%	44 48.4%	20 22.0%
	精神障がい (n=58)	9 15.5%	38 65.5%	11 19.0%	18 31.0%	21 36.2%	19 32.8%
		128 23.4%	290 53.0%	129 23.6%	206 37.7%	130 23.8%	211 38.6%
重度心身障がい者医療費助成事業	全体 (n=547)	85 15.5%	205 37.5%	108 19.7%	143 26.1%	84 15.3%	171 31.2%
	身体障がい (n=398)	38 9.5%	42 10.5%	11 2.8%	50 12.5%	22 5.5%	19 4.8%
	知的障がい (n=91)	41.8% 38	46.2% 42	12.1% 11	54.9% 50	24.2% 22	20.9% 19
	精神障がい (n=58)	5 8.6%	43 74.1%	10 17.2%	13 22.4%	24 41.4%	21 36.2%
		10 1.8%	402 73.5%	135 24.7%	102 18.6%	214 39.1%	231 42.2%
福祉カー貸付事業	全体 (n=547)	9 1.6%	276 50.3%	113 20.6%	86 15.5%	127 23.2%	185 33.8%
	身体障がい (n=398)	0 0.0%	79 19.8%	12 3.0%	12 3.0%	56 14.1%	23 5.8%
	知的障がい (n=91)	0.0% 0	86.8% 79	13.2% 12	13.2% 12	61.5% 56	25.3% 23
	精神障がい (n=58)	1 1.7%	47 81.0%	10 17.2%	4 6.9%	31 53.4%	23 39.7%
		10 1.8%	402 73.5%	135 24.7%	102 18.6%	214 39.1%	231 42.2%

(4) 障がい福祉サービスの利用で困っていること

問 44 障がい福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。(複数回答)

「障がい福祉サービスの利用で困っていること」については、全体では「サービスに関する情報が少ない」が 32.4%で最も高く、次いで「手続きが難しい」が 17.4%、「利用者負担が大きい」が 9.3%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「手続きが難しい」が 39.6%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	手続きが難しい	サービスに関する情報が少ない	利用できる回数や日数が少ない	利用したいサービスがあっても利用できない	利用者負担が大きい
全体	547	95	177	38	44	51
	100.0%	17.4%	32.4%	6.9%	8.0%	9.3%
身体障がい	398	46	129	29	26	40
	100.0%	11.6%	32.4%	7.3%	6.5%	10.1%
知的障がい	91	36	27	7	10	4
	100.0%	39.6%	29.7%	7.7%	11.0%	4.4%
精神障がい	58	13	21	2	8	7
	100.0%	22.4%	36.2%	3.4%	13.8%	12.1%

区分	合計	サービスの質がよくない	その他	特になし	無回答
全体	547	25	24	192	96
	100.0%	4.6%	4.4%	35.1%	17.6%
身体障がい	398	15	16	152	78
	100.0%	3.8%	4.0%	38.2%	19.6%
知的障がい	91	6	3	22	11
	100.0%	6.6%	3.3%	24.2%	12.1%
精神障がい	58	4	5	18	7
	100.0%	6.9%	8.6%	31.0%	12.1%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

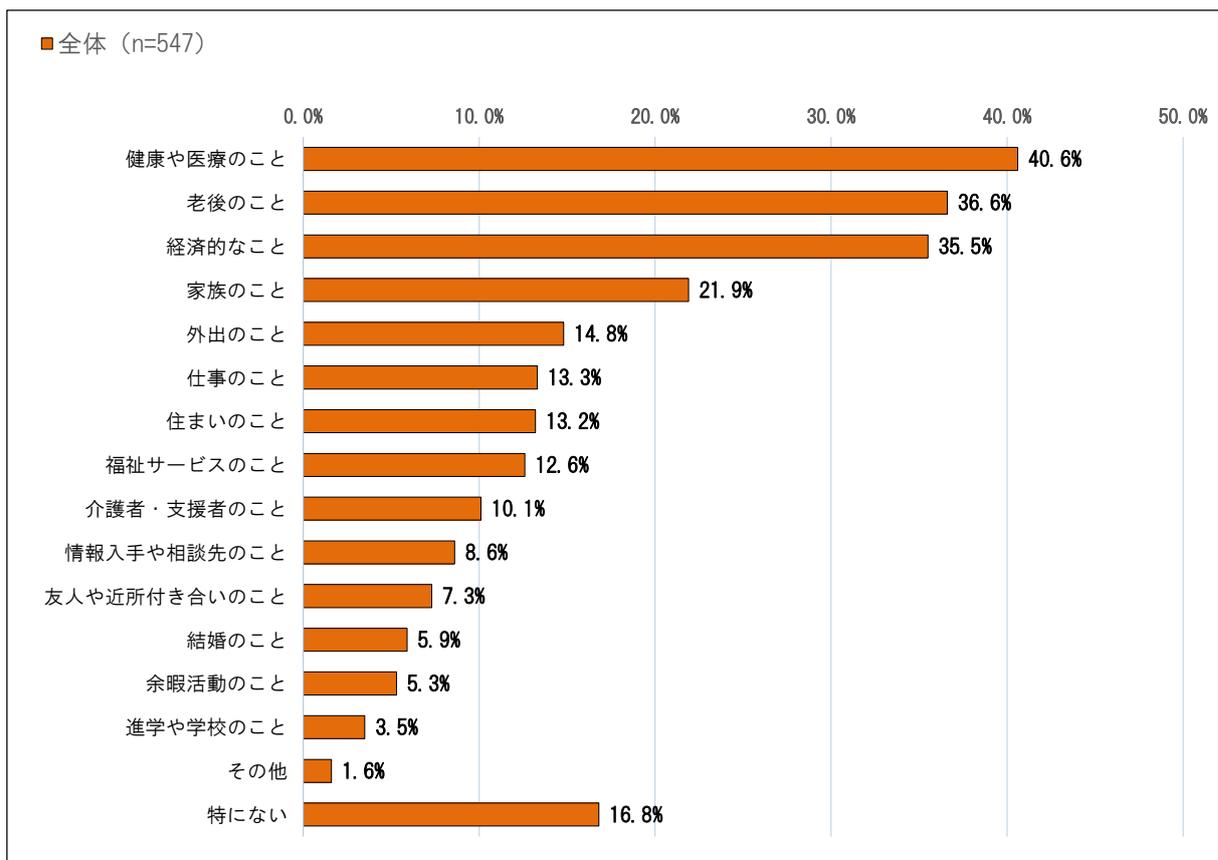
10 福祉や生活に関する相談・情報入手について

(1) 生活で困ったり、不安に思っていること

問 45 あなたは、現在の生活で困ったり、不安に思っていることはありますか。(複数回答)

「生活で困ったり、不安に思っていること」については、全体では「健康や医療のこと」が40.6%で最も高く、次いで「老後のこと」が36.6%、「経済的なこと」が35.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「老後のこと」が、精神障がいでは「老後のこと」、「経済的なこと」、「仕事のこと」等が、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	家族のこと	住まいのこと	経済的なこと	健康や医療のこと	仕事のこと	進学や学校のこと	外出のこと	余暇活動のこと	友人や近所付き合いのこと
全体	547	120	72	194	222	73	19	81	29	40
	100.0%	21.9%	13.2%	35.5%	40.6%	13.3%	3.5%	14.8%	5.3%	7.3%
身体障がい	398	82	43	137	166	34	3	60	15	14
	100.0%	20.6%	10.8%	34.4%	41.7%	8.5%	0.8%	15.1%	3.8%	3.5%
知的障がい	91	14	8	26	24	14	12	8	10	10
	100.0%	15.4%	8.8%	28.6%	26.4%	15.4%	13.2%	8.8%	11.0%	11.0%
精神障がい	58	24	21	31	32	25	4	13	4	16
	100.0%	41.4%	36.2%	53.4%	55.2%	43.1%	6.9%	22.4%	6.9%	27.6%

区分	合計	結婚のこと	情報入手や相談先のこと	介護者・支援者のこと	福祉サービスのこと	老後のこと	その他	特にない	無回答
全体	547	32	47	55	69	200	9	92	64
	100.0%	5.9%	8.6%	10.1%	12.6%	36.6%	1.6%	16.8%	11.7%
身体障がい	398	9	28	42	47	124	5	79	51
	100.0%	2.3%	7.0%	10.6%	11.8%	31.2%	1.3%	19.8%	12.8%
知的障がい	91	7	10	7	13	43	2	12	9
	100.0%	7.7%	11.0%	7.7%	14.3%	47.3%	2.2%	13.2%	9.9%
精神障がい	58	16	9	6	9	33	2	1	4
	100.0%	27.6%	15.5%	10.3%	15.5%	56.9%	3.4%	1.7%	6.9%

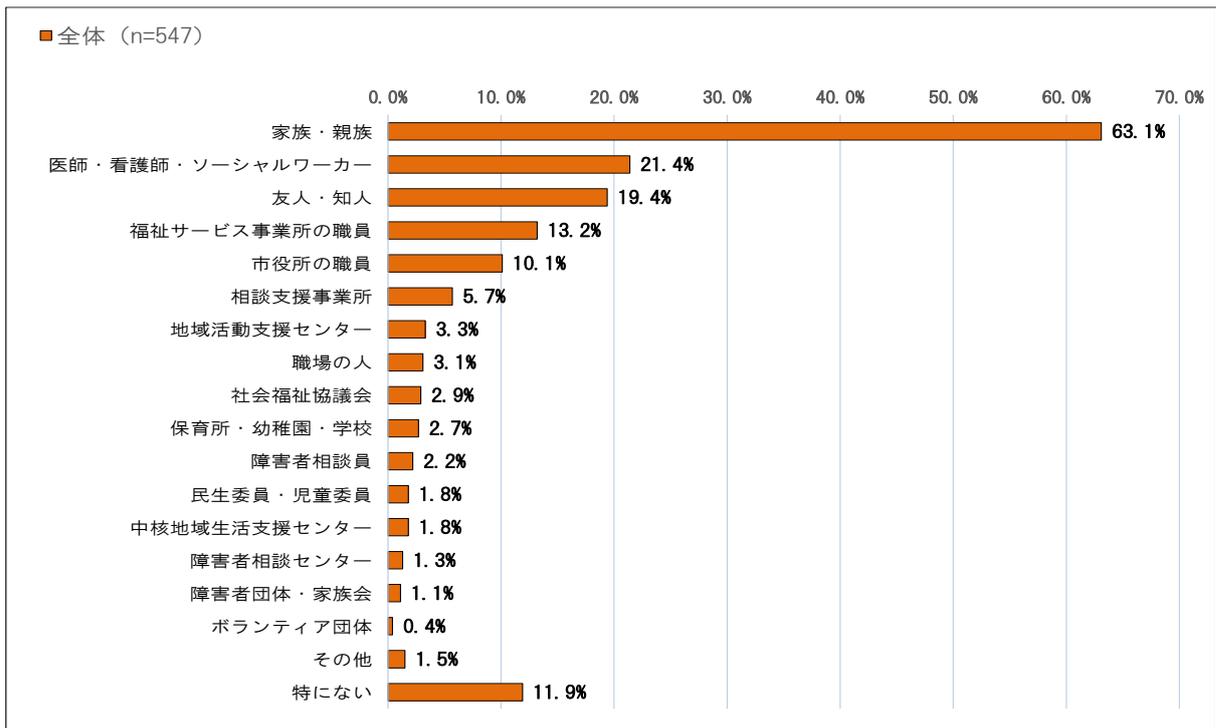
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(2) 困ったときの相談先

問 46 あなたが困ったり不安を感じた時に、誰（どこ）に相談していますか。（複数回答）

「困ったときの相談先」については、全体では「家族・親族」が63.1%で最も高く、次いで「医師・看護師・ソーシャルワーカー」が21.4%、「友人・知人」が19.4%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「福祉サービス事業所の職員」及び「相談支援事業所」が、精神障がいでは「医師・看護師・ソーシャルワーカー」が、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	家族・親族	友人・知人	保育所・幼稚園・学校	職場の人	医師・看護師・ソーシャルワーカー	福祉サービス事業所の職員	地域活動支援センター
全体	547	345	106	15	17	117	72	18
	100.0%	63.1%	19.4%	2.7%	3.1%	21.4%	13.2%	3.3%
身体障がい	398	259	84	2	10	76	31	11
	100.0%	65.1%	21.1%	0.5%	2.5%	19.1%	7.8%	2.8%
知的障がい	91	51	6	10	5	13	35	1
	100.0%	56.0%	6.6%	11.0%	5.5%	14.3%	38.5%	1.1%
精神障がい	58	35	16	3	2	28	6	6
	100.0%	60.3%	27.6%	5.2%	3.4%	48.3%	10.3%	10.3%

区分	合計	障害者相談センター	市役所の職員	民生委員・児童委員	障害者団体・家族会	ボランティア団体	障害者相談員
全体	547	7	55	10	6	2	12
	100.0%	1.3%	10.1%	1.8%	1.1%	0.4%	2.2%
身体障がい	398	5	35	10	3	2	4
	100.0%	1.3%	8.8%	2.5%	0.8%	0.5%	1.0%
知的障がい	91	0	11	0	1	0	3
	100.0%	0.0%	12.1%	0.0%	1.1%	0.0%	3.3%
精神障がい	58	2	9	0	2	0	5
	100.0%	3.4%	15.5%	0.0%	3.4%	0.0%	8.6%

区分	合計	社会福祉協議会	相談支援事業所	中核地域生活支援センター	その他	特になし	無回答
全体	547	16	31	10	8	65	51
	100.0%	2.9%	5.7%	1.8%	1.5%	11.9%	9.3%
身体障がい	398	11	3	3	5	55	39
	100.0%	2.8%	0.8%	0.8%	1.3%	13.8%	9.8%
知的障がい	91	3	23	5	2	7	8
	100.0%	3.3%	25.3%	5.5%	2.2%	7.7%	8.8%
精神障がい	58	2	5	2	1	3	4
	100.0%	3.4%	8.6%	3.4%	1.7%	5.2%	6.9%

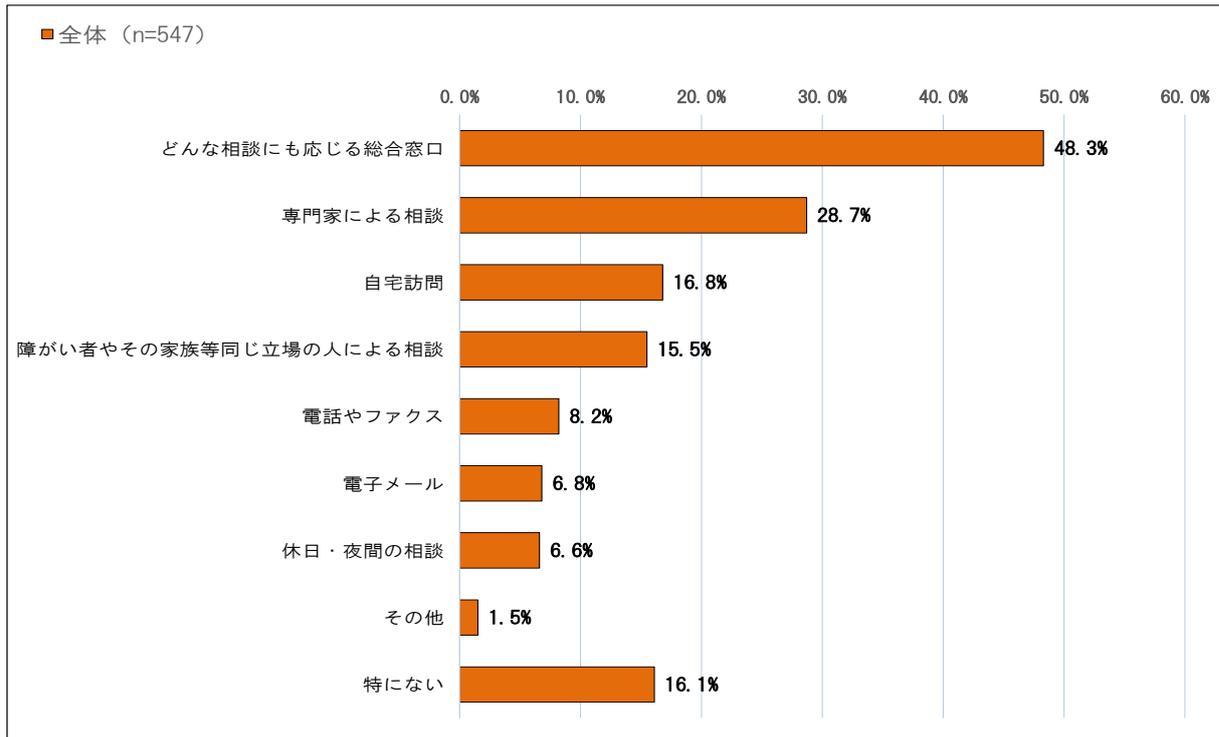
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 相談したい人・場所

問 47 あなたは、どのような人・場所があれば気軽に相談できると思いますか。(複数回答)

「相談したい人・場所」については、全体では「どんな相談にも応じる総合窓口」が48.3%で最も高く、次いで「専門家による相談」が28.7%、「自宅訪問」が16.8%等となっています。

障がい別にみると、精神障がいでは、どの項目もその他の障がいに比べおおむね高い割合となっており、幅広く相談場所を必要としていることがうかがえます。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	どんな相談にも 応じる総合窓口	専門家による相談	自宅訪問	休日・夜間の相談	障がい者やその 家族等同じ立場 の人による相談
全体	547	264	157	92	36	85
	100.0%	48.3%	28.7%	16.8%	6.6%	15.5%
身体障がい	398	185	108	67	20	47
	100.0%	46.5%	27.1%	16.8%	5.0%	11.8%
知的障がい	91	52	26	14	6	25
	100.0%	57.1%	28.6%	15.4%	6.6%	27.5%
精神障がい	58	27	23	11	10	13
	100.0%	46.6%	39.7%	19.0%	17.2%	22.4%

区分	合計	電話やファクス	電子メール	その他	特にない	無回答
全体	547	45	37	8	88	69
	100.0%	8.2%	6.8%	1.5%	16.1%	12.6%
身体障がい	398	27	15	5	77	54
	100.0%	6.8%	3.8%	1.3%	19.3%	13.6%
知的障がい	91	8	8	1	7	8
	100.0%	8.8%	8.8%	1.1%	7.7%	8.8%
精神障がい	58	10	14	2	4	7
	100.0%	17.2%	24.1%	3.4%	6.9%	12.1%

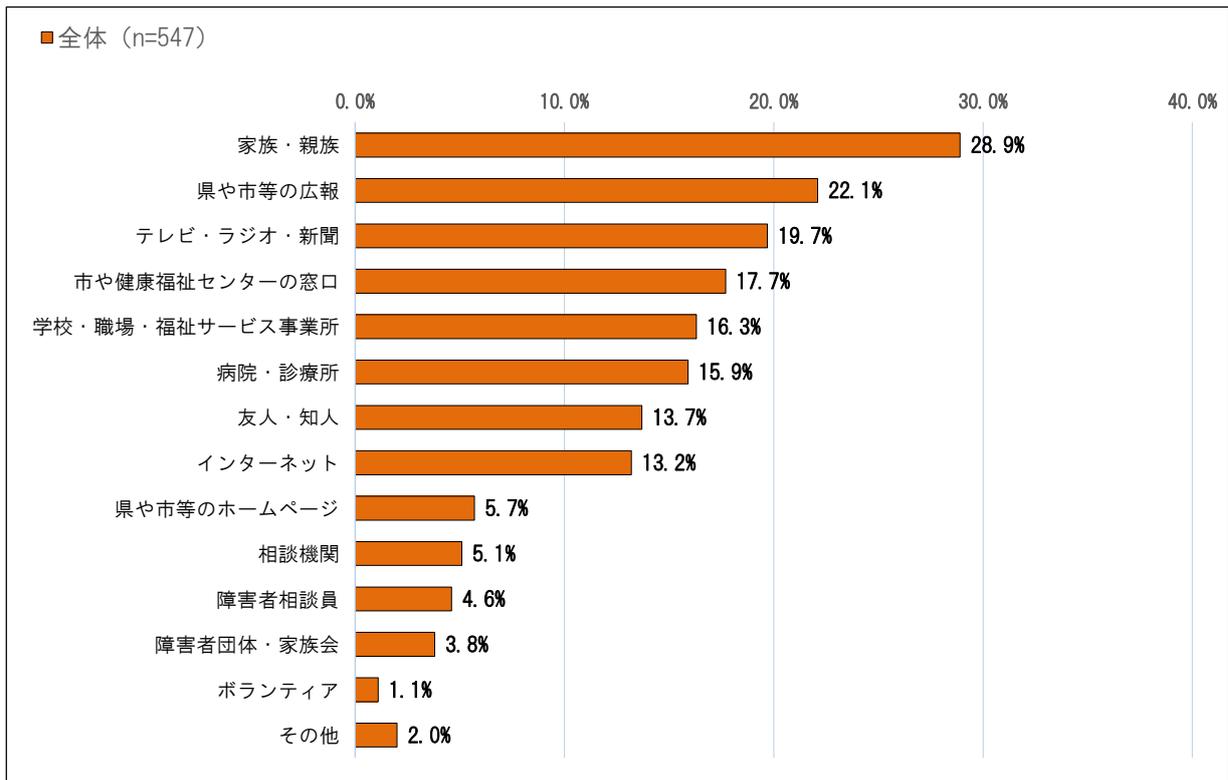
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(4) 福祉関連の情報の入手

問 48 あなたは、福祉関連の情報をどこから入手していますか。(複数回答)

「福祉関連の情報の入手」については、全体では「家族・親族」が28.9%で最も高く、次いで「県や市等の広報」が22.1%、「テレビ・ラジオ・新聞」が19.7%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「学校・職場・福祉サービス事業所」が45.1%、精神障がいでは「病院・診療所」が39.7%と、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	家族・親族	友人・知人	学校・職場・福祉サービス事業所	病院・診療所	県や市等の広報	県や市等のホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ・新聞
全体	547	158	75	89	87	121	31	72	108
	100.0%	28.9%	13.7%	16.3%	15.9%	22.1%	5.7%	13.2%	19.7%
身体障がい	398	110	55	39	55	107	22	53	92
	100.0%	27.6%	13.8%	9.8%	13.8%	26.9%	5.5%	13.3%	23.1%
知的障がい	91	33	10	41	9	8	4	5	10
	100.0%	36.3%	11.0%	45.1%	9.9%	8.8%	4.4%	5.5%	11.0%
精神障がい	58	15	10	9	23	6	5	14	6
	100.0%	25.9%	17.2%	15.5%	39.7%	10.3%	8.6%	24.1%	10.3%

区分	合計	障害者団体・家族会	ボランティア	障害者相談員	市や健康福祉センターの窓口	相談機関	その他	無回答
全体	547	21	6	25	97	28	11	79
	100.0%	3.8%	1.1%	4.6%	17.7%	5.1%	2.0%	14.4%
身体障がい	398	13	4	9	66	8	8	57
	100.0%	3.3%	1.0%	2.3%	16.6%	2.0%	2.0%	14.3%
知的障がい	91	3	1	11	17	17	2	16
	100.0%	3.3%	1.1%	12.1%	18.7%	18.7%	2.2%	17.6%
精神障がい	58	5	1	5	14	3	1	6
	100.0%	8.6%	1.7%	8.6%	24.1%	5.2%	1.7%	10.3%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

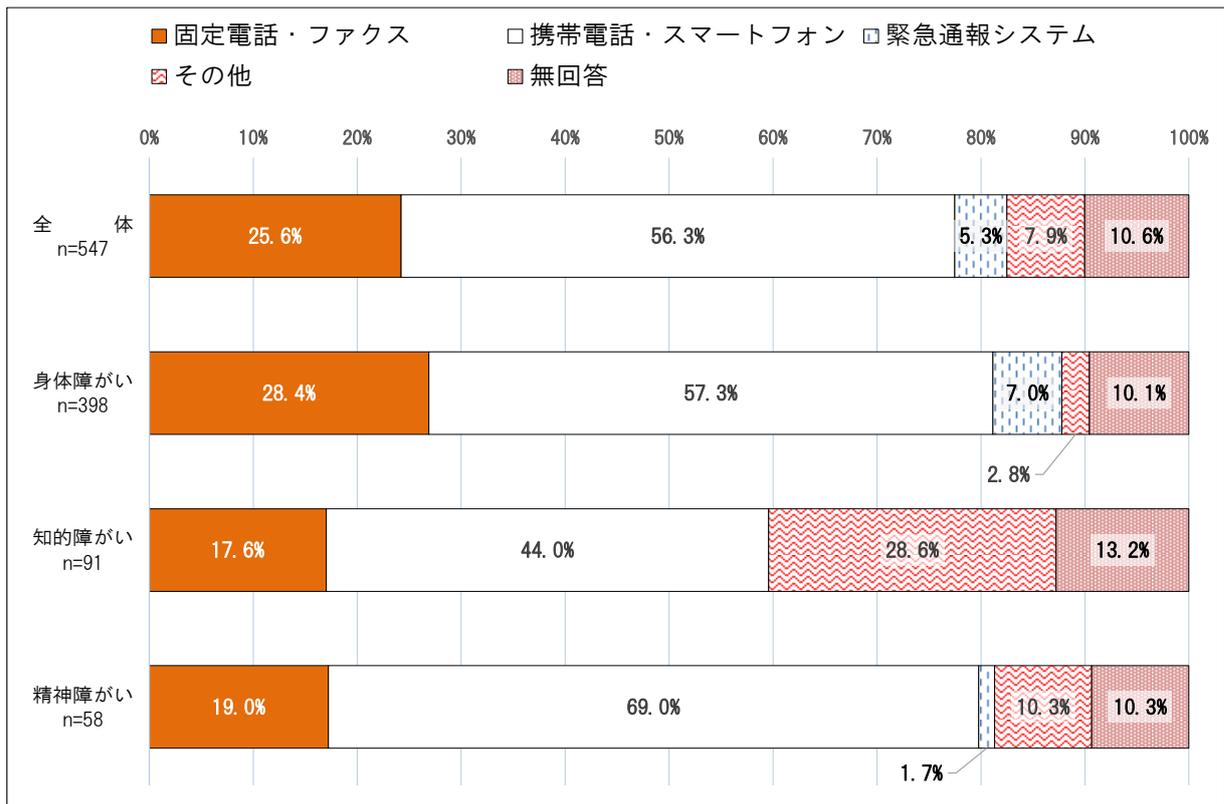
11 緊急時・災害時の対応について

(1) 緊急時の連絡方法

問 49 あなたの体調が急に悪くなった場合の緊急連絡方法は何ですか。(単数回答)

「緊急時の連絡方法」については、全体では「携帯電話・スマートフォン」が56.3%で最も高く、次いで「固定電話・ファクス」が25.6%等となっています。

障がい別にみると、全ての障がいでも「携帯電話・スマートフォン」の割合が最も高くなっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	固定電話・ファクス	携帯電話・スマートフォン	緊急通報システム	その他	無回答
全体	547	140	308	29	43	58
	100.0%	25.6%	56.3%	5.3%	7.9%	10.6%
身体障がい	398	113	228	28	11	40
	100.0%	28.4%	57.3%	7.0%	2.8%	10.1%
知的障がい	91	16	40	0	26	12
	100.0%	17.6%	44.0%	0.0%	28.6%	13.2%
精神障がい	58	11	40	1	6	6
	100.0%	19.0%	69.0%	1.7%	10.3%	10.3%

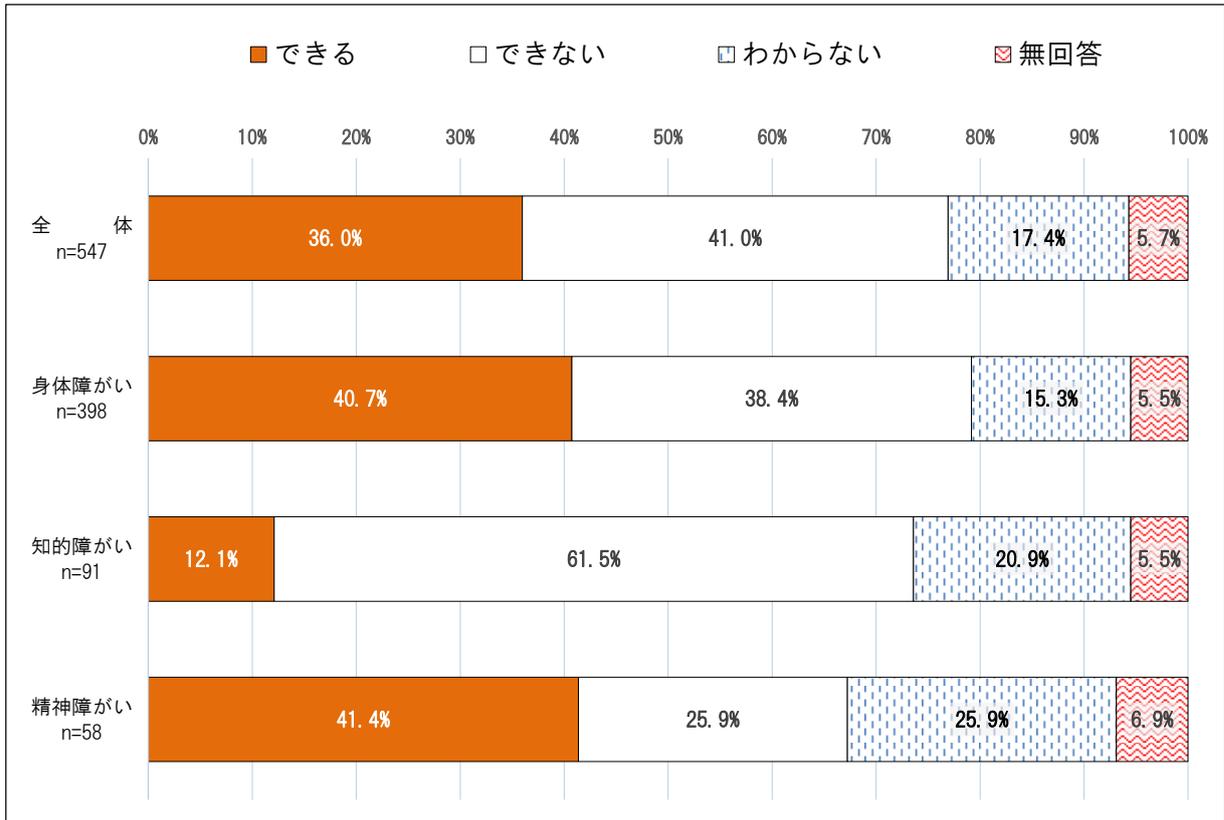
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(2) 災害時の避難

問 50 あなたは、地震や火災、台風などの災害時にひとりで避難できますか。(単数回答)

「災害時の避難」については、全体では「できる」が36.0%、「できない」が41.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい及び精神障がいでは「できる」の割合が「できない」よりも高く、知的障がいでは「できない」の割合が「できる」よりも高く、6割を超えています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	できる	できない	わからない	無回答
全体	547	197	224	95	31
	100.0%	36.0%	41.0%	17.4%	5.7%
身体障がい	398	162	153	61	22
	100.0%	40.7%	38.4%	15.3%	5.5%
知的障がい	91	11	56	19	5
	100.0%	12.1%	61.5%	20.9%	5.5%
精神障がい	58	24	15	15	4
	100.0%	41.4%	25.9%	25.9%	6.9%

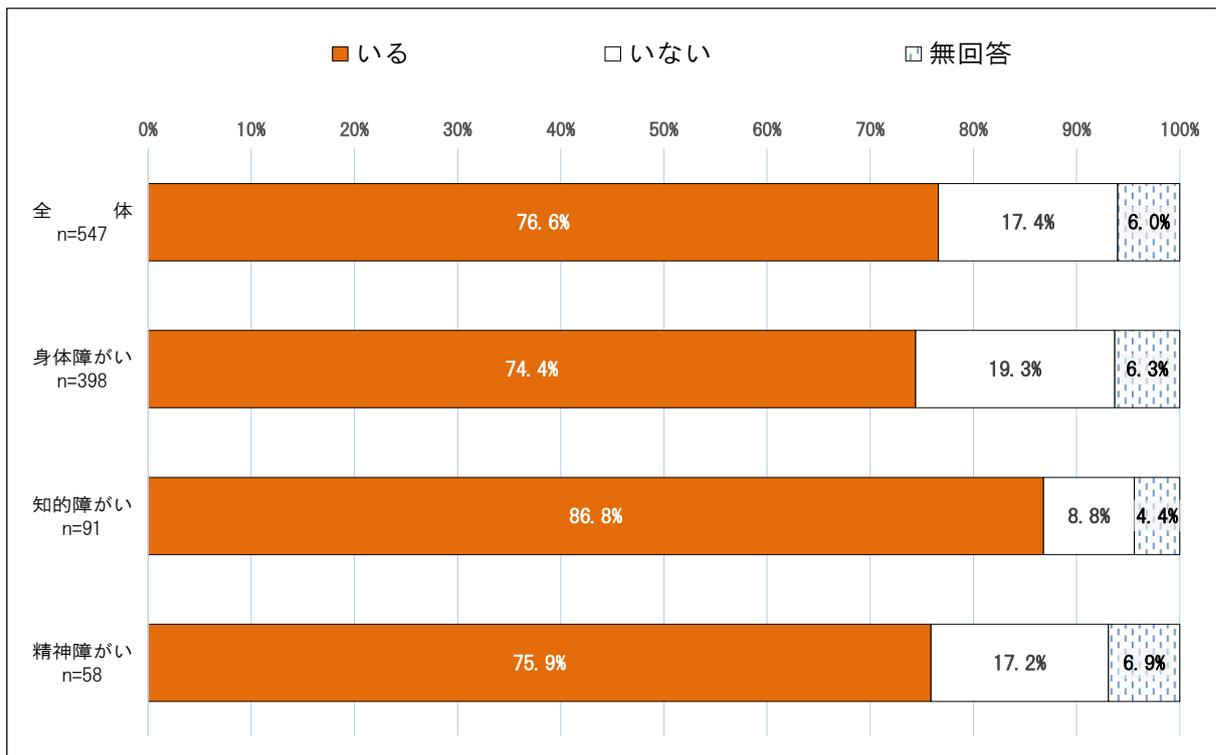
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 災害時に助けてくれる人

問 51 地震や火災、台風などの災害時にあなたを助けてくれる人がいますか。(単数回答)
「いる」と回答した方は、主に誰が助けてくれるかお答えください。(単数回答)

「災害時に助けてくれる人」については、全体では「いる」が76.6%、「いない」が17.4%となっています。

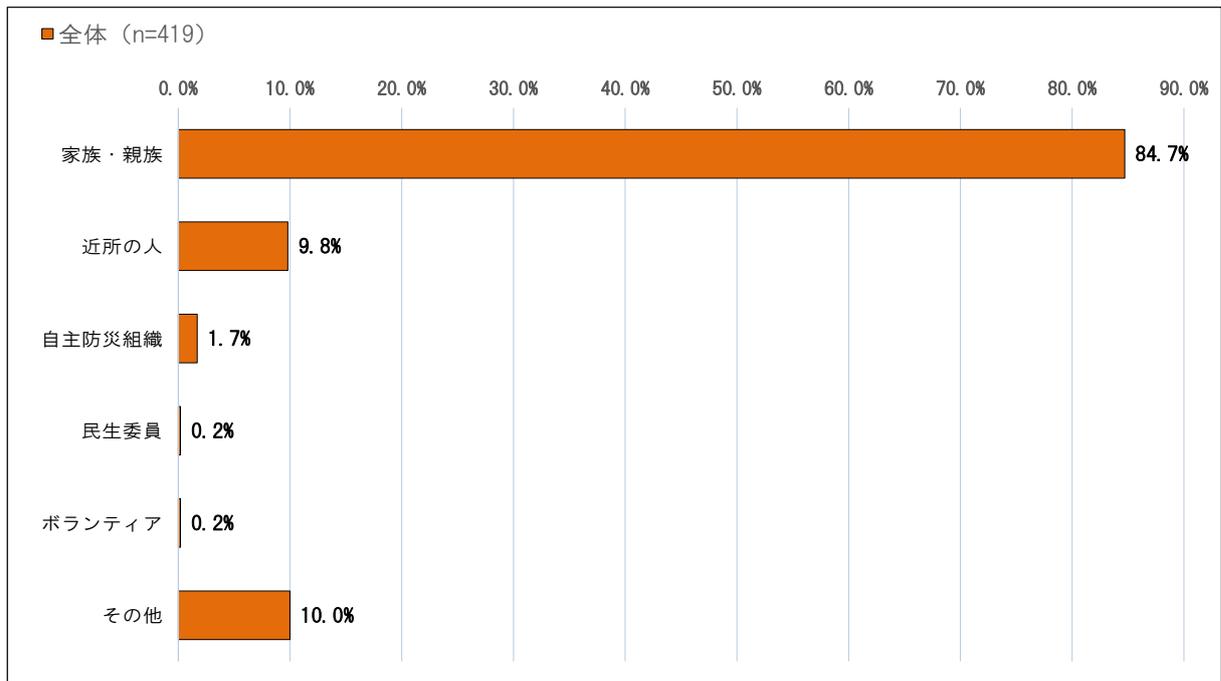
また、「いる」と回答した方の「主に誰が助けてくれるか」については、全体では「家族・親族」が84.7%と最も高く、次いで「近所の人」が9.8%等となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	いる	いない	無回答
全体	547	419	95	33
	100.0%	76.6%	17.4%	6.0%
身体障がい	398	296	77	25
	100.0%	74.4%	19.3%	6.3%
知的障がい	91	79	8	4
	100.0%	86.8%	8.8%	4.4%
精神障がい	58	44	10	4
	100.0%	75.9%	17.2%	6.9%

※ 網掛けは、最も高い項目です。



単位 (上段: 人/下段: %)

区分	合計	家族・親族	近所の人	自主防災組織	民生委員	ボランティア	その他	無回答
全体	419	355	41	7	1	1	42	3
	100.0%	84.7%	9.8%	1.7%	0.2%	0.2%	10.0%	0.7%
身体障がい	296	267	34	3	1	1	10	1
	100.0%	90.2%	11.5%	1.0%	0.3%	0.3%	3.4%	0.3%
知的障がい	79	54	5	2	0	0	24	2
	100.0%	68.4%	6.3%	2.5%	0.0%	0.0%	30.4%	2.5%
精神障がい	44	34	2	2	0	0	8	0
	100.0%	77.3%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%

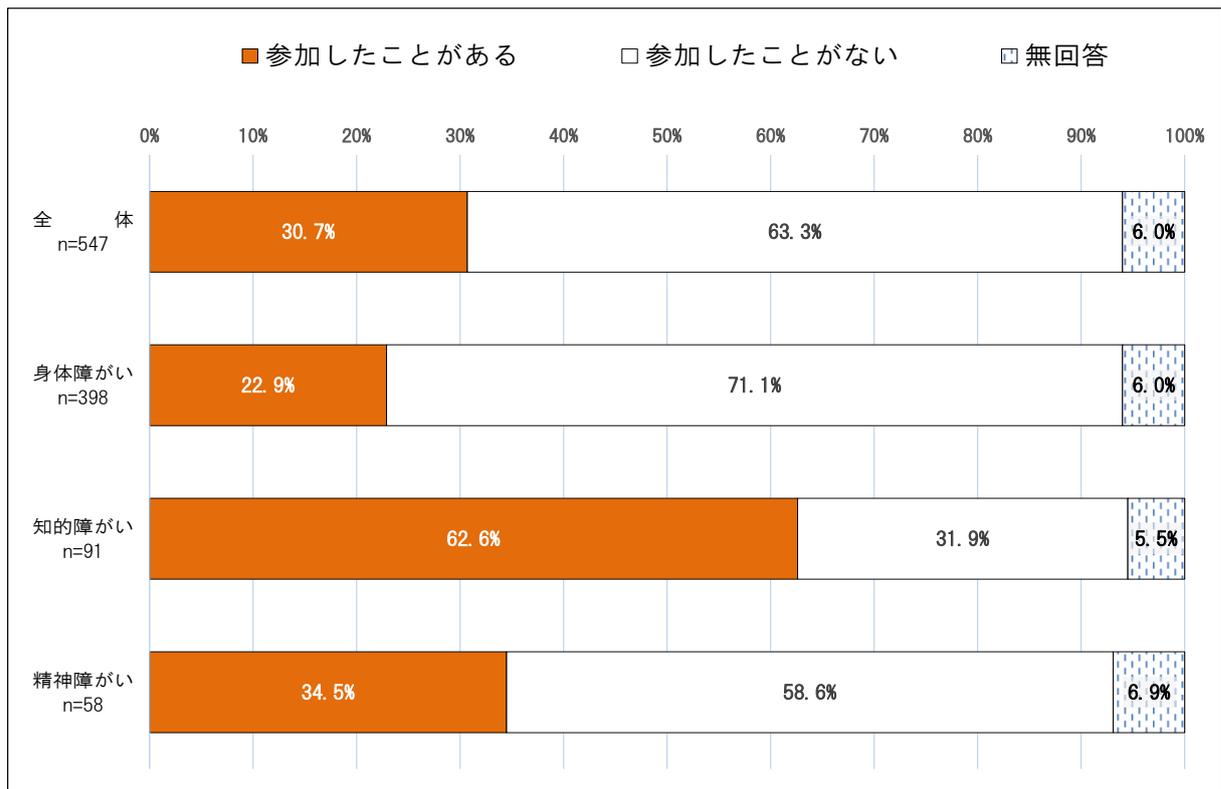
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(4) 避難訓練への参加

問 52 あなたは、地震や火災、台風などを想定した避難訓練に参加したことがありますか。
(単数回答)

「避難訓練への参加」については、全体では「参加したことがある」が30.7%、「参加したことがない」が63.3%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「参加したことがある」が62.6%と、避難訓練への参加率が高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体	547	168	346	33
	100.0%	30.7%	63.3%	6.0%
身体障がい	398	91	283	24
	100.0%	22.9%	71.1%	6.0%
知的障がい	91	57	29	5
	100.0%	62.6%	31.9%	5.5%
精神障がい	58	20	34	4
	100.0%	34.5%	58.6%	6.9%

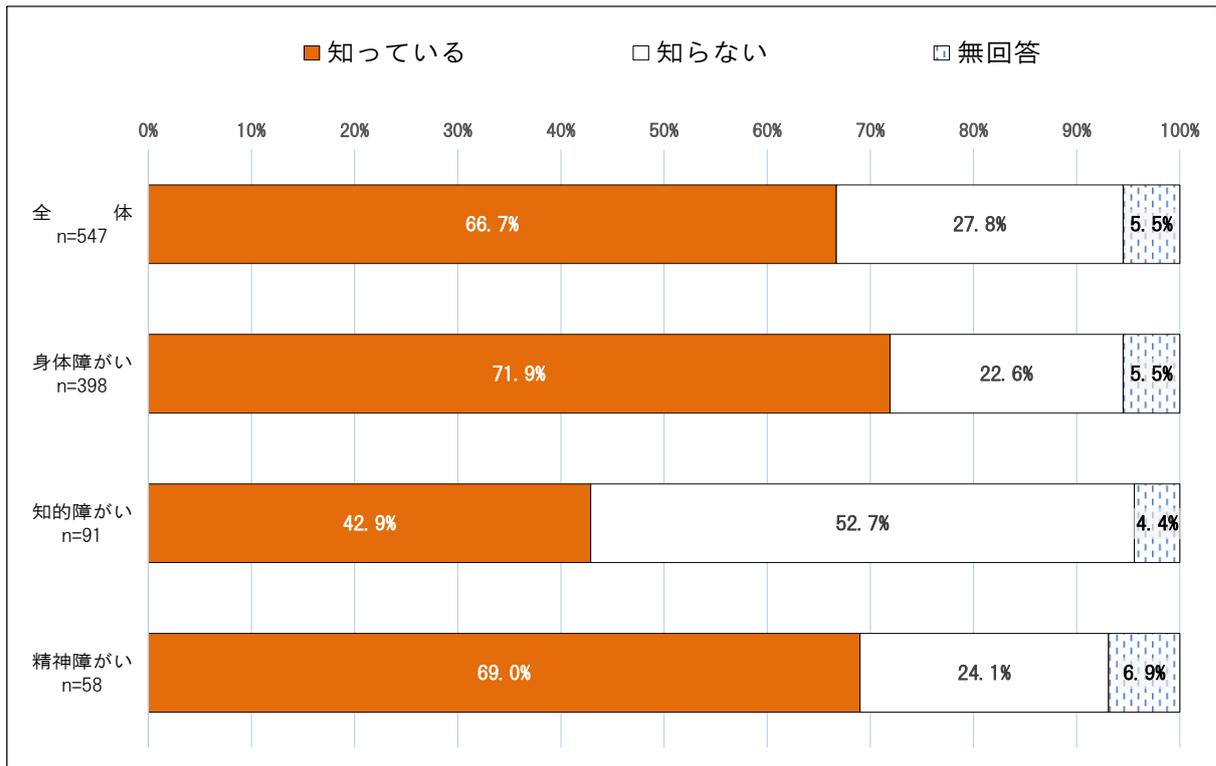
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(5) 災害発生時の避難場所

問 53 あなたは、地震や火災、台風などの災害が発生した場合の避難場所を知っていますか。(単数回答)

「災害発生時の避難場所」については、全体では「知っている」が66.7%、「知らない」が27.8%となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「知らない」が52.7%と、「知っている」の割合を上回っています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	知っている	知らない	無回答
全体	547	365	152	30
	100.0%	66.7%	27.8%	5.5%
身体障がい	398	286	90	22
	100.0%	71.9%	22.6%	5.5%
知的障がい	91	39	48	4
	100.0%	42.9%	52.7%	4.4%
精神障がい	58	40	14	4
	100.0%	69.0%	24.1%	6.9%

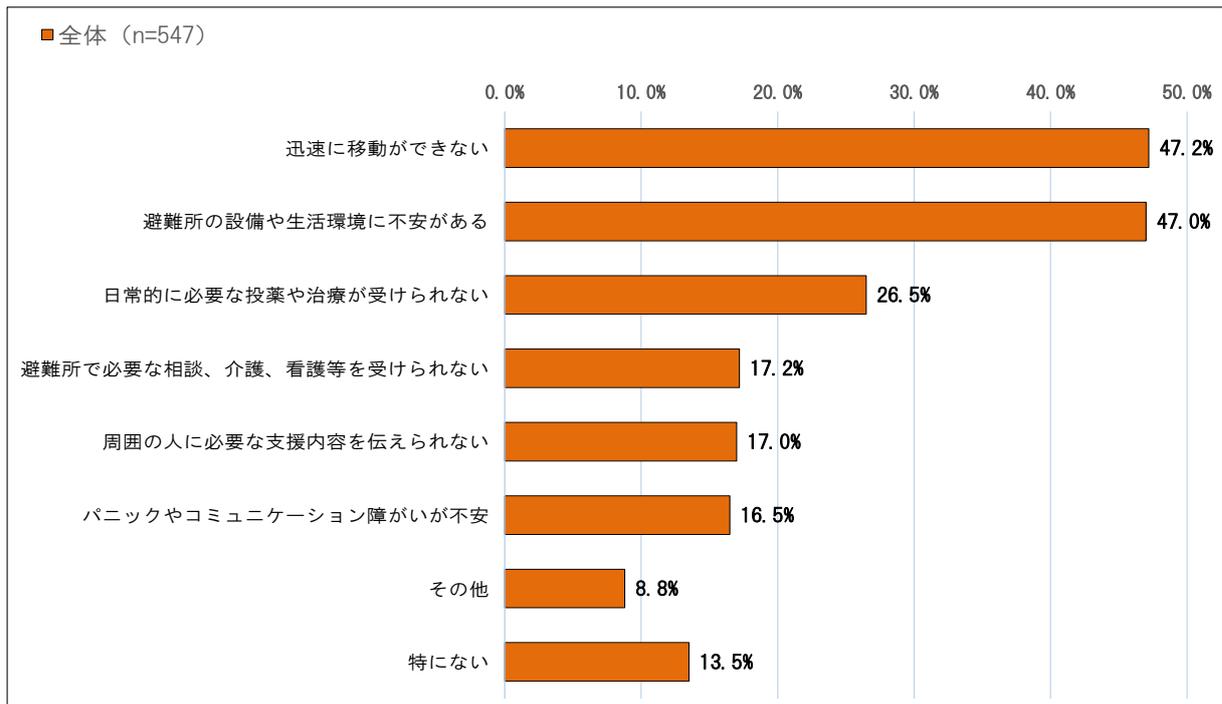
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(6) 災害時に困ること

問 54 地震や火災、台風などの災害時に困ることは何ですか。(複数回答)

「災害時に困ること」については、全体では「迅速に移動ができない」が47.2%で最も高く、次いで「避難所の設備や生活環境に不安がある」が47.0%、「日常的に必要な投薬や治療が受けられない」が26.5%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「パニックやコミュニケーション障がい不安」が53.8%、精神障がいでは「避難所の設備や生活環境に不安がある」が46.6%と、それぞれその他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	迅速に移動ができない	避難所の設備や生活環境に不安がある	周囲の人に必要な支援内容を伝えられない	パニックやコミュニケーション障がい不安	避難所で必要な相談、介護、看護等を受けられない
全体	547	258	257	93	90	94
	100.0%	47.2%	47.0%	17.0%	16.5%	17.2%
身体障がい	398	198	183	35	23	62
	100.0%	49.7%	46.0%	8.8%	5.8%	15.6%
知的障がい	91	40	47	46	49	21
	100.0%	44.0%	51.6%	50.5%	53.8%	23.1%
精神障がい	58	20	27	12	18	11
	100.0%	34.5%	46.6%	20.7%	31.0%	19.0%

区分	合計	日常的に必要な投薬や治療が受けられない	その他	特にない	無回答
全体	547	145	48	74	38
	100.0%	26.5%	8.8%	13.5%	6.9%
身体障がい	398	110	35	60	29
	100.0%	27.6%	8.8%	15.1%	7.3%
知的障がい	91	17	8	9	4
	100.0%	18.7%	8.8%	9.9%	4.4%
精神障がい	58	18	5	5	5
	100.0%	31.0%	8.6%	8.6%	8.6%

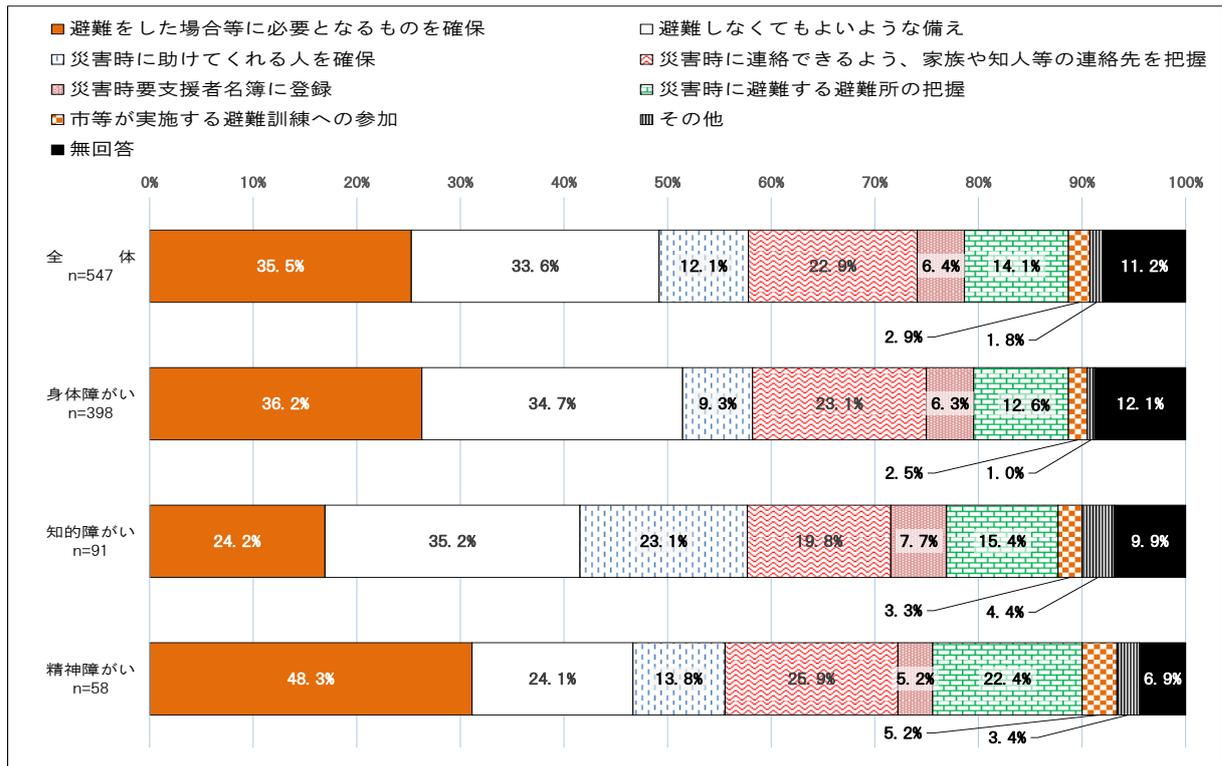
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(7) 災害のために必要な備え

問55 あなたは、災害に対してどのような備えをしておくことが最も必要だと思いますか。
(単数回答)

「災害のために必要な備え」については、全体では「避難をした場合等に必要となるものを確保」が35.5%で最も高く、次いで「避難しなくてもよいような備え」が33.6%、「災害時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握」が22.9%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「災害時に助けてくれる人を確保」が23.1%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	避難をした場合等に必要となるものを確保	避難しなくてもよいような備え	災害時に助けてくれる人を確保	災害時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握	災害時要支援者名簿に登録
全体	547 100.0%	194 35.5%	184 33.6%	66 12.1%	125 22.9%	35 6.4%
身体障がい	398 100.0%	144 36.2%	138 34.7%	37 9.3%	92 23.1%	25 6.3%
知的障がい	91 100.0%	22 24.2%	32 35.2%	21 23.1%	18 19.8%	7 7.7%
精神障がい	58 100.0%	28 48.3%	14 24.1%	8 13.8%	15 25.9%	3 5.2%

区分	合計	災害時に避難する避難所の把握	市等が実施する避難訓練への参加	その他	無回答
全体	547 100.0%	77 14.1%	16 2.9%	10 1.8%	61 11.2%
身体障がい	398 100.0%	50 12.6%	10 2.5%	4 1.0%	48 12.1%
知的障がい	91 100.0%	14 15.4%	3 3.3%	4 4.4%	9 9.9%
精神障がい	58 100.0%	13 22.4%	3 5.2%	2 3.4%	4 6.9%

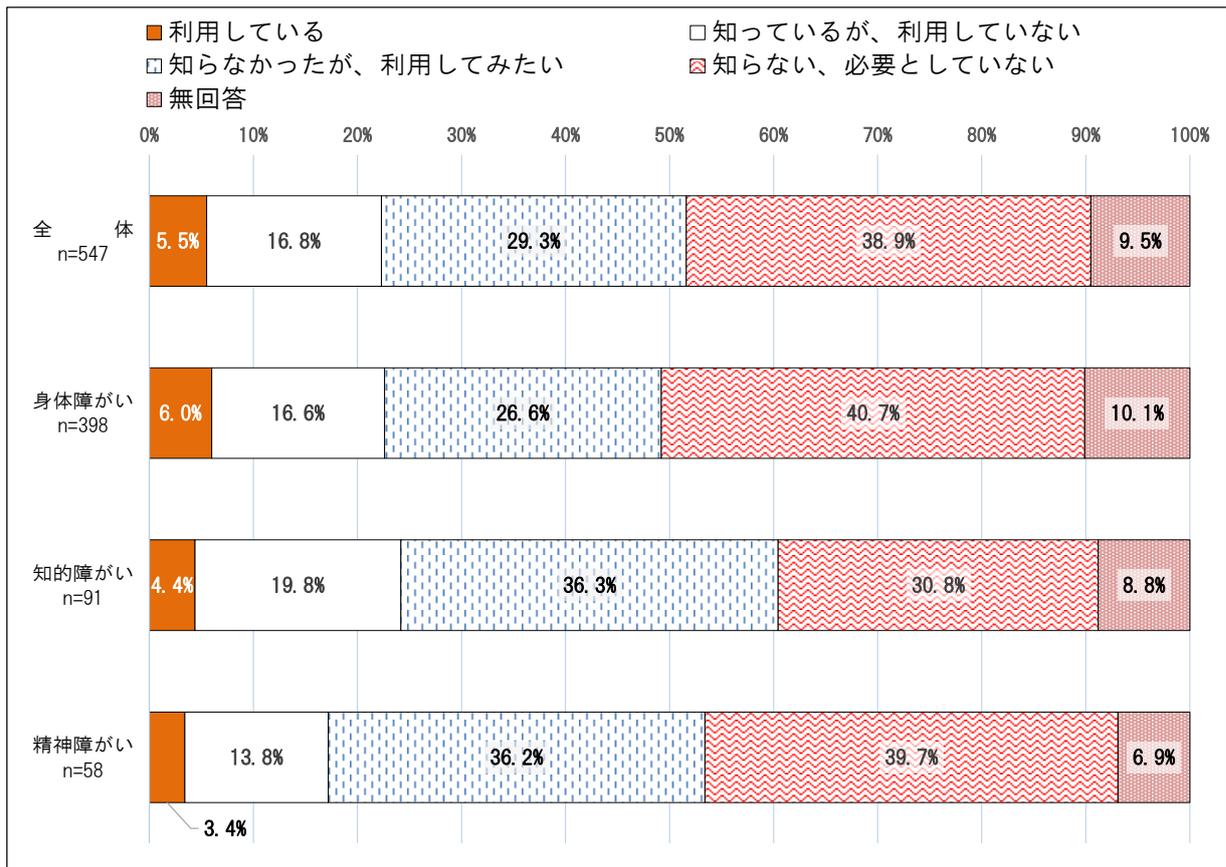
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(8) ヘルプマーク・ヘルプカードの利用の有無

問 56 あなたは、「ヘルプマーク」・「ヘルプカード」を利用していますか。(単数回答)

「ヘルプマーク・ヘルプカードの利用の有無」については、全体では「知らない、必要としていない」が38.9%で最も高く、次いで「知らなかったが、利用してみたい」が29.3%等となっています。

障がい別にみると、「知らなかったが、利用してみたい」の割合が、知的障がいでは36.3%、精神障がいでは36.2%と、身体障がいに比べ高くなっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	利用している	知っているが、利用していない	知らなかったが、利用してみたい	知らない、必要としていない	無回答
全体	547	30	92	160	213	52
	100.0%	5.5%	16.8%	29.3%	38.9%	9.5%
身体障がい	398	24	66	106	162	40
	100.0%	6.0%	16.6%	26.6%	40.7%	10.1%
知的障がい	91	4	18	33	28	8
	100.0%	4.4%	19.8%	36.3%	30.8%	8.8%
精神障がい	58	2	8	21	23	4
	100.0%	3.4%	13.8%	36.2%	39.7%	6.9%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

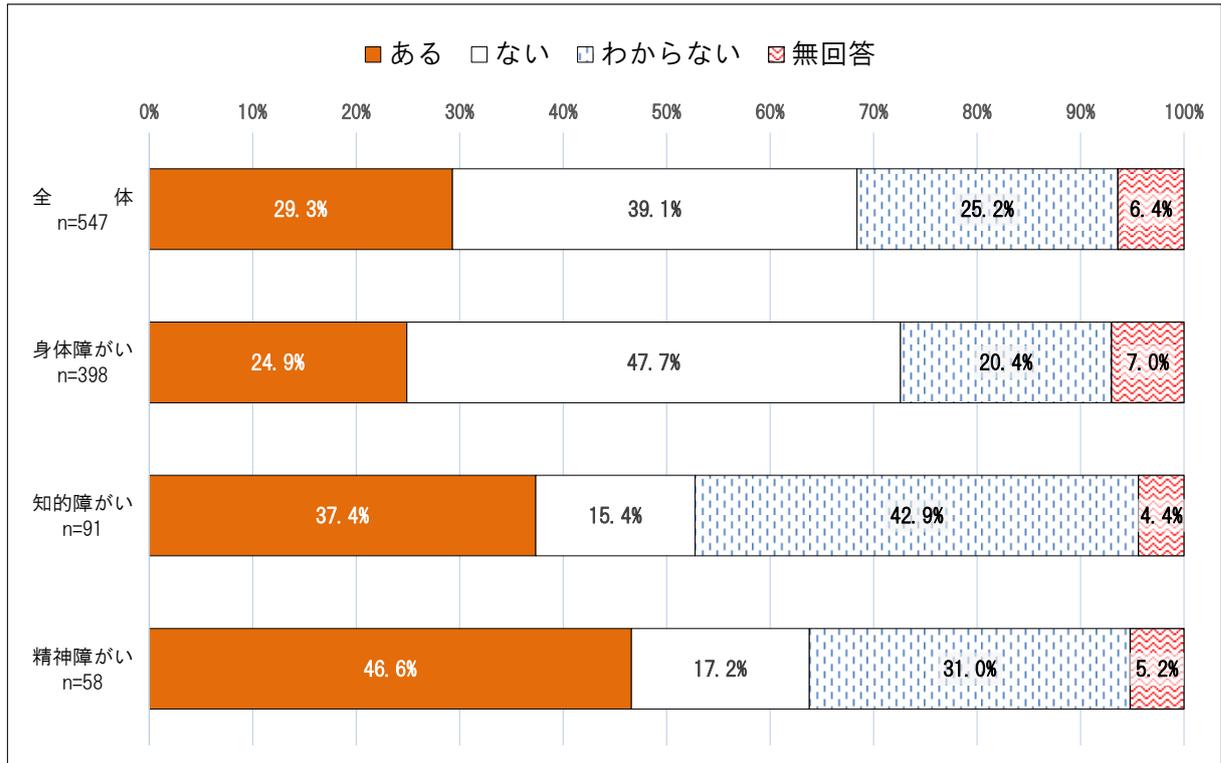
12 障がい者の権利擁護・理解促進について

(1) 差別・偏見・疎外感を感じることの有無

問57 あなたは、日常生活で障がい者への差別・偏見や疎外感を感じることがありますか。
(単数回答)

「差別・偏見・疎外感を感じることの有無」については、全体では「ある」が29.3%、「ない」が39.1%、「わからない」が25.2%となっています。

障がい別にみると、「ある」では、知的障がい者が37.4%、精神障がい者が46.6%と、身体障がい者に比べ高い割合となっています。



単位 (上段：人/下段：%)

区分	合計	ある	ない	わからない	無回答
全体	547	160	214	138	35
	100.0%	29.3%	39.1%	25.2%	6.4%
身体障がい	398	99	190	81	28
	100.0%	24.9%	47.7%	20.4%	7.0%
知的障がい	91	34	14	39	4
	100.0%	37.4%	15.4%	42.9%	4.4%
精神障がい	58	27	10	18	3
	100.0%	46.6%	17.2%	31.0%	5.2%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

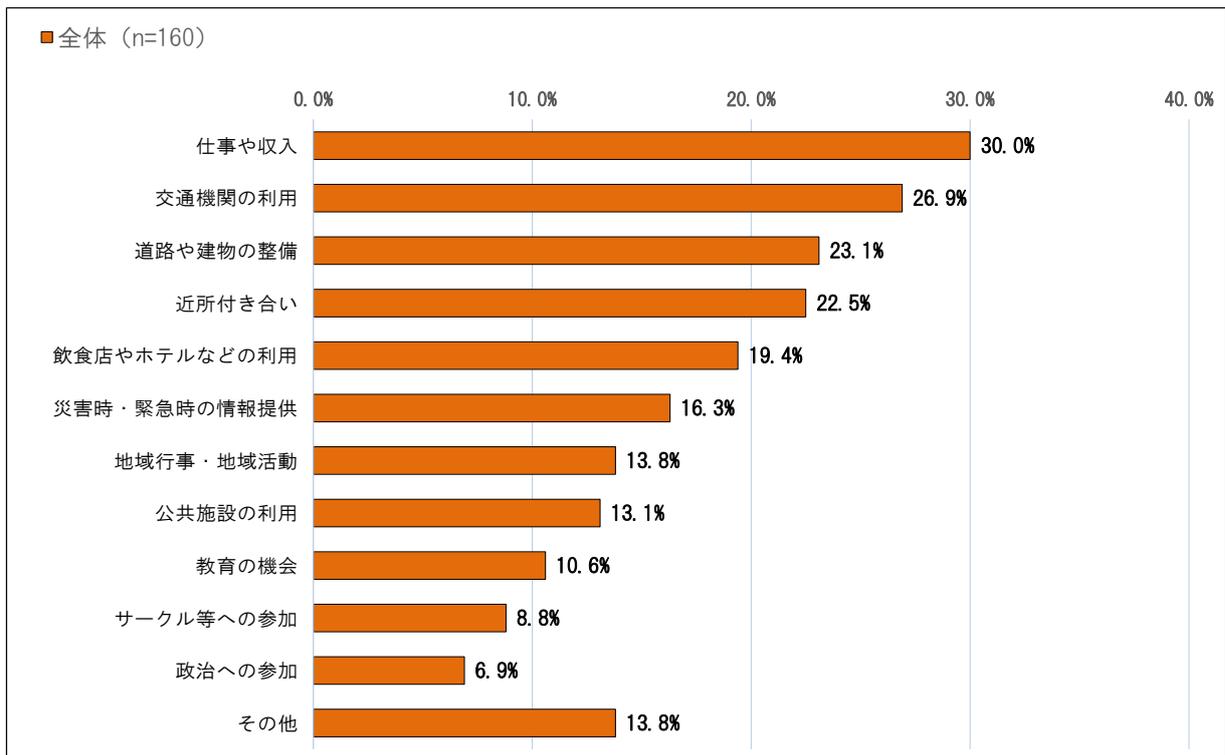
(2) 差別・偏見・疎外感を感じる場面

【問57で「ある」と回答された方へ

問58 次のどのようなところに、差別・偏見や疎外感を感じますか。(複数回答)

「差別・偏見・疎外感を感じる場面」については、全体では「仕事や収入」が30.0%で最も高く、次いで「交通機関の利用」が26.9%、「道路や建物の整備」が23.1%等となっています。

障がい別にみると、身体障がいでは「道路や建物の整備」が、知的障がいでは「近所付き合い」と「飲食店やホテルなどの利用」が同率で、それぞれ最も高い割合となっています。



単位(上段:人/下段:%)

区分	合計	仕事や収入	教育の機会	道路や建物の整備	交通機関の利用	サークル等への参加	地域行事・地域活動	近所付き合い
全体	160	48	17	37	43	14	22	36
	100.0%	30.0%	10.6%	23.1%	26.9%	8.8%	13.8%	22.5%
身体障がい	99	22	9	31	29	8	12	14
	100.0%	22.2%	9.1%	31.3%	29.3%	8.1%	12.1%	14.1%
知的障がい	34	11	7	3	10	3	8	13
	100.0%	32.4%	20.6%	8.8%	29.4%	8.8%	23.5%	38.2%
精神障がい	27	15	1	3	4	3	2	9
	100.0%	55.6%	3.7%	11.1%	14.8%	11.1%	7.4%	33.3%

区分	合計	飲食店やホテルなどの利用	公共施設の利用	災害時・緊急時の情報提供	政治への参加	その他	無回答
全体	160	31	21	26	11	22	6
	100.0%	19.4%	13.1%	16.3%	6.9%	13.8%	3.8%
身体障がい	99	16	12	20	10	13	3
	100.0%	16.2%	12.1%	20.2%	10.1%	13.1%	3.0%
知的障がい	34	13	7	4	1	3	3
	100.0%	38.2%	20.6%	11.8%	2.9%	8.8%	8.8%
精神障がい	27	2	2	2	0	6	0
	100.0%	7.4%	7.4%	7.4%	0.0%	22.2%	0.0%

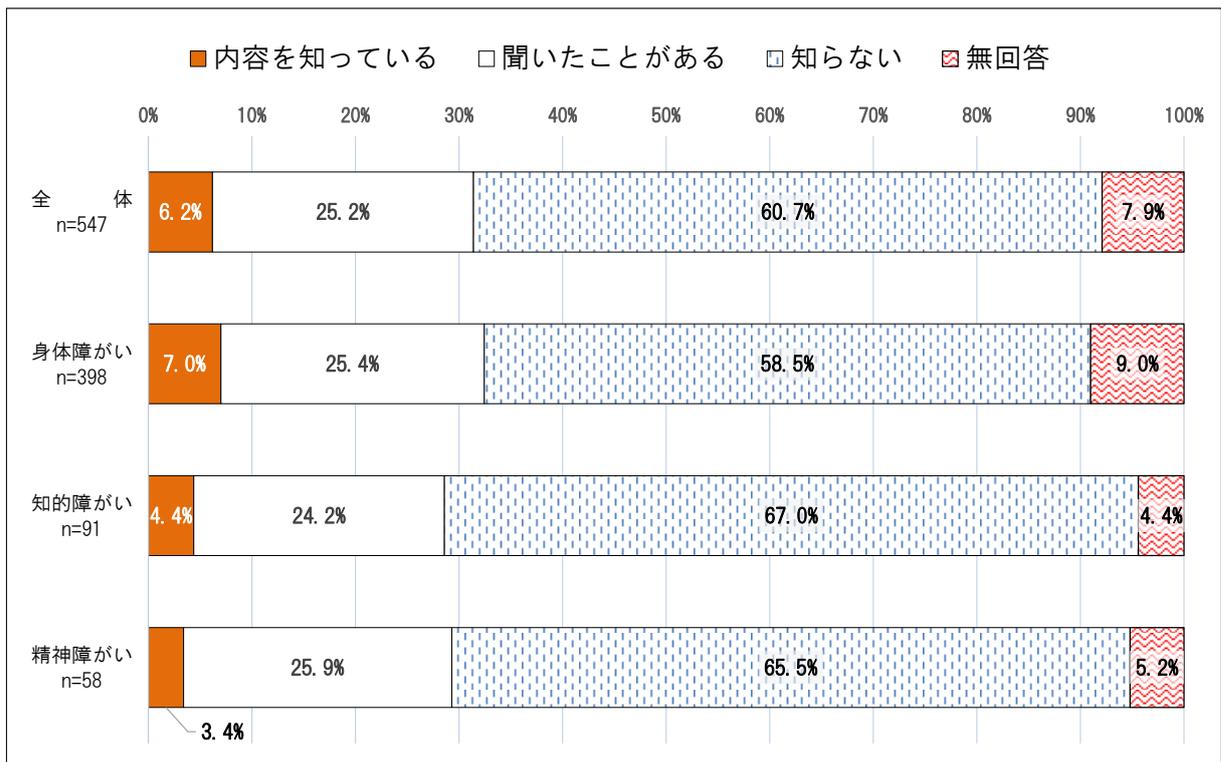
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(3) 障がい者差別解消法の認知度

問 59 あなたは、平成 28 年 4 月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。（単数回答）

「障がい者差別解消法の認知度」については、全体では「内容を知っている」と「聞いたことがある」を合わせた“知っている”が31.4%となっています。

障がい別にみると、“知っている”では身体障がい者が32.4%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位（上段：人/下段：%）

区分	合計	内容を知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	547	34	138	332	43
	100.0%	6.2%	25.2%	60.7%	7.9%
身体障がい	398	28	101	233	36
	100.0%	7.0%	25.4%	58.5%	9.0%
知的障がい	91	4	22	61	4
	100.0%	4.4%	24.2%	67.0%	4.4%
精神障がい	58	2	15	38	3
	100.0%	3.4%	25.9%	65.5%	5.2%

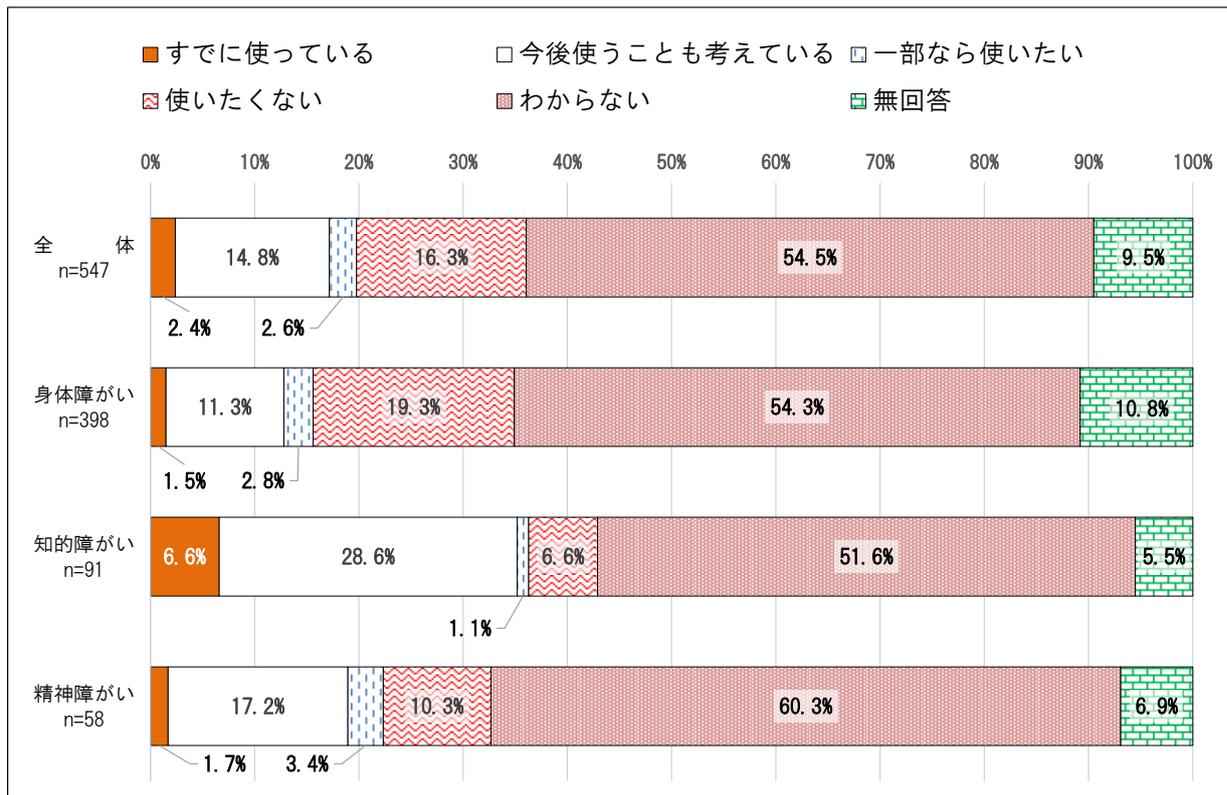
※ 網掛けは、最も高い項目です。

(4) 成年後見制度への考え

問 60 あなたは、「成年後見制度」を利用することについて、どう思いますか。（単数回答）

「成年後見制度への考え」については、全体では「わからない」が54.5%で最も高く、次いで「使いたくない」が16.3%、「今後使うことも考えている」が14.8%等となっています。

障がい別にみると、知的障がいでは「今後使うことも考えている」が28.6%と、その他の障がいに比べ高い割合となっています。



単位（上段：人/下段：％）

区分	合計	すでに使っている	今後使うことも考えている	一部なら使いたい	使いたくない	わからない	無回答
全体	547	13	81	14	89	298	52
	100.0%	2.4%	14.8%	2.6%	16.3%	54.5%	9.5%
身体障がい	398	6	45	11	77	216	43
	100.0%	1.5%	11.3%	2.8%	19.3%	54.3%	10.8%
知的障がい	91	6	26	1	6	47	5
	100.0%	6.6%	28.6%	1.1%	6.6%	51.6%	5.5%
精神障がい	58	1	10	2	6	35	4
	100.0%	1.7%	17.2%	3.4%	10.3%	60.3%	6.9%

※ 網掛けは、最も高い項目です。

第3章 自由意見

趣旨に変更を加えない範囲で加筆・修正をしています。

1 身体障がい者

【福祉サービス】

- デイサービスなどの事業所で医療的ケアが必要だと受け入れてもらえない。看護師がいても「子どもはこわい」とはじめてから断られてしまう。市内に事業所がないため市外まで行って短時間利用させてもらえる場所もあるが、長期休みなどの時に毎日送り迎えも大変なので、市内で預かりができる所を作ってほしい。
- 訪問入浴で週1回しか入れないのは少ないので（夏場など汗をかくので大変）、せめて週2回入浴できるようにしてほしい（月4回→月8回）。それが無理なら、家で入れるように簡易浴槽の購入を助成してもらいたい。
- タクシー券が使いがづらい。以前は、1メートル分が無料だったが今は500円の支援。500円支援され、残りの金額を払おうとすれば時間がかかるが、バスで移動してバス代が半額となるならタクシー券は使わなくなる。実情に合っていない。障がい者に使わせないために変更したのかと疑ってしまう。
- 身障者や年寄りのために、身体の動きや運動が少しでも可能となるようなサービスで受けられたら良いと思う。
- 最近障がい者になったので、どの様な支援があるのか知らないのを知りたいと思う。
- 気管切開、胃ろうの状態で見守り小規模多機能型居宅介護を利用しています。通所以外の外出手段の確保が難しいため、障がい福祉サービスで外出支援をしてもらえると本人も喜ぶと思います。
- 紙おむつ代が高額で困る。要介護4以上は代金の一部が支給されると聞かすが、せめて、要介護3以上なら紙おむつ代が補助されるように改めてほしい。
- 障がい者を取り巻く環境は人により様々です。第一は家族や配偶者の理解・協力ですが、それが得られない場合は多大なストレス、疾患も悪化する可能性があります。事態を改善したくても、体がきかないとなかなか思うように前へは進めません。”前向きにさせる福祉サービス”ということだと思います。やる気のある具体的な考えのある障がいを持つ人が羽ばたけるといいと思います。
- 緊急時、バイブレーションで知らせてもらえるような身に付けられるものが有ると良いと思います。
- 携帯できる大きさで、小さなマイクロフォン付きで、相手にマイクを持ってもらって話せる会話機ができればと思います。
- 外出時、ホームヘルパー、ケアマネージャーは車に同乗できない（介護保険制度）ので、もっとボランティアの福祉サービス車両があってほしい。
- ガイドヘルパーさんを利用しています。安心して外出でき感謝しています。サービス利用料の計算について、利用料は税金から出ているのもう少し細かく計算した方がいいのではないのでしょうか。
- 緊急時にとりあえず1泊預かってくれる施設か、家で一緒に留守番してくれる人がいると有難い。
- 今まで、障がい福祉について知らなかった事がありました。もっと、情報・しおり等を利用し、関心を持ちたいと思います。

- 最近一人になり不安です。見守りや、たまに様子を見に来てくれるサービスや、災害時に来てくれるサービスがあれば助かります。
- 他市で同じ障がいの方に聞きましたが、障がい手当金が出るそうですが大網にはありませんか。
- 2年前からストマ装具を装着して生活しており、現在、自治体からの補助を受けていますが、備品購入金額がかなりの負担になっており、補助金額の見直しをお願いしたいと思います。

【行政】

- 街路灯もLED化して、ソーラー発電の電力を付近の人が利用できるようにしてほしい。
- 大網街道も歩道を広くして歩ける状態にしてほしい。
- 高齢者、障がい者の事を心配してくれていることに感謝しています。
- 選挙に一度だけ行きましたが、段差があり車椅子用のテーブルがなく、もう行けないと思いました。改善を望みます。
- ゴミを自宅から集積所まで持っていくのが大変。玄関まで取りにきてくれると助かる。
- これから高齢者が多くなる時代なので、高齢者の力を活用した介護活動を進めてはどうでしょうか。労働人口が少ないので、高齢者でもできることをする老老介護の仕組みを市内で作成し、施設利用する前の段階のレベルの人を対象にした居場所も必要かも。刺激になるので、認知症対策になると思います。
- 福祉に関する情報が少ない。車椅子などの整理ができていない。障がい者に対する気配り、もう少し普通の人として接してもらいたいです。役所独特の姿勢で見られると、本当に自分が情けなくなる時があります。同じ目線で接してもらいたいです。わかりやすく説明してもらいたいです。
- 収入に対して介護保険等が高すぎる。
- 問47の答えを「どんな相談にも応じる総合窓口」としたのですが、これが最も必要とされているのではないのでしょうか。福祉という大きなくりの中で何をどうするかということが大事なことになると思います。縦割りの中でしか答えられない窓口ではなく、総合的な知識を持ち、答えをいただける専門職としての相談員養成をお願いしたいです。もちろん選択するのはあくまで個人の問題ですが、最後まで、大網白里市市民として、生活ができることを願っています。
- 家族は、生活の時間帯や、生活費もそれぞれの為、世帯を別々にしているもので頼みにくい点があり、相談が出来る人もいないので困っている。相談窓口などわかりやすくしてほしい。
- 全ての問題の解決は、他部署の基本的な解決に含まれると思います。
- 買い物に行った際に障がい者用の駐車スペースがない。あったとしても、ほとんど一般車両でふさがっている。障がい者はなぜ広い駐車場が必要なのか、市全体で広報してほしい。
- 都市部には、車椅子でそのまま乗ることができるユニバーサルデザインのタクシーが走っている。金額もかかると思うが、市として何台か考えてほしい。
- 現在、ほとんどのトイレ（車椅子用）が使いにくい。
- 経済的に苦しい時、少しの援助があればと思う日が何日もありました。しかし、「就職できないと貸付ができない」と言われた時の心の落胆は計り知れないものでした。働きたくても働けず、八方ふさがりの状況にもかかわらず、とても悲しかったです。このような状況でも援助していただける支援があると救われる人も多くなり、今後の生活にも自信を持って前向きに生きていけると思います。
- 障がい者といっても、身体障がいもあり精神障がいもあり程度もあり千差万別。公的支援は必要と言っても、何をするのか、どうするのが良いか難しい。特に経済支援は多いほうが良いのか疑問

です。原則として、障がい者といえども自立が望ましい。そのためにどこまで支援したらよいのか、その人個人に合わせた支援が望ましい。その人個人に合わせた支援が重要だ。その人が何をしたら良いのか、何ができるのか、専門家や家族を交えて話し合い、この仕事ならできると思えば、公的仕事、特に役所の仕事を向けてやりたい。今の時代、電子化の時代、自宅に居てできる仕事は必ずある。

- 生活に関わる税金をできるだけ安くして、我々も含め若い世代が安心して長く生活できるまち作りを目指してほしい。
- 仕事の事で相談や話を聞いてくれる場所がほしい。聞いて理解してくれるだけでも親に言うのとまた違って気分がスッキリする。
- 障がい年金の支給要件を緩和してもらいたい。
- 夫婦二人で暮らしていますが、高齢で体調が良くありません。市役所に用事がある時などは大変です。市役所の人達が出向いてくれると助かります。そういうシステムができることを願っています。
- ガン治療中のかつらの費用を一部負担してほしい。
- コミュニティバスの本数を増やしてほしい。
- 歩道があるのは良いのですが、凹凸が多くあり危険度が高いので整備してほしい。
- 社会福祉協議会の外出、生活支援事業の廃止は大変残念に思います。財政難のためと言われればそれまでですが、スマートチェンジのようなずぼらな予算の使い方をしていることを考えると、弱者に対してのみ締め付けがあるように感じられます。財政の健全化を考えてほしいです。
- 難病についての情報・相談・交流の場を設けてほしい。
- 痛み、疲労感、体の不自由があり、毎日時間の過ぎることを待っている生活です。何かやりたいと思っても何をやったら良いのか、色々と情報がほしいです。
- 障がい者手帳の申請についての情報と相談の場がほしい。

【災害関係】

- 水、場所など、非常時の対応をしっかり準備してほしい。
- 給水も、場所を分散するなり、移動して給水車を準備してほしい。
- 川幅を広くして、越水等を防止してほしい。
- 高い建物が無いので、高い場所(避難場所)を確保してほしい。
- 夜間暗くて避難できない
- 自分で移動が出来ないので、災害があったときに車で避難させてほしい。家に車がないので。
- 介護ベットやおむつなどを必要とする重度介護度の避難所を設定してほしい。避難する時の移動するための福祉カーなどを無料で利用させてほしい。
- 台風による災害時、担当地区の民生委員、ケアマネージャーなどから状況の確認など一切なく自主避難を行った。当てにならない。
- 大雨の日、デイサービスに行っていましたが、途中で帰宅することになり、家に帰る途中の道路が冠水していたため、避難所で待機することとなりました。家族が迎えにくるまで3時間程待ちましたが、もし来なかった場合、1人ではトイレに行くこと位しか出来ないで、本当に不安で、心配で心細かったです。このような状態のときどうするのか、説明をしていただけたら、少しは不安が解消されると思います。
- 災害時、病院の送迎車が自宅まで来られず困りました。緊急時の対応として市の援助が欲しかっ

たです。家族も高齢で、自動車運転免許も返納しているため、透析患者として不安でした。

- 病院機能の充実、障がい者に対して避難所が不便。臨時透析の受入れ。
- 災害時の緊急招集人員の確保（登録制のボランティア制度）
- 災害時、特に断水の場合、入浴の提供（無料）を多く、迅速に対応してほしい。事前に、対応をホテルや旅館と話し合っておくとい。
- 今後も、筋トレ、リハビリに日々頑張ります。台風19号の時、中央公民館に避難した際、ベットを用意していただき、障がい者の私はとても助かりました。ありがとうございました。

【暮らし】

- 今のところは健康で、多少の仕事ができることに毎日うれしく思っています。
- 現在は妻と2人暮らしで、共に、心身ともに概ね健康なので特に不便なく生活できていますが、仮にどちらか1人が健康を損ね療養が必要となった場合には、たちまち生活が、金銭的にも立ち行かなくなる事となるのではないかと思う。健康に留意し、現在の生活環境を保ちたい。
- 現在は良いが、年齢的に交通、移動に不安がある。
- 見回りの人が時々お元気ですかと来られます。ありがたいことです。
- 公共機関、病院、娯楽施設など、障がい者にやさしい環境づくりが整ってきています。特に、大型スーパーマーケットには車椅子が必ずあり、外出したい親を連れて行っても特に困ることはなく大変助かっています。障がい者を連れて外出する方を多く見るにつけ、社会のあり方が変わった事を感じます。本人は、外出をととても喜びます。
- サービスを受けたくても、現在の年金ではこれからのことをどのようにしていったらいいかわからない。
- 市役所の福祉課の方の対応はいつも心良く感じます。私は医療助成を利用させて頂いており感謝です。身体に不便さはあってもなるべく人のお世話にならない様に元気に生活出来る様努力して、自分なりの人の役に立てる様努力しております。いつもありがとうございます。
- 5年、10年後に、市の福祉や障がい者の日常生活が住みやすくなっていることを願います。
- 施設に入所していますが、費用がかさみ、残された家族は大変です。子供達はそれぞれ、家のローン、子育て中で、親としてなかなか頼みづらいのが現状です。
- 千葉県に移住して30年。配偶者を亡くし、子どもとの2人暮らしですが、はじめから近所とのお付き合いはありません。最近はこれで良いと思っていますが、今回、台風15号、19号でいろいろ壊れてとても淋しい思いもしました。東京から子ども夫婦がきて、少々後片付けをしてもらったのですが、心細い日々を過ごす毎日です。遺族年金だけの生活では、本職の方に来てもらうのが難しい？と思うと淋しさもあります。心細いです。健康だけはと頑張っています。
- 今は配偶者が元気なので病院も買物も車で一緒に連れていってもらっているけれど、先々は子供達と一緒にだけあまり話をしないので心配です。
- 自立した生活ができるよう努力しています。
- 現在は車の運転が出来るのであまり支障がありませんが、運転が出来なくなったら非常に困ります。
- 障がいを持つと、自分に自信が持てず外出することが減ります。
- 出来る限り自力で物事を進めるべきだと思います。
- 現在、家族以外の方から沢山助けていただき本当に感謝しています。今後、高齢者がうとましく思われていると思わされる社会にならないことを望んでいます。

- 健康な人がうらやましいです。何をやっても楽しいことが沢山あるので。なんとか人の世話にならずに生きていけるように頑張りたいと思います。
- 婚活がしたいです。
- 健常者は、障がい者に対して支えてあげなければならないという気持ちがあるように思う。私が接した方は、障がい者は不幸でなければならず、常に弱い立場にあってほしいという無意識が見え隠れしており、優越感を感じていたように思う。皆が皆ではないですが、そのように感じたときショックでした。
- 夫も高齢なため、今後は心配です。
- 夫が全く協力的ではないので病気になったら不安です。むしろ、独り身のほうがどれほど楽かと考えてしまいます。

【交通】

- JR大網駅で、ちょうど下りの電車が来たので乗ろうとしたが、エスカレーターが下りになっている。エレベーターもありますが、使おうとすると時間がかかるので、電車は発車してしまいます。障がい者は階段を登るのが大変だから、エスカレーターは上りだと助かります。
- 永田駅にエスカレーターの設置をしてほしい（障がい者や高齢者には歩道橋がづらい）。
- バスを利用していますが、バス停が遠くなりせめて病院まで迎えに来てくれると助かります。浜バスは全然利用できません。地方によって買い物とか病院まで迎えに来てくれるところがあります。

【アンケート】

- 今回のアンケートの実施は、調査の目的を達成すること以外に、障がい者が市の福祉行政に対する認識を新たにすることがあり、市と障がい者との相互コミュニケーションに貢献しているものと思われるので、定期的（年に2回程度）に実施されることを希望します。
- 市内情報として、この調査の結果を知りたい。行政内資料とせず公表してほしい。
- アンケートの成果物を広報で知らせて欲しい。
- 調査対象者の抽出方法に問題があると思いました。回答するのに困った方が多かったので、対象者をしぼって調査対象にすべきだと思います。
- 大切なアンケートです。有効に活用していただければ幸いです。そして、大網白里市が文化的にも発展していくことを望みます。

2 知的障がい者

【福祉サービス】

- 介護者が高齢になり、思うような介護ができなくなってきて、介護者、本人、家族等への負担が大きくなっていくことへの不安が大きいです。本人にあう居場所、安心して預かってもらえる場があれば理想ですが、障がいの程度というより、日常的に安全面でのリスクが高い人は敬遠されがちだと思います。そういった方が、より、本人・家族の支援が必要だと思うのですが、施設入所等も入りにくさがあるように思います。
- 一般の会社では、障がい枠で入っても重度・中軽度関係なく同一賃金、手当や援助を受けられない軽度の場合、経済的負担が大きい。医療費がとてかかり、現在失業中のため、年金生活の親の負担が大きい。中・軽度の者に対するの援助もほしいです。
- 居住空間は、できれば1人部屋がよいです。
- 父母が年をとって介護できなくなる日がそう遠くではないと思います。最重度なので施設入所しか

方法がないと思っていますが、近くに受け入れてくれる施設がないように思います。見学に行ったりしていますが、重複障がいなのでなかなか見つかりません。

【行政】

- 成年後見制度は高くつくと聞いています。何をするにも（助けを求めると）お金がかかり、出費を考えると利用せずに、苦しくとも生きていくしかないのではと思います。
- 障がい者をもつ家族の人が社会福祉課にいる・いない等が判らないので、わかるようにしてほしい。
- 大網白里市は、医療費還付金の制度が厳しい。千葉市並にして欲しい。
- 自閉症のため、外でトラブルがあっても言葉で具体的に伝えることが苦手です。また、ショックから話せなくなってしまうこともあります。トラブルシューティング担当の人がいるといいなと思います。ケアマネージャーなどはトラブルに慣れているせいか、「気にしない」と精神論で終わってしまうことも。精神科医、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士や障がい者の抱える問題に詳しい弁護士など、具体的な問題解決に向けて的確にアドバイスできる人に市役所で面談できるといいです。
- 年金事務所を設置してほしい

【災害関係】

- 今年は千葉県でも台風や大雨による災害が立て続けに来て、避難しようかどうかと迷いました。社会福祉課さんから電話をいただき心強く感じました。ただ、避難するかどうかの判断は、やはり自分達でしなければならないとも思いました。避難したいけどどうかと迷う部分の不安が少しでも解消されれば、その判断もつきやすいのだなと思います。そのためには何が不安か、何が困るか等の声を届けなければいけないし、声を聞いてもらえるよう、一緒に考えてもらえるようにできればと思います。一般の方達にも。家族だけでいるのは、本当はとても心細いからです。
- 今回、台風15号、19号その後の大雨と災害が続きました。避難も考えましたが、パニック等のことを考えると避難先が見つかりませんでした。今後また同じような災害が起きた時に、福祉避難所等の避難できる場所がほしいです。あるいは、現時点でパニックがあっても避難できる所があるならば教えてほしいです。
- 18歳未満のため、常に大人が傍にいるような生活ですが、緊急時、災害等で避難を考えた時、ハザードマップに印された避難所に行くことはためらいました。パニックをおこしたり、他の方へのご迷惑を考えたり、本人の事を考えると、家にとどまるしかありません。危険な中遠くの親戚の家まで行くか、車の中で過ごす選択をするしかありません。自閉症の子を持つ親の悩みです。お体に不自由がある方、介護を必要とする方に比べると軽視されてしまいます。ただのワガママになってしまうかもしれませんが、小さなお子さんがいる方や、私達のような家族が避難できるような場所があったらありがたいです。もし、既にあるのだとしたら、避難時困らないように日頃行くようにしたいと思います。
- 災害時の通院手段の確保が困難です。

【暮らし】

- 傷つくこともあります。わからないことはわからないと素直に言って、普通の人と一緒に社会の一員として、一日一日の生活を大切に生きて行きたいと思っています（ありのままを受け入れられる社会を望んでいます）。
- 身近に障がいのある人がいないと、障がいの大変さを理解することは難しいと感じています。地域でずっと暮らして生きたいという気持ちはありますが、将来的には難しいと思っています。父母以外に地域で支えてくれる人が見つからないからです。

- アルバイトに行っていますが、そもそもいろいろ分からないので困ります。本人よりも家族の方がお金、時間、手間を負担しており、共倒れになりそうです。
- 本人に指導ができないので困っています。すぐ感情的になるため、どこにも相談できず、また、相談したとしても解決にならず、家の中でもめています。
- 障がいのため人と話すことが苦手で、何を考えているかわかりません。今後のことが不安です。

【就業】

- 就労継続支援を利用して9年になりますが、なかなか就職にいたりません。本人にやる気はありますが、面接で話しができないのがネックで、理解のある企業が増えるとうれしく思います。

【アンケート】

- 知的障がい者に対するアンケートになっていない。
- アンケートの内容が良くわからなくて困った。

3 精神障がい者

【福祉サービス】

- 福祉タクシーの1回の助成額を3,000円位にしてほしい。
- 大網白里市にも自立支援センターを作ってほしい。東金市にあると聞いたことがありますが、交通機関が少ないし、車を持っていないのでそこまで行くのが難しいです。方向音痴もあり、駅から近くないとすぐ迷ってしまいます。送迎車でもあれば、利用しやすいと思います。

【行政】

- 「障がい者差別解消法」という言葉を初めて知りましたが、実際にこの言葉を一般企業や教育機関の方々がどの位知っているのか疑問に思いました。法律があっても内容が周知されず理解していない人が多ければ何も変わらないと思います。
- 障がい福祉サービスの申請交付、障がい手帳の申請交付、自立支援医療の申請交付に電子申請郵送交付や電子書式郵送申請などがあればいいと思います。
- 図書室の傷んだ本や古い本を入れ替えて、新しい本にしてほしいです。
- 若年性アルツハイマーでも何かできたり、集まれるところがあるといいと思います。家に閉じこもってしまうから。
- 親が亡くなった時に非常に不安なので、社会福祉課で相談にのってもらいたい。
- 小湊バスの料金割引について、手帳取得時に割引の対象にならないと説明を受けたが、実際には割引の対象となり、損をしたというか対応が間違っていなければ割引を受けられたのにと不信感があります。

【暮らし】

- カラオケ屋やマンガ喫茶が大網にあればいい。
- スーパー銭湯が大網にあればいい。
- 南横川にドラッグストアを作ってもらいたい。高齢者も自分の手で買い物をしたい。免許を返したが、車がないと買い物が不便で免許を返納できません。南横川には一人暮らしのお年寄りが多いので、太陽光パネルばかりではなくドラッグストアをお願いします。
- これからの子供の将来の不安など、少し消えました。一人暮らしをして自立してもらいたいのですが、なかなか事が進まず年月が経ってしまいました。でも、病院で病名もわかり、これからどうして過ごしていくのか、何か自立できるきっかけがないかと思っています。

- 発病から50年程が過ぎ、色々な施設にいました。現在は、意思の疎通ができない状態です。生活費等は家族が、医療費は健康保険で賄っています。

【交通】

- バスの支払い・タクシーの支払いに電子マネーが使えるといい。
- 大網街道の信号を全部連動させ、車がスムーズに動くようにしてほしい。

【医療】

- 千葉市、松戸市、柏市などすばらしい病院があるのに、大網近隣にある病院は役に立ってない。大網に住んでいると病気もなおらない。

【アンケート】

- 今後、障がいを持った方に少しでも参考にしてもらえればと良いかと思います。

第4章 資料編

『福祉に関するアンケート調査』へのご協力をお願い

日頃より、大網白里市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケートは、大網白里市の障がい福祉に関する基本的な方向性のよりどころとなる諸計画の内容を見直し、実態に即したより良い計画として策定することを目的として、皆様の日々の生活の様子や率直なご意見等をお聞かせいただき、今後の障がい福祉施策の検討・実施の参考にさせていただくものです。

この調査は、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を交付されている方の中から無作為に抽出した方を対象にご回答をお願いしています。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的な処理のみを行い、他の目的には一切使用することはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年12月

大網白里市 社会福祉課 障がい福祉班
電話：0475 (70) 0337 / ファクス：0475 (72) 8454

【ご記入にあたってのお願い】

- 「あなた」とは、宛名のご本人のことです。宛名のご本人が直接回答いただくことがむずかしい場合は、ご家族や介護者の方が、ご本人の意向を尊重してご記入ください。
 - 無記名での回答となりますので、調査票にはお名前・ご住所を記入しないようお願いいたします。
 - 質問への回答方法は、それぞれ質問文に書いていますので、質問文の内容をよく読んでお答えください。
 - 回答は、あてはまる番号に○を付けたり、記入欄に具体的に記入をしていただきます。
 - 回答が「その他」の場合は（ ）にその内容を記入してください。
 - ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）をご利用のうえ、12月20日（金）までに投函してください。
- ※ 返信用封筒へのご住所・お名前の記入は不要です。

福祉に関するアンケート調査票

この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びします。ご本人が回答することが難しい場合は、ご家族又は介護者の方が代わりにお答えください。

問1 ご記入される方はどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|---|--------|---|--------------|
| 1 | ご本人 | 3 | 家族以外の介助者・支援者 |
| 2 | ご本人の家族 | 4 | その他(具体的に:) |

【あなたの性別・年齢・ご家族などについて】

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

問3 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 18歳未満 | 3 | 40歳～64歳 |
| 2 | 18歳～39歳 | 4 | 65歳以上 |

問4 あなたがお住まいの地域をお答えください。(1つに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | 瑞穂地区(永田・小中・萱野・砂田・神房・経田・駒込・ながた野・みずほ台・みやこ野) |
| 2 | 山辺地区(金谷郷・餅木・大竹・南玉・池田・季美の森南) |
| 3 | 大網地区(大網・仏島・みどりが丘・小西・養安寺・山口) |
| 4 | 増穂地区(富田・南横川・北横川・北飯塚・南飯塚・星谷・柿餅・柳橋・上貝塚・清名幸谷・木崎・柿餅上貝塚入会地・上谷新田) |
| 5 | 福岡・白里地区(北吉田・桂山・九十根・長国・下ヶ傍示・二之袋・清水・南今泉・北今泉・細草・四天木・四天木甲・四天木乙) |

問5 現在いっしょに暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|----|---|----|---|------|
| 1 | 1人 | 3 | 3人 | 5 | 5人 |
| 2 | 2人 | 4 | 4人 | 6 | 6人以上 |

※ グループホーム、入所施設等を利用されている方は、「1」に○をしてください。

【問5で「1」以外（あなた以外にいっしょに暮らしている家族がいる）とお答えの方へ】

問6 現在いっしょに暮らしている人は、次のどなたですか。（あてはまるもの全てに○）

1 配偶者	5 兄弟姉妹
2 子	6 祖父母
3 父	7 配偶者の父母
4 母	8 その他（具体的に： ）

問7 あなたの世帯の主な収入は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1 あなたの給与・賃金	4 年金・手当
2 家族の給与・賃金	5 生活保護費
3 事業収入	6 その他（具体的に： ）

【あなたの障がいの状況などについて】

問8 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。（1つに○）

1 持っていない	2 1級	4 3級	6 5級
	3 2級	5 4級	7 6級

【問8で「1」以外（身体障害者手帳を持っている）とお答えの方へ】

問9 あなたの主な障がいはどれですか。（1つに○）

1 視覚障害	4 肢体不自由（上肢・下肢・体幹）
2 聴覚障害・平衡機能障害	5 内部機能障害（※）
3 音声・言語・そしゃく機能障害	

※ 「内部機能障害」とは、心臓、肝臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫の機能障害をいいます。

問10 あなたは、療育手帳をお持ちですか。（1つに○）

1 持っていない	2 最重度（A、Aの1、Aの2）	4 中度（Bの1）
	3 重度（Aの1、Aの2）	5 軽度（Bの2）

問11 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（1つに○）

1 持っていない	2 1級	3 2級	4 3級
----------	------	------	------

問12 あなたは、難病の診断を受けていますか。（1つに○）

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

※ 「難病」とは、発病の原因が明らかでないために治療方法が確立しておらず、長期の療養を必要とする疾患をいいます。

問13 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1 診断された | 2 診断されていない |
|---------|------------|

※ 「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問14 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1 診断された | 2 診断されていない |
|---------|------------|

※ 「高次脳機能障害」とは、病気や事故などにより脳が部分的に損傷されたために、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などの知的な機能に障害が起こった状態をいいます。

問15 あなたは、令和元年12月1日現在、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(1つに○)

- | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|
| 1 認定を受けていない | 2 要支援1 | 5 要介護2 | 8 要介護5 |
| | 3 要支援2 | 6 要介護3 | |
| | 4 要介護1 | 7 要介護4 | |

【問15で「1」以外（要支援・要介護認定を受けている）とお答えの方へ】

問16 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 利用している |
| 2 現在は利用していないが、今後利用する予定である |
| 3 利用していない・利用するつもりはない |

【健康・医療について】

問17 あなたの現在の健康状態は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 通院・入院等はしていない | 4 定期的な訪問診療・訪問看護 |
| 2 通院している | 5 在宅で寝たきりの状態である |
| 3 入院している | 6 通院等はしていないが健康に不安がある |

問18 あなたは、健康相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）がいますか。いる場合は、市内・市外を選んでください。(1つに○)

- | |
|----------|
| 1 いる（市内） |
| 2 いる（市外） |
| 3 いない |

問19 あなたは、医療機関について困っていることがありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 家の近くに医療機関がない |
| 2 | 障害についての専門的医療機関がない |
| 3 | 通院等に付き添いをしてくれる人がいない |
| 4 | 通院等のための交通手段の確保が困難 |
| 5 | 医師との意思疎通ができない |
| 6 | 受診の手術など、障害者への配慮が不十分 |
| 7 | 医療費の負担が大きい |
| 8 | その他(具体的に:) |
| 9 | 特に困ったことはない |

問20 あなたは、健康診断を受けていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| 1 | 受けている | 2 | 受けていない |
|---|-------|---|--------|

【日常生活及び介助の状況について】

問21 あなたの主な介助者・支援者はどなたですか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|--------|----|-------------|----|----------|
| 1 | 配偶者 | 7 | 隣人・知人 | 13 | 必要としていない |
| 2 | 子 | 8 | 施設職員 | | |
| 3 | 父母 | 9 | ホームヘルパー | | |
| 4 | 兄弟姉妹 | 10 | 世話人 | | |
| 5 | 祖父母 | 11 | その他(具体的に:) | | |
| 6 | その他の親族 | 12 | 特にいない | | |

※「1」～「11」に○をした方は問22～24へ、「12」・「13」に○をした方は問25へ

【問21で「1」～「11」(介助者・支援者がいる)とお答えの方へ】

問22 あなたを主に介助・支援している方の年齢や健康状態はいかがですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | 健康である | 3 | 病気がちである |
| 2 | 高齢である(65歳以上) | 4 | 介助者・支援者にも障害がある |

【問21で「1」～「11」（介助者・支援者がいる）とお答えの方へ】

問23 どのようなことで介助・支援を受けていますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 家事 | 7 薬の管理 |
| 2 食事 | 8 家族以外の人との意思疎通 |
| 3 着替え・身だしなみ | 9 室内の移動 |
| 4 入浴 | 10 外出 |
| 5 トイレ | 11 その他（具体的に：) |
| 6 金銭管理 | |

【問21で「1」～「11」（介助者・支援者がいる）とお答えの方へ】

問24 介助者・支援者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしたいですか。（あてはまるもの全てに○）

- | |
|-----------------------|
| 1 一緒に住んでいる家族に頼みたい |
| 2 一緒に住んでいない家族や親戚に頼みたい |
| 3 ホームヘルプを利用したい |
| 4 ショートステイを利用したい |
| 5 グループホームに入居したい |
| 6 施設に入所したい |
| 7 病院に入院したい |
| 8 どうしたらいいかわからない |
| 9 その他（具体的に：) |

【問21で「12」・「13」（介助者・支援者がいない・必要ない）とお答えの方へ】

問25 将来必要になると思われる介助・支援はどのようなことですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 家事 | 7 薬の管理 |
| 2 食事 | 8 家族以外の人との意思疎通 |
| 3 着替え・身だしなみ | 9 室内の移動 |
| 4 入浴 | 10 外出 |
| 5 トイレ | 11 その他（具体的に：) |
| 6 金銭管理 | |

す せいかつ
【住まい・生活について】

とい 問26 あなたが現在暮らしている場所はどこですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 自分(家族所有)の持ち家 | 7 障害者支援施設に入所している |
| 2 民間賃貸住宅 | 8 介護保険施設に入所している |
| 3 公営住宅 | 9 病院に入院している |
| 4 グループホーム | 10 その他(具体的に:) |

とい 問27 あなたは、将来どのように生活したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 今のまま生活したい | 4 一般の住宅でひとり暮らしをしたい |
| 2 グループホーム等を利用したい | 5 その他(具体的に:) |
| 3 家族と一緒に生活したい | |

とい 問28 地域で生活するために、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること |
| 2 障がい者に適した住居の確保ができること |
| 3 必要な在宅サービスが適切に利用できること |
| 4 生活訓練・就労訓練等のサービスが充実していること |
| 5 経済的な負担の軽減がされること |
| 6 行政や事業所での相談の対応が充実していること |
| 7 地域住民等の理解があること |
| 8 その他(具体的に:) |

しゅうがく しゅうぎょう
【就学・就業について】

さいみまん かた
【18歳未満の方へ】

とい 問29 あなたが主に通園・通学しているところはどこですか。(1つに○)

- | |
|--------------|
| 1 幼稚園 |
| 2 保育園 |
| 3 小学校の普通学級 |
| 4 小学校の特別支援学級 |
| 5 特別支援学校小学部 |
| 6 中学校の普通学級 |
| 7 中学校の特別支援学級 |
| 8 特別支援学校中学部 |

- 9 高等学校
 10 特別支援学校高等部
 11 障害児の療育施設
 12 その他（具体的に：)

【18歳未満の方へ】

問30 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 通園・通学の送迎 | 7 放課後の過ごし方 |
| 2 教職員の指導方法 | 8 卒業・進路についての情報不足 |
| 3 園や学校の設備面の不備 | 9 経済的負担 |
| 4 園や学校の人的支援の不足 | 10 その他（具体的に：) |
| 5 周囲の子どもとの関係 | 11 特にない |
| 6 他の父母との関係 | |

【18歳以上の方へ】

問31 あなたは、現在働いていますか。（1つに○）

- 1 働いている →問32 へ
 2 働いたことがない →問34 へ
 3 以前は働いていたが、現在は働いていない →問34 へ

【問31で「1」（働いている）と回答された方へ】

問32 あなたの就労形態はどれですか。（1つに○）

- 1 正規の職員・従業員として働いている
 2 パート・アルバイト等として働いている
 3 自営業・自宅で働いている
 4 就労訓練事業所・福祉作業所等で福祉的就労をしている
 5 その他（具体的に：)

【問31で「1」（働いている）と回答された方へ】

問33 現在の仕事で困っていることや、不満に思っていることはなんですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 通勤が大変である | 6 収入が少ない |
| 2 職場環境が障害に対応していない | 7 体力的につらい |
| 3 職場の人の理解が不足している | 8 就業時間が長い |
| 4 人間関係がよくない | 9 その他（具体的に：) |
| 5 仕事が自分に向いていない | 10 特にない |

【問31で「2」又は「3」(働いたことがない・現在は働いていない)と回答された方へ】

問34 あなたは、今後働きたいとおもっていますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

【問31で「2」又は「3」(働いたことがない・現在は働いていない)と回答された方へ】

問35 あなたが働いていない理由はなんですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 受け入れてくれる職場がない | 5 高齢のため |
| 2 通勤が困難なため | 6 病気のため |
| 3 自分にあつた仕事がない | 7 家事・育児のため |
| 4 障害が重いため | 8 その他(具体的に：) |

【18歳以上の全ての方へ】

問36 障がいのある方が働くためには、どのようなことが必要だと思ひますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 就労に関する相談機関や支援員 | 6 障害に依じた柔軟な働き方の整備 |
| 2 障害者向けの求人情報の提供 | 7 職場の障害者理解の促進 |
| 3 障害に依じた職業訓練の場 | 8 交通手段の整備 |
| 4 企業の障害者雇用の促進 | 9 仕事以外の生活面等の支援 |
| 5 職場環境の改善 | 10 その他(具体的に：) |

【外出について】

問37 あなたの外出回数は何回くらいですか。(1つに○)

- | | |
|----------|-------------|
| 1 週に4回以上 | 4 月に2～3回 |
| 2 週に2～3回 | 5 月に1回 |
| 3 週に1回 | 6 まったく外出しない |

問38 あなたが外出するときに利用している主な移動手段は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 徒歩 | 6 自動車を自分で運転する |
| 2 車椅子 | 7 自動車に乗せてもらう |
| 3 自転車・バイク | 8 タクシー |
| 4 電車 | 9 移送サービス |
| 5 バス | 10 その他(具体的に：) |

問39 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるもの全てに○)

1 通勤・通学・通所	5 趣味やスポーツ
2 通院	6 グループ活動や会合
3 買い物	7 その他(具体的に:)
4 散歩	

問40 あなたが、外出の際に困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 歩道が狭い・ない
2 介護者・支援者を確保することが困難・いない
3 道路や建物の段差
4 点字ブロックや音声誘導装置などが不十分
5 外出先の建物内の設備が利用しにくい
6 障害者用の駐車スペースが少ない
7 公共交通機関が少ない
8 バスや電車などの乗り降りが困難
9 道に迷ってしまう
10 発作やパニックなどが心配
11 その他(具体的に:)
12 特に困っていることはない

【障がい福祉サービスの利用について】

【問41 は、18歳以上の方がお答えください。18歳未満の方は、問42 へお進みください。】

問41 障がい福祉サービスの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望(現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○)をそれぞれお答えください。

(それぞれのサービスごとに、あてはまる番号に○)

(1) 介護給付

項 目	①現在の利用状況		②今後の利用希望	
	利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①居宅介護(ホームヘルプ) ※ 自宅で入浴や排せつ、食事等の介護などを提供するサービスです。	1	2	1	2
②重度訪問介護 ※ 重度の障がいがあり常に介護を必要とする方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介護や、外出時における移動中の介護などを総合的に提供するサービスです。	1	2	1	2

<p>③同行援護</p> <p>※ 視覚障害により移動が著しく困難な方に、移動に必要な情報の提供や、食事等の介護などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>④行動援護</p> <p>※ 行動に著しい困難を有する知的障害や精神障害のある方が行動する際に必要な援護や、外出時における移動中の介護などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑤療養介護</p> <p>※ 病院等における医療的ケアを必要とし、常に介護を必要とする方に、主に昼間において病院等で行われる機能訓練、療育上の管理、看護などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑥生活介護</p> <p>※ 常に介護を必要とする方に、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護や、創作的活動・生産活動の機会などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑦短期入所</p> <p>※ 自宅で介護を行っている方が病気などの理由により介護を行うことができない場合に、障がいのある方に障害者支援施設や児童福祉施設等に短期間入所してもらい、入浴・排せつ、食事などの介護を提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑧重度障害者等包括支援</p> <p>※ 常に介護を必要とする方のうち、特に介護の必要度が高い方に対して、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑨施設入所支援</p> <p>※ 施設に入所する障がいのある方に、主に夜間において、入浴・排せつ、食事等の介護などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2

(2) 訓練等給付

項 目	①現在の利用状況		②今後の利用希望	
	利用して いる	利用して いない	利用し たい	利用した くない
<p>①自立訓練（機能訓練・生活訓練）</p> <p>※ 地域生活を営むことができるよう、一定期間、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な訓練などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>②就労移行支援</p> <p>※ 就労を希望する方に、一定期間、就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>③就労継続支援（A型・B型）</p> <p>※ 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会や生産活動の機会などを提供し、知識や能力向上のための訓練などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>④就労定着支援</p> <p>※ 就労移行支援などを利用して就業した方の就労を継続するために、事業者や家族との相談や連絡調整などの支援を提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑤自立生活援助</p> <p>※ 障害者支援施設やグループホーム等からひとり暮らしへの移行を希望する方に、一定の期間にわたり、定期的な巡回訪問や随時の対応により、障害者の理解力、生活力等を補う観点から、適切な支援を提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑥共同生活援助</p> <p>※ 主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつ又は食事の介護などの支援を提供するサービスです。</p>	1	2	1	2

(3) 相談支援給付

項 目	①現在の利用状況		②今後の利用希望	
	利用して いる	利用して いない	利用し たい	利用した くない
①地域移行支援 ※ 障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方など、地域における生活に移行するために重点的に支援を必要としている方に対して、住居の確保などの地域生活に移行するための相談や必要な支援を提供するサービスです。	1	2	1	2
②地域定着支援 ※ 単身等で生活する障害のある方に対し、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を提供するサービスです。	1	2	1	2

【問42は、18歳未満の方がお答えください。18歳以上の方は、問43へお進みください。】

問42 障害児通所支援サービスの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望（現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○）をそれぞれお答えください。（それぞれのサービスごとに、あてはまる番号に○）

項 目	①現在の利用状況		②今後の利用希望	
	利用して いる	利用して いない	利用し たい	利用した くない
①児童発達支援 ※ 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を提供するサービスです。	1	2	1	2
②医療型児童発達支援 ※ 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と併せて、治療を行うサービスです。	1	2	1	2
③放課後等デイサービス ※ 学校の授業の終了後や休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を提供するサービスです。	1	2	1	2

<p>④居宅訪問型児童発達支援</p> <p>※ 外出することが困難な重度の障がい児を対象として、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、生活能力向上のために必要な支援を提供するサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>⑤保育所等訪問支援</p> <p>※ 保育所等を訪問し、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを提供するサービスです。</p>	1	2	1	2

【問43は、全ての方がお答えください。】

問43 地域生活支援事業などの利用について、①現在の利用状況・②今後の利用希望（現在利用していて今後も利用したい場合は、「利用したい」に○）をそれぞれお答えください。（それぞれのサービスごとに、あてはまる番号に○）

項 目	①現在の利用状況		②今後の利用希望	
	利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
<p>①地域活動支援センター事業</p> <p>※ 創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流など、自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を提供するものです。</p>	1	2	1	2
<p>②移動支援事業</p> <p>※ 屋外での移動が困難な方に、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図るものです。</p>	1	2	1	2
<p>③日中一時支援事業</p> <p>※ 日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援や、日常的に介護をしている家族の一時的な休息を図るものです。</p>	1	2	1	2
<p>④日常生活用具給付事業</p> <p>※ 自立生活支援用具等の日常生活用具を給付することなどにより、日常生活の便宜を図るものです。</p>	1	2	1	2
<p>⑤訪問入浴サービス事業</p> <p>※ 入浴が困難な重度の障がいのある方の自宅に巡回入浴車を派遣し、入浴サービスの提供による在宅生活の支援等を行うものです。</p>	1	2	1	2

<p>⑥手話通訳者等の派遣事業 <small>しゅわつうやくしやとう はけんじぎょう</small> ※ 意思疎通を図ることに支障がある方に、手話通訳者、要約筆記者を派遣することにより、意思疎通の円滑化を図るものです。</p>	1	2	1	2
<p>⑦福祉タクシー事業 <small>ふくし じぎょう</small> ※ 重度の身体障がいのある方などが市と協定を締結した福祉タクシーを利用した場合に、その運賃の一部を助成するものです。</p>	1	2	1	2
<p>⑧重度心身障がい者医療費助成事業 <small>じゅうどしんしんしょう しゃいりょうひじよせいじぎょう</small> ※ 重度の身体障がい又は知的障がいのある方に医療費（健康保険適用分）の助成を行い、医療の負担を軽減するものです。</p>	1	2	1	2
<p>⑨福祉カー貸付事業 <small>ふくし かしつけじぎょう</small> ※ 障がいのある方等にリフト付きの福祉車両を貸し出し、社会参加の促進を図るものです。</p>	1	2	1	2

問44 障がい福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。（あてはまるもの全てに○）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 手続きが難しい 2 サービスに関する情報が少ない 3 利用できる回数や日数が少ない 4 利用したいサービスがあっても利用できない 5 利用者負担が大きい 6 サービスの質がよくない 7 その他（具体的に： _____） 8 特になし |
|---|

【福祉や生活に関する相談・情報入手について】

問45 あなたは、現在の生活で困ったり、不安に思っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 家族のこと 2 住まいのこと 3 経済的なこと 4 健康や医療のこと 5 仕事のこと |
|--|

- | | |
|----|---|
| 6 | 進学や学校のこと
<small>しんがく がっこう</small> |
| 7 | 外出のこと
<small>がいしゅつ</small> |
| 8 | 余暇活動のこと
<small>よかかつどう</small> |
| 9 | 友人や近所付き合いのこと
<small>ゆうじん きんじよづ あ</small> |
| 10 | 結婚のこと
<small>けっこん</small> |
| 11 | 情報入手や相談先のこと
<small>じょうほうにゆうしゆ そうだんさき</small> |
| 12 | 介護者・支援者のこと
<small>かいごしや しえんしや</small> |
| 13 | 福祉サービスのこと
<small>ふくし</small> |
| 14 | 老後のこと
<small>ろうご</small> |
| 15 | その他（具体的に：
<small>た ぐたいてき</small> |
| 16 | 特にない
<small>とく</small> |

問46 あなたが困ったり不安を感じた時に、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|---|---|----|--|
| 1 | 家族・親族
<small>かぞく しんぞく</small> | 10 | 民生委員・児童委員
<small>みんせいいいん じどういいん</small> |
| 2 | 友人・知人
<small>ゆうじん ちじん</small> | 11 | 障害者団体・家族会
<small>しょうがいしゃだんたい かぞくかい</small> |
| 3 | 保育所・幼稚園・学校
<small>ほいくしよ ようちえん がっこう</small> | 12 | ボランティア団体
<small>だんたい</small> |
| 4 | 職場の人
<small>しよくば ひと</small> | 13 | 障害者相談員
<small>しょうがいしゃそうだんいん</small> |
| 5 | 医師・看護師・ソーシャルワーカー
<small>いし かんごし</small> | 14 | 社会福祉協議会
<small>しゃかいふくしきょうぎかい</small> |
| 6 | 福祉サービス事業所の職員
<small>ふくし じぎょうしよ しよくいん</small> | 15 | 相談支援事業所
<small>そうだんしえんじぎょうしよ</small> |
| 7 | 地域活動支援センター
<small>ちいきかつどうしえん</small> | 16 | 中核地域生活支援センター
<small>ちゅうかくちいきせいかつしえん</small> |
| 8 | 障害者相談センター
<small>しょうがいしゃそうだん</small> | 17 | その他（具体的に：
<small>た ぐたいてき</small> |
| 9 | 市役所の職員
<small>しやくしよ しよくいん</small> | 18 | 特にない
<small>とく</small> |

問47 あなたは、どのような人・場所があれば気軽に相談できると思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|---|--|
| 1 | どんな相談にも応じる総合窓口
<small>そうだん おう そうごうまどぐち</small> |
| 2 | 専門家による相談
<small>せんもんか しょうだん</small> |
| 3 | 自宅訪問
<small>じたくほうもん</small> |
| 4 | 休日・夜間の相談
<small>きゆうじつ やかん そうだん</small> |
| 5 | 障がい者やその家族等同じ立場の人による相談
<small>しょう しゃ かぞくとうおな たちば ひと そうだん</small> |
| 6 | 電話やファクス
<small>でんわ</small> |
| 7 | 電子メール
<small>でんし</small> |
| 8 | その他（具体的に：
<small>た ぐたいてき</small> |
| 9 | 特にない
<small>とく</small> |

問48 あなたは、福祉関連の情報をどこから入手していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 家族・親族 | 8 テレビ・ラジオ・新聞 |
| 2 友人・知人 | 9 障害者団体・家族会 |
| 3 学校・職場・福祉サービス事業所 | 10 ボランティア |
| 4 病院・診療所 | 11 障害者相談員 |
| 5 県や市等の広報 | 12 市や健康福祉センターの窓口 |
| 6 県や市等のホームページ | 13 相談機関 |
| 7 インターネット | 14 その他(具体的に:) |

【緊急時・災害時の対応について】

問49 あなたの体調が急に悪くなった場合の緊急連絡方法は何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 固定電話・ファクス | 3 緊急通報システム |
| 2 携帯電話・スマートフォン | 4 その他(具体的に:) |

問50 あなたは、地震や火災、台風などの災害時にひとりで避難できますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|---------|
| 1 できる | 2 できない | 3 わからない |
|-------|--------|---------|

問51 地震や火災、台風などの災害時にあなたを助けてくれる人がいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

※ 「いる」と回答した方は、主に誰が助けてくれるかお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 家族・親族 | 4 民生委員 |
| 2 近所の人 | 5 ボランティア |
| 3 自主防災組織 | 6 その他(具体的に:) |

問52 あなたは、地震や火災、台風などを想定した避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 参加したことがある | 2 参加したことがない |
|-------------|-------------|

問53 あなたは、地震や火災、台風などの災害が発生した場合の避難場所を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問54 地震や火災、台風などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 迅速に移動ができない
- 2 避難所の設備や生活環境に不安がある
- 3 周囲の人に必要な支援内容を伝えられない
- 4 パニックやコミュニケーション障害が不安
- 5 避難所で必要な相談、介護、看護等を受けられない
- 6 日常的に必要な投薬や治療を受けられない
- 7 その他
 [具体的に：]
- 8 特になし

問55 あなたは、災害に対してどのような備えをしておくことが最も必要だと思いますか。
(1つに○)

- 1 避難をした場合等に必要となるものを確保
- 2 避難しなくてもよいような備え
- 3 災害時に助けてくれる人を確保
- 4 災害時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握
- 5 災害時要支援者名簿に登録
- 6 災害時に避難する避難所の把握
- 7 市等が実施する避難訓練への参加
- 8 その他
 [具体的に：]

問56 あなたは、「ヘルプマーク」・「ヘルプカード」を利用していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 利用している | 3 しらなかったが、利用してみたい |
| 2 知っているが、利用していない | 4 知らない、必要としていない |

※ ヘルプマーク・ヘルプカードとは、支援や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の人に支援等を必要としていることを知らせるためのものです。

【障がい者の権利擁護・理解促進について】

問57 あなたは、日常生活で障がい者への差別・偏見や疎外感を感じることがありますか。
(1つに○)

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 ある | 2 ない | 3 わからない |
|------|------|---------|

【問57で「1」(ある)と回答された方へ】

問58 次のどのようなところに、差別・偏見や疎外感を感じますか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|-----------------|
| 1 仕事や収入 |
| 2 教育の機会 |
| 3 道路や建物の整備 |
| 4 交通機関の利用 |
| 5 サークル等への参加 |
| 6 地域行事・地域活動 |
| 7 近所付き合い |
| 8 飲食店やホテルなどの利用 |
| 9 公共施設の利用 |
| 10 災害時・緊急時の情報提供 |
| 11 政治への参加 |
| 12 その他(具体的に：) |

問59 あなたは、平成28年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|--------|
| 1 内容を知っている | 2 聞いたことがある | 3 知らない |
|------------|------------|--------|

問60 あなたは、「成年後見制度」を利用することについて、どう思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------|
| 1 すでに使っている | 4 使いたくない |
| 2 今後使うことも考えている | 5 わからない |
| 3 一部なら使いたい | |

※ 「成年後見制度」とは、認知症、知的障害、精神障害などによって判断能力が十分でない方を保護するための制度です。

「福祉に関するアンケート調査」
結果報告書

発行日 令和2年3月
発行 大網白里市社会福祉課

〒299-3292 千葉県大網白里市大網 115 番地 2
電話：0475-70-0337（直通） F A X：0475-72-8454